**2014年4月～2015年3月**

# JUAS 教育研修事業ご案内

## ■JUASセミナー

常に最新テーマのセミナーを企画しています。最新情報は以下をご覧ください。

http://www.juas.or.jp/seminar-event/open_seminar/

## ■JUASオーダーメイド研修

セミナーのカスタマイズなど、貴社向けにオリジナル研修を開発します。

http://www.juas.or.jp/seminar-event/order-made/index.html

## ■JUAS出版

会員活動の成果やセミナーのノウハウを出版物として発行しています。

http://www.juas.or.jp/product/

## ■JUASのオープンセミナーは全てITC実践力ポイント付与対象講座です。


**<お問い合わせ先>**

一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会　教育研修事業担当

オープンセミナー：森　平山　石川　　オーダーメイド研修：角田　井上　五十井　出版：平山

〒103-0012　東京都中央区日本橋堀留町１－１０－１１　井門堀留ビル４階

ＴＥＬ：０３－３２４９－４１０２　ＦＡＸ：０３－５６４５－８４９３

E-mail：seminar@juas.or.jp


セミナーの内容・構成は予告なく変更する場合があります。
開催1週間前に規定人数に達していない場合、中止する場合がございます。
簡単なアンケートや事前課題がある場合があります。その際は開催1週間前にご連絡致します。

# JUAS 教育研修事業

**≪経営視点≫**

・経営戦略　・IFRS　・IT投資対効果
・BSC　・人材育成　・リスク管理

**≪情報システム 構築・活用・運用≫**

・IT関連法規　・プロマネ　・品質管理
・企画力　・オフショア　・要求仕様

**≪ヒューマンスキル≫**

・ヒアリング　・ファシリテーション
・メンタルヘルス　・リーダーシップ
・ロジカルシンキング

2014年度

IT経営人材育成
**JUAS セミナー**
講演型 先駆的事例発表型 演習型
異業種交流（他流試合）型

自社の要望にそった人材育成
**オーダーセミナー**

・ニーズや要望に沿った研修を提案
・１日あたり、50万円程度～
・貴社内の他、JUAS研修室での開催も可能！

少数の新人を情報処理技術者レベルまで！
**新人セミナー**

・ロジカル基礎～IT企画～プログラムまで！
・2014年7月　20日間
・会員：410,400円　一般：507,600円

この他、各種報告書も販売しております。

JUASならではのラインアップ
**オープンセミナー**

・最新トレンドや調査結果を発信する講演型
・先駆的事例をオムニバスで発表する事例型
・知識習得と活用をその場で体得する演習型
・33,000円/日～・WEBより前日まで登録可能！

知識と実践演習の他流試合
**中堅向け勉強会**

・中堅社員の異業種交流（他流試合）セミナー

「2014年度オープンセミナー」
早期割引実施！
（2014年1月～3月末日）

次世代CIOの育成！
**イノベーション経営カレッジ**

・第一線のCIOを講師に招致
・9日間　68万円（ 2014年 7月開催予定）

## セミナー詳細・お問い合わせ

オープンセミナー：　森・平山・石川
オーダーセミナー：　角田・井上・五十井
イノベーション経営カレッジ（IMCJ）：佐藤
電話　03-3249-4102 （9:30～17:30）
http://www.juas.or.jp/seminar-event/open_seminar/index.asp
◆ セミナーのお問合せ・ご相談はお気軽に ◆

# ＪＵＡＳ オープンセミナー
# 2014年度開催一覧

①終了したセミナーも掲載しております。適宜ご要望に合わせて新セミナーも開催
しております。最新情報はWEBをご覧ください。
http://www.juas.or.jp/seminar-event/open_seminar/
②セミナーの内容・構成は予告なく変更する場合があります。
③開催1週間前に規定人数に達していない場合、中止する場合がございます。

2014年度　JUAS　オープンセミナー開催一覧表

2014年2月17日作成

※「JUASセミナー受講権利一括購入制度」を購入された場合のチケット枚数です。
詳しくはこちら>>>　http://www.juas.or.jp/seminar-event/others/jyukoukenriseido.html

| | | | | | 日時・会場等 | | | | | | 参加費 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| コード | 認定時間 | 名　称 | 社名 | 講師 | 開催日(初日) | 時間帯 | 日数 | チケット数 ※ | 会場 | 定員 | 会員 | 一般 |
| 4114111 | 6 | 判決例から学ぶプロマネ義務とバグの生成回避・発見・修正義務研究 | 稲垣隆一法律事務所　弁護士 | 稲垣　隆一氏 | 14/04/08(火) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114112 | 7 | リーダーを目指す女性のための実践講座 | (株)アスカプランニング　取締役社長　永谷　裕子氏／(株)HS情報システムズ　経営企画課　専門役　浦田　有佳里氏 | 永谷　裕子氏<br>浦田　有佳里氏 | 14/04/09(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114113 | 6 | 国民番号制度の総合的研究 | (株)富士通総研　経済研究所　主席研究員 | 榎並　利博氏 | 14/04/11(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114035 | 6 | WBS作成の技術 | (株)プライド　チーフ・システム・コンサルタント | 三輪　一郎 氏 | 14/04/15(火) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 20 | 33,000 | 42,000 |
| 4114036 | 7 | ソフトウェア開発を中心とした品質管理の考え方と品質評価のあり方 | (株)日立製作所　情報・通信システム社　アプリケーションサービス事業部　部長 | 木村　利昭氏 | 14/04/16(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114114 | 6 | 出来るところから始めようAgileプラクティス | 元 ゼリア新薬工業(株)　情報システム部　課長 | 熊野　憲辰氏 | 14/04/17(木) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114037 | 6 | ビジネスモデル構築のステップと手法 | マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表 | 尾田　友志氏 | 14/04/18(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114038 | 6.5 | マネージャーのための現場直結型　ビジネスコーチング研修 | (株)総合教育研究所　代表取締役 | 石橋　正利氏 | 14/04/21(月) | 10:00-17:30 | 1 | 1 | 303 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114039 | 7 | 話し方を磨く講座 | (株)MOONコンサルティング　代表取締役 | 町田　和隆氏 | 14/04/22(火) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 18 | 33,000 | 42,000 |
| 4114093 | 7 | 図解表現入門講座 | 文書支援コンサルタント | 丸山　有彦氏 | 14/04/23(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 302 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114040 | 6 | ヒューマンエラー防止のための品質マインドの向上方法と改善活動 | ヒューマン＆クオリティ・ラボ　代表、元 富士通(株)人材開発部　シニア・レクチャラ | 関　弘充氏 | 14/04/25(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114041 | 6 | システム開発プロジェクトにおけるメンバーの多様性を活かすチームビルディング実践講座 | (株)アスカプランニング　代表取締役社長 | 永谷　裕子氏 | 14/05/13(火) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 20 | 33,000 | 42,000 |
| 4114101 | 6.5 | 清水吉男の仕様が漏れない要求仕様の書き方講座 | (株)システムクリエイツ　代表取締役 | 清水吉男氏 | 14/05/15(木) | 10:00-17:30 | 1 | 1 | 303 | 40 | 33,000 | 42,000 |
| 4114042 | 6 | コンピューターソフトウェアに関する著作権の実務知識と法的リスクの未然回避策 | 遠山康法律事務所　弁護士 | 遠山　康氏 | 14/05/16(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114115 | 6 | 失敗しないデータ・ファイル統合の方式と勘所 | 株式会社アイ・ティ・イノベーション　シニアコンサルタント | 中山　嘉之氏 | 14/05/19(月) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114108 | 32.5 | システムライフサイクル実体験講座 | 土方　千代子氏・(株)フォース・トランキル　代表取締役　足立　英治氏 | 土方　千代子氏<br>足立　英治氏 | 14/05/20(火) | 12:30-19:00 | 5 | 5 | 202 | 12 | 165,000 | 210,000 |
| 4114109 | 7 | ソフトウェア保守業務を日本のビジネス強化の切り札に！ | システム企画研修(株)　代表取締役　上野則男氏／ヤマハモーターソリューション(株)　TQMS統括部　内藤守雄氏／(株)野村総合研究所　品質・生産革新本部付　上席　鈴木昌人氏 | 上野　則男氏<br>内藤　守雄氏<br>鈴木　昌人氏 | 14/05/20(火) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 20 | 33,000 | 42,000 |
| 4114030 | 7 | 事例から学ぶシステムトラブルの原因と対策 | 前橋システムコンサルティング（株）　代表取締役 | 前橋　雅夫氏 | 14/05/21(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 20 | 33,000 | 42,000 |
| 4114106 | 14 | プロジェクトマネジメント　新人向け | (株)CACエクシケア　人事部　キャリアアドバイザー　情報処理技術者試験委員 | 寺池　光弘氏 | 14/05/22(木) | 10:00-18:00 | 2(連日) | 2(連日) | 302 | 12 | 66000 | 84000 |
| 4114043 | 6 | 業務コスト算出と見える化に優れた「業務改善手法」の徹底研究(旧タイトル：効果が高い「業務改善手法」の徹底研究) | マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表 | 尾田　友志氏 | 14/05/23(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114003 | 7 | 若手SEのためのロジカルシンキング入門 | (株)CACエクシケア　人事部　キャリアアドバイザー　情報処理技術者試験委員 | 寺池　光弘氏 | 14/05/27(火) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 202 | 25 | 33,000 | 42,000 |
| 4114011 | 7 | 発想力を磨く！問題感知／課題発見力強化 | (株)TRUソリューションズ　代表取締役 | 西嶋　陽一氏 | 14/05/28(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 202 | 20 | 33,000 | 42,000 |
| 4114096 | 7 | 運用の実践的リスクマネジメント即戦力アップ講座 | (株)ピーエム・アラインメント　取締役　ビジネスコンサルティング部長 | 中谷　英雄氏 | 14/05/28(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 25 | 33,000 | 42,000 |
| 4114002 | 14 | ソフトウェア文章化作法　初級　若手向け | (株)ティージー情報ネットワーク　基盤戦略推進部　アプリ基盤グループ　シニアプロジェクトマネージャ | 上田　志雄氏 | 14/05/29(木) | 10:00-18:00 | 2(連日) | 2 | 303 | 25 | 66,000 | 84,000 |
| 4114044 | 6 | プロジェクトを成功させる基盤『画面・帳票に基く新しい規模見積手法研究』 | 富士通(株)SI技術本部　システム技術統括部　チーフアーキテクト　宇野　和義氏／富士通(株)SI技術本部　システム技術統括部　プロジェクトマネージャー　飯田　伸夫氏 | 宇野　和義氏<br>飯田　伸夫氏 | 14/05/30(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 202 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114110 | 15 | 業務オーナーによる 最適な業務プロセスを実現する方法 | マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表 | 尾田　友志氏 | 14/05/30(金) | 13:00-18:00 | 3 | 3 | 302 | 16 | 79800 | 99750 |
| 4114032 | 14 | IT投資対効果とその評価方法　実践モデル構築体験講座 | 前橋システムコンサルティング（株）　代表取締役 | 前橋　雅夫氏 | 14/06/03(火) | 10:00-18:00 | 2(連日) | 2 | 202 | 20 | 66,000 | 84,000 |
| 4114045 | 6 | 保守・運用委託契約、クラウドサービス利用における法的問題点とリスク管理のポイント | 稲垣隆一法律事務所　弁護士 | 稲垣　隆一氏 | 14/06/03(火) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114012 | 7 | 提案の視点を磨く講座～数百事例の分析から導いた発想の視点を事例のシャワーとともに学ぶ | 元アンダーセンコンサルティング(株)(現アクセンチュア(株))パートナー／明治大学ビジネススクール・グローバルビジネス研究科　兼任講師／(株) アライヴテック　取締役会長 | 小山　孔司氏 | 14/06/04(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 25 | 33,000 | 42,000 |
| 4114013 | 14 | ソフトウェア文章化作法　中堅管理者向け | テクノロジー・オブ・アジア(株)　代表取締役 | 福田　修氏 | 14/06/05(木) | 10:00-18:00 | 2(連日) | 2 | 202 | 25 | 66,000 | 84,000 |
| 4114116 | 6 | モデルベースで解説するアジャイル開発の実際と成功の勘所 | 元 ゼリア新薬工業(株)　情報システム部　課長 | 熊野　憲辰氏 | 14/06/05(木) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114034 | 7 | 若手SEのための合意形成の基礎 | (株)CACエクシケア　人事部　キャリアアドバイザー　情報処理技術者試験委員 | 寺池　光弘氏 | 14/06/10(火) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 202 | 20 | 33,000 | 42,000 |
| 4114021 | 14 | 実践的プロジェクトマネジメント即戦力アップ講座～提案・見積・PM強化編 | (株)ピーエム・アライメント　代表取締役社長 | 佐藤　義男氏 | 14/06/12(木) | 10:00-18:00 | 2(連日) | 2 | 202 | 24 | 66,000 | 84,000 |
| 4114117 | 6 | ネットワーク設計手法とドキュメント | (株)上山システムラボラトリー　　代表取締役 | 上山　勝也氏 | 14/06/12(木) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114046 | 6 | 情報システム・IT取引のグローバル化に伴う法的リスクと国際法務知識入門 | 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業　弁護士 | 角田　邦洋氏 | 14/06/13(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |

2014年度　JUAS　オープンセミナー開催一覧表

2014年2月17日作成

※「JUASセミナー受講権利一括購入制度」を購入された場合のチケット枚数です。
詳しくはこちら>>>　http://www.juas.or.jp/seminar-event/others/jyukoukenriseido.html

| | | | | | 日時・会場等 | | | | | | 参加費 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| コード | 認定時間 | 名　称 | 社名 | 講師 | 開催日（初日） | 時間帯 | 日数 | チケット数 ※ | 会場 | 定員 | 会員 | 一般 |
| 4114015 | 7 | 新人・配転者の方にオススメ！ゼロから学べる矢澤久雄の「情報システムの設計原理」 | (株)ヤザワ　取締役社長・グレープシティ株式会社(旧：文化オリエント)アドバイザリースタッフ・電脳ライター友の会　会長兼事務局長 | 矢澤　久雄氏 | 14/06/16(月) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 202 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114047 | 6.5 | 最新モチベーション・マネジメントの活用講座 | (株)総合教育研究所　代表取締役 | 石橋　正利氏 | 14/06/16(月) | 10:00-17:30 | 1 | 1 | 303 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114048 | 7 | ITプロジェクトの現場における交渉術と交渉力強化セミナー | (株)アスカプランニング　代表取締役社長　永谷裕子氏／PMI日本支部　濱久人氏 | 永谷　裕子氏<br>濱　久人氏 | 14/06/17(火) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 20 | 33,000 | 42,000 |
| 4114016 | 7 | 新人・配転者にもおススメ！イチから始めるシステム運用 | (株)ビーエスピーソリューションズ取締役　SMO推進部　部長 | 藤原　達哉氏 | 14/06/18(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 202 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114049 | 7 | ソフトウェア開発におけるレビュー技法とレビュー計画策定の視点 | (株)日立製作所　情報・通信システム社　アプリケーションサービス事業部　部長 | 木村　利昭氏 | 14/06/18(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114050 | 6 | IT投資(ソフト・ハード)の会計と税務入門 | 新日本有限責任監査法人　第Ⅰ監査事業本部　公認会計士　シニアパートナー　齊藤　直人氏／新日本有限責任監査法人　第Ⅱ監査事業本部　公認会計士　パートナー　林　一樹氏 | 齊藤　直人氏<br>林　一樹氏 | 14/06/19(木) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114051 | 6 | 派遣法・職安法の実務ポイントと常駐請負の留意点 | 加藤労働経済・派遣研究所 | 加藤　高敏氏 | 14/06/20(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114118 | 6 | システム運用サービス設計の実現ポイントと運用サービス設計マニュアル構築のあり方 | エイチ・アイ・ティ・コンサルティング　主任コンサルタント　堀　秀雄氏／NECフィールディング(株)経営システム部　シニアエキスパート　丹下　勉氏 | 堀　秀雄氏<br>丹下　勉氏 | 14/06/23(月) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114001 | 7 | ビジネスリテラシーアップ！問題の本質を解き明かす「着想の技術」 | ワクコンサルティング(株)常務執行役員／エグゼクティブコンサルタント | 諏訪　良武氏 | 14/06/24(火) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 25 | 33,000 | 42,000 |
| 4114052 | 6 | 現場で使える「品質の見える化」と「定量的品質管理」実践法 | ヒューマン＆クオリティ・ラボ　代表、元 富士通(株)人材開発部　シニア・レクチャラ | 関　弘充氏 | 14/06/24(火) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 202 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114053 | 7 | 業務プレゼンテーションにおける話し方を磨く講座 | (株)MOONコンサルティング　代表取締役 | 町田　和隆氏 | 14/06/25(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 20 | 33,000 | 42,000 |
| 4114103 | 6.5 | 清水吉男の保守改良(派生開発)にマッチした仕様変更管理と書き方講座 | (株)システムクリエイツ　代表取締役 | 清水吉男氏 | 14/06/25(水) | 10:00-17:30 | 1 | 1 | 202 | 40 | 33,000 | 42,000 |
| 4114054 | 6 | 経営管理レポート(管理帳票)の設計手法と見直しのポイント | マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表 | 尾田　友志氏 | 14/06/27(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 302 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114107 | | 新人配転者向けプログラム | | | 14/06/30(月) | 10:00-18:00 | | | 202 | | 410,400 | 507,600 |
| 4114099 | 7 | フェーズごとの徹底的ケーススタディ疑似体験から学ぶ、プロジェクトマネジャの勝利の方程式 | KNコンサルティング(株)　代表取締役 | 河尻直己氏 | 14/07/10(木) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 302 | 25 | 33,000 | 42,000 |
| 4114055 | 7 | プロジェクトにおける品質管理計画の立て方 | (株)日立製作所　情報・通信システム社　アプリケーションサービス事業部　部長 | 木村　利昭氏 | 14/07/15(火) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 302 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114119 | 6 | システム提案を通すための技術 | | 加藤　和宏氏 | 14/07/16(水) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 302 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114056 | 6 | 販売・顧客データ活用のための設例によるデータ分析技法の基礎から応用まで | マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表 | 尾田　友志氏 | 14/07/22(火) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 302 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114059 | 6 | わかりやすいマニュアル作成～操作マニュアル・取扱い説明 | 文書支援コンサルタント | 丸山　有彦氏 | 14/07/23(水) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 302 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114058 | 7 | 図表化技法実践講座 | (株)プライド　チーフ・システム・コンサルタント | 三輪　一郎氏 | 14/07/29(火) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 302 | 25 | 33,000 | 42,000 |
| 4114057 | 6 | 簡単に出来る「リスクの見える化」と「リスク管理」実践法 | ヒューマン＆クオリティ・ラボ　代表、元 富士通(株)人材開発部　シニア・レクチャラ | 関　弘充氏 | 14/07/30(水) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 302 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114060 | 6 | 経営に役立つデータモデリング技術 | (株)プライド　チーフ・システム・コンサルタント | 三輪　一郎氏 | 14/08/01(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 302 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114007 | 7 | ITサービス向上のためのシステム運用業務改善ワークショップ～インシデント管理・問題管理編 | (株)CACエクシケア　人事部　キャリアアドバイザー　情報処理技術者試験委員 | 寺池　光弘氏 | 14/08/07(木) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 202 | 25 | 33,000 | 42,000 |
| 4114024 | 7 | 品質マネジメント実践講座～保守・運用編 | (株)ピーエム・アライメント　取締役　ビジネスコンサルティング部長 | 中谷　英雄氏 | 14/08/08(金) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114097 | 7 | ITプロジェクトマネージャーのための実践的ヒューマンスキル即戦力アップ講座 | (株)ピーエム・アラインメント　代表取締役社長 | 佐藤義男氏 | 14/08/21(木) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 25 | 33,000 | 42,000 |
| 4114061 | 6 | 高品質達成のための失敗しない協力会社管理実践法 | ヒューマン＆クオリティ・ラボ　代表、元 富士通(株)人材開発部　シニア・レクチャラ | 関　弘充氏 | 14/08/26(火) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114062 | 6 | 情報システム部門のためのファイリング研究 | 一般社団法人日本経営協会　チーフコンサルタント | 石島　正勝氏 | 14/08/27(水) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114063 | 6 | 超上流工程、さらにその上の源流における作業とドキュメント | マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表 | 尾田　友志氏 | 14/08/29(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114095 | 7 | 投資と要求に合ったITプロジェクトの見極め方 | (株)ピーエム・アラインメント　取締役　ビジネスコンサルティング部長 | 中谷　英雄氏 | 14/09/11(木) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 25 | 33,000 | 42,000 |
| 4114026 | 7 | プロジェクトパフォーマンス分析実践講座 | (株)ピーエム・アライメント　取締役　ビジネスコンサルティング部長 | 中谷　英雄氏 | 14/09/12(金) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114064 | 7 | システムテストの進め方 | (株)プライド　チーフ・システム・コンサルタント | 三輪　一郎氏 | 14/09/12(金) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 202 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114065 | 6 | わかりやすいマニュアル作成～業務マニュアル・情報共有化文書編 | 文書支援コンサルタント | 丸山　有彦氏 | 14/09/16(火) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114006 | 7 | 若手SEのためのロジカルシンキング ～ライティング編 | (株)CACエクシケア　人事部　キャリアアドバイザー　情報処理技術者試験委員 | 寺池　光弘氏 | 14/09/18(木) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 20 | 33,000 | 42,000 |
| 4114067 | 6 | 運用サービススタッフの資質・スキルの向上、モチベーションアップのための仕掛・仕組と行動様式を考える | エイチ・アイ・ティ・コンサルティング　主任コンサルタント　堀　秀雄氏／NECフィールディング(株)経営システム部　シニアエキスパート　丹下　勉氏 | 堀　秀雄氏<br>丹下　勉氏 | 14/09/24(水) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |

2014年度　JUAS　オープンセミナー開催一覧表

2014年2月17日作成

※「JUASセミナー受講権利一括購入制度」を購入された場合のチケット枚数です。
詳しくはこちら>>>　http://www.juas.or.jp/seminar-event/others/jyukoukenriseido.html

| | | | | | 日時・会場等 | | | | | | 参加費 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| コード | 認定時間 | 名　称 | 社名 | 講師 | 開催日（初日） | 時間帯 | 日数 | チケット数 ※ | 会場 | 定員 | 会員 | 一般 |
| 4114066 | 6 | 早期にソフトウェア品質を良くするコツ（旧タイトル：すぐにソフトウェア品質を良くするコツ） | ヒューマン＆クオリティ・ラボ　代表、元 富士通(株)人材開発部　シニア・レクチャラ | 関　弘充氏 | 14/09/25(木) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114068 | 6 | 仕様変更を最小限に抑えるヒアリング技術 | マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表 | 尾田　友志氏 | 14/09/26(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114069 | 6 | WBS作成の技術 | (株)プライド　チーフ・システム・コンサルタント | 三輪　一郎氏 | 14/10/07(火) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 20 | 33,000 | 42,000 |
| 4114028 | 14 | 実践リスクマネジメント即戦力アップ講座～開発編 | (株)ピーエム・アライメント　取締役　ビジネスコンサルティング部長 | 中谷　英雄氏 | 14/10/09(木) | 10:00-18:00 | 2（連日） | 2 | 202 | 24 | 66,000 | 84,000 |
| 4114070 | 6 | システム開発契約の本質を理解し、内在するリスクの未然回避策を学ぶ | 稲垣隆一法律事務所　弁護士 | 稲垣　隆一氏 | 14/10/14(火) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114019 | 7 | プロジェクトファシリテーション能力向上研修 | (株)フォース・トランキル　代表取締役 | 足立　英治氏 | 14/10/15(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 20 | 33,000 | 42,000 |
| 4114008 | 14 | ITサービス向上のためのシステム運用業務改善シリーズ～科学的管理手法による攻めの運用サービス実現 | (株)CACエクシケア　人事部　キャリアアドバイザー　情報処理技術者試験委員 | 寺池　光弘氏 | 14/10/16(木) | 10:00-18:00 | 2 | 2 | 202 | 20 | 66,000 | 84,000 |
| 4114071 | 7 | 図解表現入門講座 | 文書支援コンサルタント | 丸山　有彦氏 | 14/10/17(金) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114094 | 6.5 | マネージャーのための現場直結型『ビジネスコーチング研修』 | (株)総合教育研究所　代表取締役 | 石橋　正利氏 | 14/10/21(火) | 10:00-17:30 | 1 | 1 | 303 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114072 | 7 | ソフトウェア開発を中心とした品質管理の考え方と品質評価のあり方 | (株)日立製作所　情報・通信システム社　アプリケーションサービス事業部　部長 | 木村　利昭氏 | 14/10/22(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114073 | 7 | 話し方を磨く講座 | (株)MOONコンサルティング　代表取締役 | 町田　和隆氏 | 14/10/23(木) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 18 | 33,000 | 42,000 |
| 4114074 | 6 | 販売・顧客データ活用のための設例によるデータ分析技法の基礎から応用まで | マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表 | 尾田　友志氏 | 14/10/24(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114075 | 6 | ヒューマンエラー防止のための品質マインドの向上方法と改善活動 | ヒューマン＆クオリティ・ラボ　代表、元 富士通(株)人材開発部　シニア・レクチャラ | 関　弘充氏 | 14/10/28(火) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114017 | 7 | 新人・配転者にもおススメ！イチから始めるシステム運用 | (株)ビーエスピーソリューションズ取締役　SMO推進部　部長 | 藤原　達哉氏 | 14/10/29(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114009 | 28 | システム化企画力・構想力　勉強会 | (株)CACエクシケア　人事部　キャリアアドバイザー　情報処理技術者試験委員　寺池光弘氏　経営コンサルタント／(株)フォース・トランキル　代表取締役足立英 | 寺池　光弘氏<br>足立　英治氏 | 14/11/05(水) | 10:00-18:00 | 4 | 4 | 202 | 20 | 132,000 | 168,000 |
| 4114014 | 14 | ソフトウェア文章化作法　中堅管理者向け | テクノロジー・オブ・アジア(株)　代表取締役 | 福田　修氏 | 14/11/06(木) | 10:00-18:00 | 2（連日） | 2 | 303 | 25 | 66,000 | 84,000 |
| 4114031 | 7 | 事例から学ぶシステムトラブルの原因と対策 | 前橋システムコンサルティング(株)　代表取締役 | 前橋　雅夫氏 | 14/11/14(金) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 202 | 20 | 33,000 | 42,000 |
| 4114076 | 6 | IT投資（ハード・ソフト）の税務と税務対応で準備すべき事項の基礎 | 新日本アーンスト　アンド　ヤング税理士法人　税理士　米国公認会計士 | 竹内　茂樹氏 | 14/11/18(火) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114102 | 6.5 | 清水吉男の仕様が漏れない要求仕様の書き方講座 | (株)システムクリエイツ　代表取締役 | 清水吉男氏 | 14/11/27(木) | 10:00-17:30 | 1 | 1 | 303 | 40 | 33,000 | 42,000 |
| 4114077 | 6 | ビジネスモデル構築のステップと手法 | マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表 | 尾田　友志氏 | 14/11/28(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114025 | 7 | 品質マネジメント実践講座～保守・運用編 | (株)ピーエム・アライメント　取締役　ビジネスコンサルティング部長 | 中谷　英雄氏 | 14/12/03(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114078 | 7 | ソフトウェア開発におけるレビュー技法とレビュー計画策定の視点 | (株)日立製作所　情報・通信システム社　アプリケーションサービス事業部　部長 | 木村　利昭氏 | 14/12/04(木) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114079 | 6 | 保守・運用委託契約、クラウドサービス利用における法的問題点とリスク管理のポイント | 稲垣隆一法律事務所　弁護士 | 稲垣　隆一氏 | 14/12/08(月) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114083 | 7 | 業務プレゼンテーションにおける話し方を磨く講座 | (株)MOONコンサルティング　代表取締役 | 町田　和隆氏 | 14/12/09(火) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 20 | 33,000 | 42,000 |
| 4114027 | 7 | プロジェクトパフォーマンス分析実践講座 | (株)ピーエム・アライメント　取締役　ビジネスコンサルティング部長 | 中谷　英雄氏 | 14/12/10(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114033 | 14 | IT投資対効果とその評価方法　実践モデル構築体験講座 | 前橋システムコンサルティング(株)　代表取締役 | 前橋　雅夫氏 | 14/12/11(木) | 10:00-18:00 | 2（連日） | 2 | 303 | 20 | 66,000 | 84,000 |
| 4114004 | 7 | 若手SEのためのロジカルシンキング入門 | (株)CACエクシケア　人事部　キャリアアドバイザー　情報処理技術者試験委員 | 寺池　光弘氏 | 14/12/12(金) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 202 | 25 | 33,000 | 42,000 |
| 4114082 | 6 | 派遣法・職安法の実務ポイントと常駐請負の留意点 | 加藤労働経済・派遣研究所 | 加藤　高敏氏 | 14/12/15(月) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114084 | 6.5 | 最新モチベーション・マネジメントと活用講座 | (株)総合教育研究所　代表取締役 | 石橋　正利氏 | 14/12/16(火) | 10:00-17:30 | 1 | 1 | 303 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114023 | 7 | 調達マネジメント実践講座 | (株)ピーエム・アライメント　代表取締役社長 | 佐藤　義男氏 | 14/12/17(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114081 | 6 | 現場で使える「品質の見える化」と「定量的品質管理」実践法 | ヒューマン＆クオリティ・ラボ　代表、元 富士通(株)人材開発部　シニア・レクチャラ | 関　弘充氏 | 14/12/18(木) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114080 | 6 | 経営管理レポート（管理帳票）の設計手法と見直しのポイント | マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表 | 尾田　友志氏 | 14/12/19(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114085 | 6 | わかりやすいマニュアル作成～操作マニュアル・取扱い説明 | 文書支援コンサルタント | 丸山　有彦氏 | 15/01/20(火) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114092 | 7 | プロジェクトにおける品質管理計画の立て方 | (株)日立製作所　情報・通信システム社　アプリケーションサービス事業部　部長 | 木村　利昭氏 | 15/01/21(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114104 | 6.5 | 清水吉男の保守改良（派生開発）にマッチした仕様変更管理と書き方講座 | (株)システムクリエイツ　代表取締役 | 清水吉男氏 | 15/01/23(金) | 10:00-17:30 | 1 | 1 | 303 | 40 | 33,000 | 42,000 |
| 4114005 | 7 | 若手SEのためのロジカルシンキング～プロセス分析編 | (株)CACエクシケア　人事部　キャリアアドバイザー　情報処理技術者試験委員 | 寺池　光弘氏 | 15/01/27(火) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 202 | 25 | 33,000 | 42,000 |
| 4114086 | 7 | 図表化技法実践講座 | (株)プライド　チーフ・システム・コンサルタント | 三輪　一郎氏 | 15/01/28(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 25 | 33,000 | 42,000 |
| 4114098 | 7 | ITプロジェクトマネージャーのための実践的ヒューマンスキル即戦力アップ講座 | (株)ピーエム・アラインメント　代表取締役社長 | 佐藤義男氏 | 15/02/05(木) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 25 | 33,000 | 42,000 |

# 2014年度　JUAS　オープンセミナー開催一覧表

2014年2月17日作成

※「JUASセミナー受講権利一括購入制度」を購入された場合のチケット枚数です。
詳しくはこちら>>>　http://www.juas.or.jp/seminar-event/others/jyukoukenriseido.html

| | | | | | 日時・会場等 | | | | | | 参加費 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| コード | 認定時間 | 名　称 | 社名 | 講師 | 開催日（初日） | 時間帯 | 日数 | チケット数 ※ | 会場 | 定員 | 会員 | 一般 |
| 4114010 | 28 | 要件定義　勉強会 | (株)CACエクシケア　人事部　キャリアアドバイザー　情報処理技術者試験委員　寺池光弘氏　　経営コンサルタント／(株)フォース・トランキル　代表取締役足立英治氏 | 寺池　光弘氏<br>足立　英治氏 | 15/02/12(木) | 10:00-18:00 | 4 | 4 | 202 | 25 | 132,000 | 168,000 |
| 4114087 | 6 | カテゴリー別事例に学ぶIT紛争の防止 | 東京地方裁判所　専門委員　民事調停委員 | 芳仲　宏氏 | 15/02/13(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114088 | 6.5 | 新入社員を早期に戦力化し、自立させるOJTリーダー養成講 | (株)総合教育研究所　代表取締役 | 石橋　正利氏 | 15/02/16(月) | 10:00-17:30 | 1 | 1 | 303 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114018 | 7 | 新人・配転者にもおススメ！イチから始めるシステム運用 | (株)ビーエスピーソリューションズ取締役　SMO推進部　部長 | 藤原　達哉氏 | 15/02/17(火) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114020 | 7 | プロジェクトファシリテーション能力向上研修 | (株)フォース・トランキル　代表取締役 | 足立　英治氏 | 15/02/18(水) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 20 | 33,000 | 42,000 |
| 4114105 | 13 | 清水吉男の抜けの無い仕様が書けるUSDM表記法マスター講座 | (株)システムクリエイツ　代表取締役 | 清水吉男氏 | 15/02/18(水) | 10:00-17:30 | 2（連日） | 2（連日） | 202 | 16 | 66,000 | 84,000 |
| 4114089 | 6 | 情報システム部門のためのファイリング研究 | 一般社団法人日本経営協会チーフコンサルタント | 石島　正勝氏 | 15/02/20(金) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 24 | 33,000 | 42,000 |
| 4114029 | 14 | 実践リスクマネジメント即戦力アップ講座～開発編 | (株)ピーエム・アライメント　取締役　ビジネスコンサルティング部長 | 中谷　英雄氏 | 15/02/25(水) | 10:00-18:00 | 2（連日） | 2 | 303 | 24 | 66,000 | 84,000 |
| 4114100 | 7 | フェーズごとの徹底的ケーススタディ疑似体験から学ぶ、プロジェクトマネジャの勝利の方程式 | KNコンサルティング（株）　代表取締役 | 河尻直己氏 | 15/03/06(金) | 10:00-18:00 | 1 | 1 | 303 | 25 | 33,000 | 42,000 |
| 4114022 | 14 | 実践的プロジェクトマネジメント即戦力アップ講座～提案・見積・PM強化編 | (株)ピーエム・アライメント　代表取締役社長 | 佐藤　義男氏 | 15/03/19(木) | 10:00-18:00 | 2（連日） | 2 | 303 | 24 | 66,000 | 84,000 |
| 4114090 | 6 | わかりやすいマニュアル作成～業務マニュアル・情報共有化文書編 | 文書支援コンサルタント | 丸山　有彦氏 | 15/03/24(火) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |
| 4114091 | 6 | 運用サービススタッフの資質・スキルの向上、モチベーションアップのための仕掛・仕組と行動様式を考える | エイチ・アイ・ティ・コンサルティング　主任コンサルタント　堀　秀雄氏／NECフィールディング（株）　経営システム部　シニアエキスパート　丹下　勉氏 | 堀　秀雄氏<br>丹下　勉氏 | 15/03/25(水) | 10:00-17:00 | 1 | 1 | 303 | 30 | 33,000 | 42,000 |

# ＪＵＡＳ オープンセミナー ラインナップ詳細

①終了したセミナーも掲載しております。適宜ご要望に合わせて新セミナーも開催しております。最新情報はWEBをご覧ください。
http://www.juas.or.jp/seminar-event/open_seminar/
②セミナーの内容・構成は予告なく変更する場合があります。
③開催1週間前に規定人数に達していない場合、中止する場合がございます。
④簡単なアンケートや事前課題がある場合があります。その際は開催1週間前にメールにてご連絡致します。

年間予定セミナー

# 経営戦略

※セミナーの日程・内容は都合により変更することがございます。詳しくはWEBをご覧ください。



# コンピューターソフトウェアに関する著作権の実務知識と法的リスクの未然回避策

**講師：遠山　康氏**（遠山康法律事務所　弁護士）

知的財産権を重視する社会的機運が高まっています。これに伴い著作権をめぐる紛争も増加しています。今まではゲームソフトに関する争いが中心でしたが近年、業務アプリケーションソフトウェアを巡る争いも発生しています。Webアプリケーションに代表されるように、最近は外部にシステムが公開されることが多くなっているため、侵害行為が発覚しやすくなりました。

外部に委託して開発し運用に入った途端、いきなり警告文が送られてくるようなリスク発生の可能性も出てきました。受託者としても納入したシステムについて、権利を侵害していると訴えられるリスク発生の可能性もあります。

また、最近の業務システムは、Windowsなど他人のシステム（著作物）を利用することが一般的になっています。そこで、コンピューターソフトウェア（仕様書、プログラム、処理手順、ユーザーインターフェース等）についての著作権の問題を網羅的に取り上げ、法的基礎知識と法的リスクを習得し、併せて紛争を未然に防止するための具体的方法についてのセミナーを企画いたしました。

■対象：プロマネとして必要な著作権の基礎知識と実務知識（日常における通常の著作権問題を判断できる知識）を習得したい方

## ■開催日時

**2014年5月16日（金）10:00-17:00**

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

## ■定員　30名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

**第1　著作権とは**
1　著作権法の目的－著作物・著作者・著作者の権利　2　著作者の権利

**第2　プログラムと著作権**
1　プログラムの著作物性と保護されるものの範囲　2　プログラム特有の規定

**第3　プログラムと著作権侵害**
1　使用　2　複製　3　翻案

**第4　プログラムに関する著作権法上のリスク管理**
1　自社開発　　2　外部委託　　3　各種契約文例

**第5　紛争処理制度の概要**

**第6　プログラム関連発明と特許権**

**第7　これまでに寄せられた質問事項**
仕様書や設計書とプログラムとの関係／詳細な仕様書などを基にプログラム作成…など

# 保守の強化で情報システムを日本のビジネス強化の切り札に！

## 先進事例に学ぶソフトウェア保守業務の改善・革新方策

講師： 上野　則男氏 （システム企画研修株式会社　代表取締役）
内藤　守雄氏（ヤマハモーターソリューション株式会社　TQMS統括部長）
鈴木　昌人氏（株式会社野村総合研究所　品質・生産革新本部付　上席）

今や、ソフトウェア保守業務は、投入工数で開発業務の2倍以上！　それにもかかわらず担当者任せで、殆ど改善のメスが入れられてこなかった分野です。 そしてこれまでの、その場しのぎの応急処置の積み重ねが、「障害を起こす」「納期が長い」「手間暇がかかる」などの問題を引き起こしてきました。しかし保守業務は、積極的に改善を目指す者にとって「宝の山」です。 問題発生の原因に迫り対策を講ずることによって5年、早ければ3年で　障害を大幅削減しつつ、現在の後ろ向き保守業務の対応工数を半減させることが可能になります。

＞＞事例1　ヤマハモーターソリューション株式会社：保守業務に筋が通ったことで「見える化」「脱属人化」が実現、小規模案件の対応工数を1年間で25%削減することに成功

＞＞事例2　株式会社野村総合研究所：保守業務を前向きの「エンハンス業務」と称して改善・改革に取り組み「4年で8割の障害削減」等の効果を実現した事例

今回は上記2社の事例とともに、ビジネス強化に直結する「攻めの保守」への道筋を探求します。

■開催日時

2014年5月20日（火）　10：00−18：00

■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）
JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円

■定員　40名

■会場　JUAS会議室　（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

第1部　＜解説の部＞「ソフトウェア保守業務改善対策」
オリエンテーション 「保守業務の現状」

1.保守業務プロセス整備/2.新見積もり手法導入/3.影響調査ツール導入/4.障害削減対策強化/5.ドキュメント整備/6.体制変更/7.案件実施目的の明確化/8.一貫生産体制の実現/9.究極の対策「システム再構築」

第2部　＜事例研究の部＞
事例1：「ISO20000（ITIL）を活用したITサービス業務整備の成果」
事例2：「エンハンス業務革新の進め方」

総括質疑



# 事例から学ぶシステムトラブルの原因と対策

- □　システムトラブルが発生したときに、組織が被る損害の大きさを再確認することができます。
- □　システムトラブルの事例パターンから、対策を講じる際の重要ポイントを理解することができます。
- □　システムトラブルの原因と対策を追究するヒューマンファクタ分析を体験することができます。

講師：前橋　雅夫氏（前橋システムコンサルティング株式会社　代表取締役）

本セミナーでは、情報システムの開発業務や運用業務で発生したトラブル事例を、未然防止と再発防止の観点から分析し、自らの職場において同様のトラブルを引き起こさないようにするためには何をするべきか、その対策ポイントを学習します。IT技術者が開発段階や運用段階で実施すべきトラブル対策の実践的知識を、講師による解説、グループ演習等を通して理解することができます。
情報システム担当者は、日々「通常通り情報システムが動く」よう、検討と活動を重ねています。本セミナーは、更に高い信頼性を目指して、どのような取り組みをしていったらよいのか、過去の事例をJUASで分析・議論した内容をふまえたものです。

■対象：
プロジェクトマネージャー、システム品質管理責任者、システム開発チームリーダー、
システム運用チームリーダー、ISMS導入担当者、内部監査担当者、ITコーディネーター

■開催日時

| 2014年　5月21日（水）10：00-18：00 |
|---|
| 2014年11月14日（金）10：00-18：00 |

■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）
JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円

■定員　20名

■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

■主な講義内容

第1部 今なぜシステムトラブルなのか
（1）システムトラブル統計情報
（2）事件・事故の事例紹介
（3）事件・事故からの教訓

第2部 開発段階で実施するトラブル対策
（1）開発段階における留意事項
（2）開発段階での対策提言

演習問題1
非機能要件チェックリストの作成

第3部 運用段階で実施するトラブル対策
（1）運用段階における留意事項
（2）運用段階での対策提言

第4部 システムトラブルをマネジメントする
（1）トラブル情報の収集とその活用
（2）原因分析と対策立案

演習問題2
ヒューマンファクタ分析手法による事例研究

第5部　まとめ

# 保守・運用委託契約、クラウドサービス利用における法的問題点とリスク管理のポイント

**講師:稲垣　隆一氏**(稲垣隆一法律事務所　弁護士)
(元　情報システムの信頼性向上上のための取引慣行・契約に関するタスクフォース委員)

本セミナーは、コンピューターシステムの保守・運用の委託契約、クラウドサービスの利用における法的問題点と法的リスクを明らかにし、法的リスク管理のポイントを学ぶものです。

■開催日時

| 2014年　6月3日(火)10:00-17:00 |
|---|
| 2014年12月8日(月)10:00-17:00 |

■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC:33,000円　一般:42,000円

■定員　30名

■会場　JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

**第1　保守・運用の課題　何が起きているか・解決すべき課題は何か**
1 意思決定の不足　2 人の問題　3 手順の問題　4 装置の問題

**第2　保守・運用のリスクマネジメント**
1 目的をどう定めるか　2 リスク分析　3 対応方針の設定
4 対処方策の設定　5 監視　6 改善

**第3　契約のマネジメント　保守・運用の課題を契約に反映する**
1 契約類型の選択　2 仕様・SLAをどう定めるか
3 債務履行の確保　4 請負契約の代金支払い時期の定め方
5 自動更新条項　6 責任の追及　損害賠償条項

**第4　クラウドサービス利用の課題と対応**
1 クラウド利用の現状
2 クラウドサービス等の利用障害への対応

**第5　契約の方法に関する課題ー電子契約の課題と対応**
1 状況　2 課題　3 対応



# ＩＴ投資対効果とその評価方法　実践モデル構築体験講座

- 戦略的ＩＴ投資にも活用できる、ＩＴ投資対効果の評価方法を学びます
- 目的別ＩＴ投資に対する効果事例の分析も解説します

**講師:前橋　雅夫氏**(前橋システムコンサルティング株式会社　代表取締役)

本セミナーでは、情報化投資の評価モデルを構築するノウハウについて学習していきます。
IT投資ポートフォリオ、IT-BSC(BSCのIT投資管理・評価への適用を中心に検討する手法)、SLM(サービス・レベル・マネジメント)等のメソドロジーの活用方法を、ケーススタディを通じて体験する事ができます。
また、各企業によりIT投資に対する目的は異なります。自社に適用できることを念頭に置き、IT投資プロジェクト事例をシステム導入の目的別に分析し、それぞれの状況に応じた導入のポイントについても講義します。

**■対象:**
ユーザー企業のIT部門責任者・企画担当者、利用部門責任者、経営企画部門責任者
中小企業診断士、ITコーディネーターなどのコンサルタント、および資格取得を目指す方
プロジェクトマネージャー、システムアナリスト、セールスエンジニア

■開催日時

| 2014年　6月3日(火)・4日(水) |
|---|
| 2014年12月11日(木)・12日(金) |

※いずれも10:00-18:00

■受講料(2日間・消費税、テキスト代込)

JUAS会員/ITC:66,000円　一般:84,000円

■定員　20名

■会場　JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

■主な講義内容

**1　IT投資の実態を確認する**
(1)IT投資金額の実態
(2)IT投資評価の実態

【演習問題1】
IT投資コストとは?

**2　IT投資の費用を把握する**
(1)IT関連コストの内訳
(2)TCO(情報化総合コスト)
(3)IT投資ポートフォリオ

【演習問題2】
IT投資ポートフォリオモデル構築

**3　IT投資の効果を把握する**
(1)戦略型投資の評価
(2)インフラ型投資の評価
(3)改良型投資の評価

【演習問題3】
BSCによる戦略型投資評価
【演習問題4】
SLMによるインフラ型投資評価

**4　IT投資の評価モデルを構築する**
(1)評価モデルの構築手順
(2)関連資料
まとめ

# 情報システム・IT取引のグローバル化に伴う 法的リスクと国際法務知識入門

～国際取引、クラウドコンピューティング、外為法などのリスクと対応のポイント～

**講師：角田　邦洋氏**（渥美坂井法律事務所・外国法共同事業　弁護士）

情報システムの世界でもグローバル化はますます進んでおり、今後は国をまたがる法的紛争も想定されます。また、クラウドコンピューティングの進展に伴い不可避的に発生するデータの保全・移転問題などもあります。
本セミナーでは、①国際取引における一般的な留意点、②国際的なソフトウェア取引(売買・委託・ライセンス取引)についての留意点、③クラウドコンピューティングの法的リスク管理、④その他の留意点－の基礎について学びます。

**■開催日時**

2014年6月13日（金）10:00-17:00

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

1　国際取引における一般的な留意点
2　国際的なソフトウェア取引(ライセンス・売買・委託取引)についての留意点
・取扱商品・サービスに潜むリスク-仕様の書き方、瑕疵の概念、知的財産権との関係等
・ライセンスの多義性
・問題回避、問題改善の対処-テクニカルサポート、リプレイス等
・国特有の問題点-ライセンス規制、国家安全保障上の規制等
3　クラウドコンピューティングの法的リスク管理－データの移転、保全を中心として
・データやシステムの海外移転(日本から相手国、相手国から日本・他国)について
・個人情報の移転についての法的規制
・公権力の行使に伴うデータや機器の捜索、差し押さえ、使用停止、移転禁止など
・データ通過国について
4　技術輸出に関する外為法規制ほか、その他問題点
・技術輸出に関する外為法規制の留意点
・最新、中国進出における法的留意点
・個人情報の取扱について－比較法的分析
・営業秘密の取り扱いについて



# 新人・配転者にもおススメ！ イチから始めるシステム運用

□講義・実習・討議を通じてアドバイスを受けながら学びます。
□システム運用に現場で発生するさまざまな課題や問題など、実際のビジネスシーンを想定したシミュレーション実習を行ないます。

**講師：藤原　達哉氏**（株式会社ビーエスピーソリューションズ　取締役　SMO推進部　部長）

企業におけるIT推進は社内業務の効率化のためだけではなく、企業のビジネス競争や顧客獲得のためにも重要な位置付けにあります。特に情報システムを支えるシステム運用については、社会的影響の大きさによっては、企業存続に影響を与える事にもなり得ます。
本セミナーでは、システムの運用設計・運用（実行）・運用管理のフェーズに分け、「技術」と「仕事」の両側面から知識を得ます。
＜目的（ねらい）＞
1. システム運用の目的を理解し、企業経営との関わりを理解する。
2. システム運用の役割と機能を体系的に理解し、品質の向上と生産性の高い行動ができる能力を強化する。
3. 仕事に必要な対人関係能力を啓発する。

**■開催日時**

2014年　6月18日（水）　10:00-18:00
2015年　2月17日（火）　10:00-18:00

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円

**■定員　24名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

第1部　ビジネスに貢献するITサービス
1. 企業と情報システム
2. システム運用の価値
3. システム運用の業務
4. システム運用の作業分類
5. システム・サービスの評価
6. システム運用の関連知識

第2部　システム運用の技術
1. システム運用の歴史と技術動向
2. システム運用設計の技術
3. システム運用の技術
4. ITSMツール
5. 運用管理の技術

# 自社利用ソフトウェアを中心とした ＩＴ投資(ソフト・ハード)の会計と税務入門

～日本基準・ＩＦＲＳ・税務基準についての解説～

**講師：齊藤　直人氏**（新日本有限責任監査法人　第Ⅰ監査事業部　公認会計士　シニアパートナー）
**林　　一樹氏**（新日本有限責任監査法人　第Ⅱ監査事業部　公認会計士　パートナー ）

コンピューターのハードウェア、ソフトウェアへの投資であるIT投資は多額になっています。IT投資に対する正しい会計処理が実現されなければ、財務報告の信頼性を歪めることになります。税務・会計の知識は経理部門に求められるものであると一般的には認識されていますが、例えば、システム開発を行う際、開発コストの範囲をどこまで考えるべきか、年度ごとの運用コストはどのように算定されるのか、IT投資の損失計上はどのような場合に行われるのか等、IT投資の意思決定を行うために、税務・会計の知識が必要になります。
また、会計上はIT資産の評価を下げなければ適切な処理といえない場合であっても、税務では損金として認めないなど近年、税務と会計の処理の違いが大きくなっています。
本セミナーでは、IT投資（ハードウェア・ソフトウェア）について、現行の日本基準、IFRS、税務基準について解説します。併せてクラウドコンピューティングの利用における会計処理など最新の動向もお伝えいたします。

**■開催日時**

**2014年6月19日（木）10:00-17:00**

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**
**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**第1部　日本基準における自社利用ソフトウェアの会計処理**
自社利用ソフトウェア会計の概要　／投資計画時　／開発時・取得時　／運用時
決算期末時　／廃棄時　／クラウドサービスの課題　／その他

**第2部　IFRSにおける自社利用ソフトウェアの会計処理**
1. 開発時における開発費の資産化6要件の充足と資産計上の開始時点（日本基準との相違）　2. 取得価額の範囲に関する日本基準との相違
3. 償却に関する日本基準との相違　4. 減損判定の日本基準との相違
5. 事後支出（ソフトウェアの保守、バージョンアップ費用）に関する日本基準との相違　6. クラウドサービスの課題　7. ソフトウェアの転用の取扱い

**第3部　自社利用ソフトウェアの税務処理**
1. ソフトウェアの税務上の分類　2. 研究開発費との関係　3. 取得における税務上の取扱い　4. 償却の税務上の取扱い　5. 減損会計の税務上の取扱い
6. 修繕費・資本的支出の税務上の取扱い　7. 移転価格税制
8. クラウドサービスの税務上の課題　9. 税務調査対応の勘所



# 派遣法・職安法の実務ポイントと常駐請負の留意点

～現場での課題・契約文例レベルまで検討する徹底研究セミナー～

**講師：加藤　高敏氏**（加藤労働経済・派遣研究所）

個人情報保護法の施行に伴い、委託者より委託者の事業所内でのシステム開発作業を求められるケースも出ており、請負と派遣の区分基準が問題になっています。コンピューターソフトウェアの開発は、チームで行われるとしても各技術者の技量に負うところが大きくとりわけプロジェクトリーダーのスキルによってプロジェクトの成否がわかれます。このために請負・派遣のいずれにおいても事前の面談をしたいところです。ところが、役所は請負・派遣のいずれにおいても技術者個人に対する面談等は違法であるという見解を示しています。また労働者派遣法が改正され2015年10月からは、偽装請負等に対して労働契約申込みみなし制度が施行され、実務上厳格な運用を要求されます。
そこでトラブル未然防止の観点から、労働者派遣法と職業安定法の基礎～応用問題(委託先はどこまで受託者に関与できるかなど)までを網羅的に取り上げ、契約文例レベルにいたる詳細を解説するセミナーを企画しました。
また、テキストとしてオリジナル解説書と契約文例集を使用し、セミナー受講後の復習までをフォローしています。
**■対象**：職業安定法、労働者派遣法の基礎知識から応用知識までを習得したいシステム開発のリーダー、マネージャー、システムの調達担当者、派遣元・先責任者

**■開催日時**

| 2014年　6月20日（金）10:00-17:00 |
|---|
| 2014年12月15日（月）10:00-17:00 |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**
**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

1　労働者派遣事業とは

2　「派遣」と「請負」の区分基準

3　労働者派遣契約から派遣就業、派遣要員受け入れまでのチェックポイント

4　現場で発生する具体的な諸問題についての検討

5　請負契約において客先で作業を行う場合、派遣要員を受け入れる場合

# ITサービス向上のためのシステム運用業務改善ワークショップ ～インシデント管理・問題管理編～

□標準プロセス・ルールの応用力、状況（So-What）分析スキル、真因（Why）分析スキルを磨きます。
□現行業務の改善点（QCD）とその対策を具体的にイメージできるようになることを目指します。

**ファシリテーター：寺池　光弘氏**
**（株式会社CACエクシケア　人事部　教育実施責任者　情報処理技術者試験委員）**

情報システムの複雑化によって、システム障害のもたらす影響は広く大きくなるとともに、障害原因の特定も難しくなっています。
障害発生時には、サービスの中断時間を最小限に抑えて速やかに回復し、サービスの品質を維持することが重要ですが、運用の現場では、①適切な報告ができていない　②トラブル発生時に、影響範囲を適切に特定できない　③抜本的な解決策を導き出せていない、というような悩みを抱えている場合も多いのが現状です。
本セミナーでは、インシデント管理および問題管理に焦点をあて、「障害発生前の予防／抜本対策」「障害発生後の緊急対策・復旧対策」の観点から、現行業務の改善点（QCD）とその対策を具体的にイメージできるようになることを目指します。
自社内外の改善ケースを題材に、講義だけでなく、受講者参加型のグループディスカッション・振り返りを数多く取り入れ、受講者が主体的かつ実践的に取り組めるプログラムです。
■対象：日々運用業務に励む、実務経験5～10年目の業務システム担当者

## ■開催日時

**2014年 8月7日（木）　10:00-18:00**

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

## ■定員　20名

## ■会場　JUAS会議室　（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

**（1）はじめに（Why）：受講目的（必要性）の再確認**

**（2）あるべきインシデント管理手順を考える**
- インシデントの管理ポイントと改善指標
- インシデント管理の業務改善ケーススタディ
- 「判別」フェーズのケーススタディ

**（3）あるべき問題管理手順を考える**
- 問題の管理ポイントと改善指標
- 問題管理の業務改善ケーススタディ
- 「真因分析」フェーズのケーススタディ

**（4）振り返り**
- 現場で意識的に実践するための行動変革計画



# システム開発契約の本質を理解し、内在するリスクの未然回避策を学ぶ

～システム開発委託契約のＰＤＣＡとリスク管理～

**講師：稲垣　隆一氏**（稲垣隆一法律事務所　弁護士）
**（元　情報システムの信頼性向上のための取引慣行・契約に関するタスクフォース委員）**

本セミナーは、システム開発契約を巡るトラブルを防止するための知識習得を目的にしています。
特にシステム開発契約に内在するリスクを網羅的に取り上げ、法律専門家から見たリスクの未然回避策を解説してまいります。
そのためには契約と契約書及び請負・準委任といった法律の概念についての本質的な理解が必要になります。
本セミナーでは、通り一遍の法律の解説だけではなく、実務の場で応用（ある程度の判断ができる）できるようになるための基礎から、各リスク発生の未然防止のポイントを解説してまいります。
＜研修の効果＞
・システム開発委託契約に必要な法律知識を理解する。
・契約のPDCAについて理解し、実践できるようになる。
・法的な問題が生じた時に論点の判断ができ、どの部分について専門家のアドバイスを受けたほうがよいか分かる判断力を身に付ける。

## ■開催日時

**2014年10月14日（火）10:00-17:00**

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

## ■定員　30名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

**第1部　契約とは何かを理解する－契約の意義・本質を理解する**
1　契約とは何か　2　なぜ契約書を交わすのか　3　請負契約と準委任契約　4　成果物・仕事の不出来と損害賠償責任　5　契約書に不備があったらどうするか　6　契約紛争に勝利するには　7　機密保持契約の論点　8　不具合への対応

**第2部　システム開発契約を理解する－何をどのようにして契約するのか**
**第3部　システム開発契約の実際－どのような手続きで契約するのか**
**第4部　システム開発契約におけるリスクと対処－無契約作業のリスクを回避する**
**第5部　争点と契約－モデル契約における論点と考え方**

## ITサービス向上のためのシステム運用業務改善シリーズ
## ～科学的管理手法による 攻めの運用サービス実現

□改善活動の基本であるQCストーリーとQC7つ道具、新7つ道具を理解します。
□それらについて現場への適用イメージを持てる ようにします。
□改善活動に着手するためのアクションプランを作成できます。

**講師：寺池　光弘氏（株式会社CACエクシケア　人事部　教育実施責任者　情報処理技術者試験委員）**

システム運用の現場でヒヤリ・ハットが増加していませんか？
システム運用サービスの品質を維持・向上させるための基本は、改善活動です。改善活動が浸透していない現場（*1）では、人手による「力技」でトラブルをなんとか食い止めているところも、少なくありません。本セミナーでは、日本企業のお家芸である小集団活動に焦点をあて、「やらされ感」ではなく「自らのために自発的に」活動できるようボトムアップでの現場活性化を目指します。
そのための身近で具体的なツールとして、「QCストーリー」「QC7つ道具・新7つ道具」を活用し、科学的管理手法による業務改善力を高めます。

*1 システム運用の現場に小集団活動が浸透しない原因（仮説）
若年層を中心に。。。
・小集団活動の必要性を真に理解している人が減っている
・進め方（QCストーリー）を真に理解している人が減っている
・主要ツール（QC7つ道具、新7つ道具）を真に理解している人が減っている

■対象：日々運用業務に励む、実務経験5～10年目の業務システム担当者

### ■開催日時

**2014年10月16日（木）・30日（木）**

**※いずれも10:00-18:00**

### ■受講料（2日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：66,000円　一般：84,000円**

### ■定員　20名

### ■会場　JUAS会議室　（東京・日本橋堀留町）

### ■主な講義内容

1日目
**（1）QCと運用サービス**
**（2）QCストーリー（前半）**
・テーマ選定
・現状把握
・目標設定
・要因の解析
・課題の明確化
**（3）上記の演習**
**（4）職場実践課題の解説**

2日目
**（1）職場実践課題の発表＆フィードバック**
**（2）QCストーリー（後半）**
・対策の立案
・最適策の追求
・方策の立案
・効果の確認
・歯止め
・反省と今後の計画
**（3）上記の演習**
**（4）事例紹介**
**（※各回によって内容が変わります）**
・サービスデスク
・アプリケーション運用
・システム基盤運用
**（5）まとめ＆振り返り**



## 自社利用ソフトウェアを中心とした
## IT投資（ハード・ソフト）の税務と
## 税務対応で準備すべき事項の基礎

～移転価格税制、クラウドコンピューティング、税務調査への対応を含む～

**講師：竹内　茂樹氏（新日本アーンスト　アンド　ヤング税理士法人　税理士　米国公認会計士）**

本セミナーでは、コンピュータ、ソフトウェアの取得・利用・廃棄などにおける税務上の取り扱いについて、実務上、生じる問題を網羅的に取り上げ解説するとともに、海外子会社との間で問題になる移転価格税制上の留意点やクラウドコンピューティングといった新しい話題についても取り上げます。また、併せて税務調査の現状を紹介し、税務申告・税務調査のために整備しておかなければならない記録などについても解説します。

■対　象：経理担当者、情報システム部門のマネージャー・リーダー・管理者
■前　提：繰延資産、試験研究費、減価償却などの税務・会計の基本用語の意味を理解されている方

### ■開催日時

**2014年11月18日（火）10:00-17:00**

### ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

### ■定員　30名

### ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

### ■主な講義内容

1　業務用ソフトウェアの取得・利用・廃棄をめぐる税務
2　ハードウェアの取得・利用・廃棄をめぐる税務
3　ソフトウェア・ハードウェアのリース取引と税務
4　研究開発促進税制について
5　移転価格税制上の留意点
6　クラウドコンピューティングを巡る税務上の問題
7　税務調査対応の勘所

# カテゴリー別事例に学ぶIT紛争の防止

～業務・技術的側面からの教訓と対策～

**講師：芳仲　宏氏（東京地方裁判所　専門委員（IT分野）　民事調停委員（IT分野））**

「愚者は経験して学び、賢者は他人の失敗から学ぶ」と言われております。
本セミナーは、IT紛争の技術的側面をケーススタディ形式で解説するものです。ケーススタディは、講師の長年のユーザ・ベンダ双方の立場における業務経験から、

・IT紛争の未然防止
・IT紛争の技術的背景のより良い理解

などのために創作された架空の事件・虚構の事件です。主要カテゴリー別に説明し、教訓と対策を解説します。

**■開催日時**

**2015年2月13日（金）　10:00-17:00**

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**Ⅰ．開発方式を巡るトラブル**
①ウォーターフォール方式、
②アジャイル方式
③プロトタイピング方式
④WEBサイト開発
⑤組み込み型ソフト開発
⑥開発標準・コーディング規約

**Ⅱ．パッケージ関連のトラブル**
①パッケージの選択
②パッケージ適用の錯誤
③FIT＆GAP分析
④パッケージ類似のシステム導入
⑤パッケージソフトの受入・検収

**Ⅲ．契約類型・条件を巡るトラブル**
①請負契約/準委任契約
②多段階契約　　③契約の成立
④検収条件
⑤納入場所・成果物・著作権等
⑥役割分担　　⑦オフショア・再委託
⑧適用技術調査

**Ⅳ．システム仕様・要件を巡るトラブル**
①要件定義・開発対象範囲
②RFPとシステム提案書
③機能要件・非機能要件
④仕様変更
⑤システム仕様とテスト要件

**Ⅴ．その他事例紹介**
①プロジェクトマネージメントと協力義務
②運用・保守・移行等
③第三者ソフトウェア・FOSSの利用
④現場検証関連
⑤デジタルフォレンジック
⑥電子メールの取り扱い

**Ⅵ．番外編 トラブル防止のための各種ガイドラインの紹介**

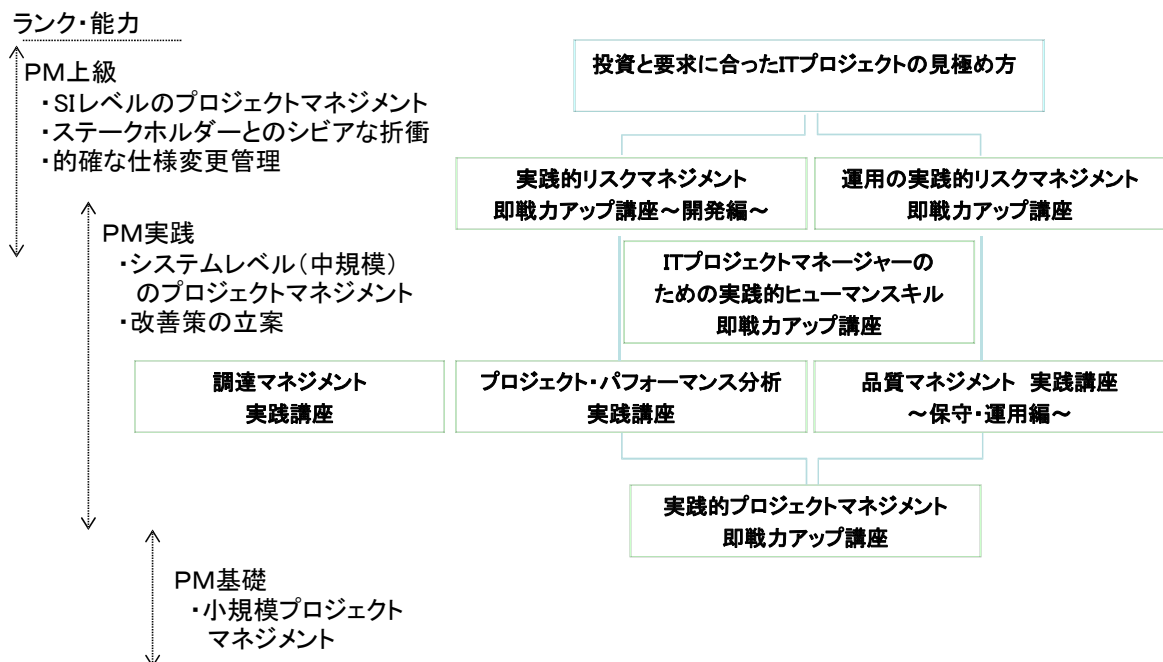
年間予定セミナー

# スキルトレーニング

※セミナーの日程・内容は都合により変更することがございます。詳しくはWEBをご覧ください。



# PDU発給/PMP受講証明対象講座

～株式会社ピーエム・アラインメント　佐藤講師・中谷講師のセミナーが対象です～

# 判決例から学ぶプロマネ義務とバグの生成回避・発見・修正義務研究

ーその義務内容から周辺業務への影響・紛争回避策までー

**講師： 稲垣 隆一氏**（稲垣隆一法律事務所 弁護士）
（元 情報システムの信頼性向上のための取引慣行・契約に関するタスクフォース委員）

本セミナーでは、最近、判決の出た2件の重要IT紛争（スルガ銀行訴訟・ジェイコム株式誤発注訴訟）の第二審判決を素材に、そこで認定されたIT取引契約の課題について解説します。併せて、これらの判決に基づくユーザー・ベンダー双方についての教訓・対策を学んでまいります。

スルガ銀行訴訟については、ユーザーとして「なぜこれだけの訴訟ができたのか」という点に注目すべきです。そこには開発過程における記録管理の重要性が浮かび上がります。もう1つ注目すべき点は、第三者のソフトウェアを利用する場合の留意点と企画・提案段階におけるプロジェクトマネジメント義務です。

ジェイコム株式誤発注訴訟では、すべての処理プロセス（パス）についてのテストという課題が浮かびあがります。結論として、裁判には勝者も敗者もいないということが分かります。本セミナーでは、どのようにして紛争を未然に防止すべきか、紛争をどのように解決したらよいかについても、検討してまいります。

### ■開催日時

2014年4月8日（火） 10:00-17:00

### ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

JUAS会員／ITC：33,000円 一般：42,000円

### ■定員 30名

### ■会場 JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

### ■主な講義内容

•第1部 プロジェクトマネジメント義務と周辺業務への影響、紛争回避策（スルガ銀行裁判）
- •1 事案の概要と裁判の経過
- •2 事実関係
- •3 裁判所の判断
- •4 頓挫の帰責事由についての当事者の主張
- •5 プロジェクト頓挫の帰責事由に関する裁判所の判断
- •6 損害賠償責任と上限条項の効力
- •7 プロジェクトマネジメント義務の内容
- •8 どのような段階で何をなすべきか
- •9 システム調達監査に対するプロジェクトマネジメント義務の影響

•第2部 プログラムバグの生成回避・発見・修正義務と紛争回避策（ジェイコム株式誤発注裁判）
- •1 事案の概要と裁判の経過
- •2 事実関係
- •3 裁判所の判断
- •4 帰責事由についての当事者の主張
- •5 損害賠償責任
- •6 売買システムの不具合に関する裁判所の判断
- •7 バグの生成回避・発見・修正の義務と紛争回避策
- •8 システムの不具合により第三者に損失が生じた場合の発注者と受注者の責任

# リーダーを目指す女性のための実践講座

～支援型リーダーか、牽引型リーダーか、それ以外か？
～人生のキャリアの自己実現のために出来ること～

**講師：永谷 裕子 氏**（株式会社アスカプランニング 取締役社長 PMI公認PMP）
**浦田 有佳里 氏**（株式会社HS情報システムズ 経営企画課 専門役 PMI公認PMP）
※PMP～プロジェクトマネジメントプロフェッショナル

今、官民をあげて、女性の活躍を促進する様々な施策が展開されております。脳科学的にも、生物学的にも、男性と女性はそれぞれ違う特徴をもっており、その適性や能力を生かす事は、ビジネスの上では大変重要なことです。それぞれが本来持っている適性を活かし、理解したうえで、不足を補うスキルを身につけることが重要です。チームマネジメントも同じく、A「チームの自立性を活かし、支援型でのリーダーシップ」が必要な時と、B「危機的状況などトップダウンでの牽引型リーダーシップ」が必要な時など、どのようなリーダーシップを発揮するかは状況に応じて違い、必要なコミュニケーション・スキルも違います。

また、女性には、出産・育児といった多重な役割もあり、男性よりタイムマネジメント、ストレスマネジメントといったスキルが要求されています。 本セミナーは、リーダーとして必要な知識・技術を学ぶとともに、体験談・討議・意見交換を通して皆様が抱える課題に対する克服方法について気づきを得ていただくことを目的としております。

■対象： IT関連業務においてこれから部下を持たれる女性管理者(リーダー)・候補者、チーム運営・部下指導等で悩みや課題をお持ちの女性管理者、キャリアアップを目指す女性管理者、女性管理者同士の情報・意見交換をされたい方

### ■開催日時

2014年4月9日（水） 10:00-18:00

### ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

JUAS会員／ITC：33,000円 一般：42,000円

### ■定員 24名

### ■会場 JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

### ■主な講義内容

第1部
基礎スキル ：チームビルディングとリーダーとして必要な5つのスキル
講師：永谷 裕子氏

第2部
女性の特性を活かしたリーダーシップ
講師：永谷 裕子氏

第3部 ワークショップ： ① 働く女性の人生のプロジェクトマネジメント
ファシリテーター：浦田 有佳里

第4部 ワークショップ： ② ワールドカフェ：キャリアアップのハードルは、組織の壁か、自分の壁か～
カフェホスト：永谷裕子
浦田有佳里

まとめ

# 国民番号制度の総合的研究

－民間企業への影響と将来のイノベーションの可能性－

**講師：榎並　利博氏**（株式会社富士通総研　経済研究所　主席研究員）

本セミナーでは、国民番号制度について、基礎から体系的に学び、国民番号制度の民間企業への影響、将来のイノベーションの可能性と先進事例（明暗）を学んでまいります。併せて、細目（政省令）の最近動向を解説し、今後、何をしなければならないかを明らかにします。
なお、当面は法で規定された業務を除き個人番号の収集は禁じられています。

■対象：　これから共通番号制度について学ばれたい方。断片的には共通番号制度について知っているが、基礎から体系的学びたい方

## ■開催日時

**2014年4月11日（金）　10:00-17:00**

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

## ■定員　30名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

**1.我が国における番号制度の経緯**
グリーンカード制度、住基ネット、反対派の論拠とその変化

**2.マイナンバーへの動き**
マイナンバーが動き出した背景、番号制度の概念とその意義、番号制度の論点

**3.マイナンバー法の意義とその概要**
概要とその意義、政権交代による影響
経済効果とマイナンバー市場

**4.具体的な活用例（社会保障分野）**
社会保障分野（年金、医療・介護、福祉、労働）における活用例、具体的な活用イメージ

**5.ロードマップと具体的な導入**
全体のスケジュール、番号利用の立場、対象期間と作業概要、各段階の作業

**6.自治体の業務・システム・条例への影響**
自治体の体制、環境整備段階・第1次導入段階・第2次導入段階における業務・システム・条例への影響、特定個人情報保護評価

**7.民間の業務・システムへの影響**
民間の体制、税・社会保障関係業務、金融関係の注意事項、民間一般の注意事項

**8.マイナンバーによるイノベーションと将来展望**
民間ビジネスの可能性（公的個人認証、給付税額控除、代理人規定自治体条例によるマイナンバー利用）医療・防災への拡張、海外事例

**9.マイナンバーの課題**
社会保障・税による拡張と国民のメリット、個人情報とプライバシー

**10.調達仕様書から読み解くマイナンバーの設計**
中間サーバー調達仕様、情報提供ネットワークシステム調達仕様、その他

**11.政省令による実務への影響**
政省令の内容を紹介
※今後、順次発表予定

---

テーラリング(標準の実プロジェクトへの適用)の基礎からもう一度理解する

# WBS作成の技術

**講師：三輪　一郎氏**（株式会社プライド　チーフ・システム・コンサルタント）

PMBOKの普及に伴って“WBS”という言葉は急速に広まりつつありますが、いまだにその作成は、「経験と勘」や「先輩が残したスケジュール表の見直し」といった手法に頼るしかない、という現場が数多く見られます。
WBSとはWork Breakdown Structure の略ですが、その本質はあまり理解されていません。Workとは何を指すのか、Breakdownの観点は何か、プロジェクトを通じて保持すべきはどんなStructureなのか。これらの概念を基礎から理解した上で適用しないと、“WBS”を作成していることにはならないのです。
本セミナーは、プロジェクトを“管理可能なものにする”ための基礎中の基礎である、“WBS作成の技術” を体感・体得していただくために企画致しました。
“WBS”の本当の力を、その基本原理に立ち返って改めて腹に落とし、演習を通じて習得して下さい。

**■対象**：プロジェクト実行計画の立案に携わる方。10名以上のチームを率いる立場の方。WBSについて、基礎からスケジュール化まで体系的に学びたい方

## ■開催日時

| 2014年　4月15日（火）10：00-17：00 |
|---|
| 2014年10月　7日（火）10：00-17：00 |

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

## ■定員　20名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

1. 基礎編：“WBS”とテーラリング（実プロジェクトへの適用）

2. 手順編1：構造階層の認識に基づくWBS展開
　●演習①：「構造×工程」によるワークパッケージ抽出

3. 手順編2：WBSからスケジュールへ
　●演習②：ワークパッケージからスケジュールへ

4. 応用編：上流工程のWBS／テスト工程のWBS
まとめ：プロジェクトマネジメントの基盤としてのWBS

ソフトウェア開発を中心とした

# 品質管理の考え方と品質評価のあり方

～品質評価の視点と演習による習得～

**講師：木村　利昭氏（株式会社日立製作所 情報・通信システム社 アプリケーションサービス事業部 部長）**

ソフトウェアの品質というと、我々はすぐに「ソフトウェアに欠陥（バグ）がないこと」と考えます。それは確かに重要な一面ではありますが、良い品質のソフトウェアは「欠陥を取り除くこと」だけで実現できるものではありません。もっと幅の広い、様々な要素がソフトウェアの品質にかかわりを持ち、それを実現するためにいろいろな活動が必要になります。

本セミナーでは、一般的な「品質」の定義から始め、ソフトウェアの品質とは何か、それを向上させるためにどういう方法があるのかについて説明いたします。その後、プログラム品質評価の考え方として、品質基準とする各要素の考え方および品質評価の実施について演習を交えて習得していただきます。特に品質基準の要素としては、チェックリスト件数と不良（バグ）件数以外に必要な観点についてご紹介します。

**■対象**：IS部門・システム子会社・SI会社等で、ソフトウェアの品質管理／品質向上策を学びたい方

**■開催日時**

| 2014年　4月16日（水） 10:00-18:00 |
|---|
| 2014年10月22日（水） 10:00-18:00 |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　24名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**第1部　ソフトウェアの品質管理の考え方**

1　ソフトウェア品質・品質管理とは
2　ソフトウェアの品質向上のための手法
3　ソフトウェアの品質管理に必要な要素

**第2部　ソフトウェアの品質管理と評価**

1　ソフトウェア品質を見ていく視点
2　チェックリスト（テストケースリスト）作成の考え方
3　ソフトウェア品質評価の考え方
4　プログラム改修時の品質評価
5　総合的な品質評価の考え方と留意点
6　まとめ

**＜品質評価演習＞**

プログラムに関する各種データ（規模、工程別のテスト結果等）を見て、品質が保持されているのかどうかをグループディスカッションにて評価していただきます。
評価では、「懸念」が残るプログラムを選定して、その理由および品質確保のために実施すべき対策（または確認すべき事項）を整理していただきます。



# ビジネスモデル構築のステップと手法

～儲かる仕組み・成長する仕組みづくりの方法～

顧客・対象市場の決定からデザイン化、バリューチェーンへの落とし込みまで

**講師：尾田　友志氏（マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表）**

日本企業の一般的傾向として製品開発力と比較して、仕組み・仕掛けのデザイン力が弱いと指摘されてきました。その原因の1つとして、仕組み・仕掛けをデザインする方法論が確立されていなかったことも一因だと思われます。

具体的な儲かる仕組み自体は講義できませんが、本セミナーでは仕組みのデザイン力を向上させる着眼点、分解の仕方、検討の仕方、まとめ方について、実際の思考プロセスに従って説明してまいります。すなわち、顧客・対象市場の決定からBusiness Model Generationを下敷きにしてデザインし、バリューチェーンに落とし込むまでの方法を紹介します。

**■対象**：システムの構想・企画者、業務改革に取り組む方

**■開催日時**

| 2014年　4月18日（金）10:00-17:00 |
|---|
| 2014年11月28日（金）10:00-17:00 |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

1.なぜビジネスモデルか?

2.ビジネスモデルの定義

3.ビジネスモデルにより、日本企業に勝った韓国企業

4.業績の良い会社の5つの要件

5.頭の体操～自社の現在のビジネスモデルを明らかにする

6.ビジネスモデル構築のステップ

思考の整理、ファシリテーション、レポート・提案書作成のための

# 図解表現入門講座

～図解表現の原理・原則とテクニックを学ぶ講義と演習の１日コース～

**講師：丸山　有彦氏（文書コンサルタント）**

私たちは、さまざまな場面で図やイラストを目にします。パワーポイントをはじめとして業務においても、図やイラストが必要不可欠なものとなりました。 しかし作成者側になったとき、大抵の人は何から手をつけたら良いのかわからず立ちつくします。アプリケーションの使い方がわかることとは別に、図解をする際にどう作るべきかを学ぶ必要があります。

最近は一枚におさめた企画書を目にする機会も多くなりました。それらは大抵きれいに作られてはいるものの、すべてが読み手に訴えかけるものばかりではなさそうです。そこには、センスの良し悪し、色彩の問題だけでなく、表現の内容・様式が関係しているようです。

最も大切なこととして図解をする前に、自分の考えを整理して提示できるかという点があります。整理された考えを効果的に伝えるには図解が大いに役立ちます。さらに、効果的な説明を加えて、不特定多数の方々にアピールすることもできます。

本セミナーでは、発想法としての図解から効果的な図の配置、視点の流れまでを基礎からお話します。

**■開催日時**

| 2014年　4月23日（水）10:00-18:00 |
|---|
| 2014年10月17日（金）10:00-18:00 |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

1　図解とはどんなものか
2　図解の構成要素と図解の種類
3　図解を利用する3つの場面
4　図解作成の原則
5　図解作成の具体的手順
6　色の使い方
7　全体のバランス
8　プレゼンテーションと紙文書



# 清水吉男の仕様が漏れない要求仕様の書き方講座

## ～ＵＳＤＭの活用とユーザーとベンダーの協同作業が重要～

ＵＳＤＭ（Universal Specification Describing Manner）の具体的な表記法を演習中心で学びます。

**講師：清水　吉男氏（株式会社システムクリエイツ　代表取締役）**

プロジェクト成功の秘訣は、要求定義書の明確化にあります。しかし「何をどのように書けば良いのか」を具体的に記述したガイドはほとんどありません。ユーザー自らが「要求」を確認し、「仕様」として全てを表現していく必要があり、もし書ききれない場合は、パートナーとなるベンダー企業と協同して「仕様が漏れない要求仕様」を書かなければなりません。

その際ポイントになるのが仕様の変更管理です。もちろん変更がないのがベストですが、人間が考え出すことに要求が増えていくことは自然な成り行きともいえます。仕様が変わる・増える場合の管理がきっちりできて、お互いの成果に反映できれば、問題を防ぐことができます。

本セミナーでは、ご好評をいただいている「仕様が漏れない要求仕様の書き方」シリーズを実践する際の注意点、要求を仕様化する際の考え方、整理すべき点、などを中心に講義をすすめます。多数の成功プロジェクトの経験者として有名な清水氏の事例も交え、具体的、かつ実践的なノウハウを中心に提供します。

一般的な「要求仕様書の書き方」講座とは一線を画す充実のセミナーに、ぜひご参加ください。

■対象：ユーザー企業やベンダー企業にて情報システム開発に携わる、管理者、担当者、プロジェクトマネージャー

**■開催日時**

| 2014年5月15日(木)　10:00-17:30 |
|---|
| 2014年11月27日(木)　10:00-17:30 |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員：40名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

第1章：なぜ、仕様が漏れるのか
第2章：USDMの特徴
第3章：要求を表現する（演習）
第4章：要求を仕様化する（演習）
（事例紹介）
第5章：画面仕様にもUSDMを適用する
第6章：作り方の品質要求の扱い
第7章：要件管理プロセス

〈USDMの特徴〉

①「必要機能、必要十分要件を記述する際には、機能仕様、機能要件に加えて理由（さらに必要ならば説明）を必ずつける。このことによりなぜこの方法が必要になるのかがより一層明確になる。

②要求機能が要件定義にどのように展開されたのかが、系統的にフォローでき、開発だけでなく保守作業にも引き続き活用できるので、機能のTraceabilityが確保できる。

③このUSDM方式は、EXCELを活用して機能、非機能を詳細に定義できるので、従来どのベンダーも出来なかった仕様変更回数などが簡単にカウントでき仕様変更率のマネジメントが可能になる。

④IEEE830に提唱されている開発ドキュメント方式も、この方式に近似しており、国際的にも通用しやすい。

# ITプロジェクトマネジメント ≪基礎≫

## イチから学べる！体系網羅的に学べる！

**講師：寺池　光弘氏（株式会社CACエクシケア　教育実施責任者　情報処理技術者試験委員）**

プロジェクトマネジメントのセミナーは数あれど、「イチから」「体系網羅的に」「各種標準も含め」学べるセミナーは・・・・意外とない。
本セミナーはそんな、会員様のリクエストで実現しました。属人的な要素に頼らないプロジェクト・マネジメント手法として広く浸透しつつあるPMBOK ®をベースに、プロジェクト・マネジメントの基礎知識とその実践方法をユーザー企業の目線で解説します。
また、現在はプロジェクトメンバーであっても、数年後にはプロジェクトリーダー、プロジェクトマネージャー、特にベンダーマネジメントを担当することを想定してその業務上の要点を解説します。新人、配転者の方にもわかりやすいようプロジェクトの立ち上げ→計画→実施→コントロール→終結・評価と時間軸に沿った構成です。
プロジェクトマネジメントのひとつひとつを経験なしに机上で完璧に習得することはできませんが、まずは、アタマの中に体系的な知識を置き全体感を掴むことで、今後の業務を並行（プロット）させながら知識を定着化させることができます。

■対象：ユーザー企業IT部門の新入社員・IT部門に配転となった方をはじめ、業務経験が数年の若手メンバー（情報システム部門・情報システム子会社、Sier等）

### ■開催日時

**2014年5月22日（木）・23日（金）**

**※いずれも10:00-18:00**

### ■受講料（2日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：66,000円　一般：84,000円**

### ■定員　25名

### ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

### ■主な講義内容

＜1日目＞
- システム開発ライフサイクル（SLCP、UISS）
- プロジェクトとプロジェクト・マネジメント（PMBOK、CMMI）
- プロジェクトの立ち上げ（体制構築、ステークフォルダ管理）
- プロジェクト計画（QCD計画、WBS、コミュニケーション計画）

＜2日目＞
- プロジェクト実施（進捗管理、リスク管理、リソース管理）
- プロジェクトコントロール（スコープ管理、品質管理、変更管理
- プロジェクト終結と評価（メトリックス）

※本セミナーはJUAS新人・配転者向けプログラム：プロジェクトマネジメントのスピンアウト講座です。



# システムライフサイクル実体験講座

## 経営要求（ビジネスモデルの変革、業務変革）→IT化企画→調達→導入後評価迄のプロセスをモデルケースで疑似体験

**講師：土方千代子氏　（有限会社PBT）　足立英治氏　（株式会社フォーストランキル代表）**

IT導入の目的は、①業務の効率化やスピードアップ、②経営情報のリアルタイム把握による経営判断の迅速化、③グループ会社や関係会社との情報連携・共有によるビジネス支援などによって企業の活性化に貢献することです。しかし業務が細分化した今、本質的なIT部門の役割（目的・機能・思想）や「経営判断～IT化企画～要件整理～RFP作成～開発～導入後評価」の流れを理解できずに日々の業務に埋もれ、前後の関係や自らの業務の意味を見失っている若手が少なくありません。
「経営の要求がどのようにIT化企画・実装に落とし込まれていくのか」「利用部門やIT部門が’求めるシステム’をどう共有するか」「システムオーナーはどのように発注するのか、どこにリスクあるのか」「システム稼働後の成果をどのように評価するのか」・・・そして、自分は何を担い、企業や社会に貢献するのか。
モデルケースを用いて、IT化の企画～導入後のモニタリングまでを疑似体験、本講座では、経営要求（ビジネスモデルの変革、業務変革）→IT化企画→調達→導入後評価迄のプロセスをモデルケースを活用した疑似体験することによって実践的な理解に結びつけます。

### ■開催日時

**2014年5月20日（火）・21日（水）**
**5月26日（月）・27日（火）**
**6月10日（火）**
**※全5回いずれも　12:30-19:00**

### ■受講料（5日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：165,000円　一般：210,000円**

### ■定員　12名

### ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

### ■主な講義内容

1. 情報化企画プロセス確認
   経営戦略の結果を受けて、IT化の検討計画をたてる
2. システム要件ヒアリング
   IT化範囲を明確にするための要求分析、要求の可視化を行う
3. RFPと提案評価
   IT化要件（機能要求、非機能要求）を具体化し、RFPを発行。
   提出された提案書を評価する
4. 実行計画・モニタリング指標設定
   IT化の実行計画を策定し、モニタリングを実施する
5. リリース決定・運用後の評価
   リリースと運用後の評価を行う

※本セミナーはJUAS新人・配転者向けプログラム：情報化ケーススタディ①～⑤のスピンアウト講座です。

業務コスト算出と見える化に優れた

# 「業務改善手法」の徹底研究

～ ABC/ABMによる業務改善・IT投資効果分析の進め方～

**講師:尾田　友志氏**(マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表)

経営者がIT部門に期待していることの1つとして業務改善があります。内部統制・IFRSの導入に伴い業務改善の要請が強くなっています。業務改善には、ヒアリングにより現場の問題点を把握する方法、業務フローを基にムリ・ムダ・ムラを見つける方法など、いろいろな手法があります。

本セミナーで紹介するABC/ABMは①業務コストの算出、②付加価値業務・非付加価値業務の区分をすることが特徴です。業務の改善にあたっては、強制するのではなくて、納得していただく必要があります。改善効果・改善根拠の見える化に優れた手法が、業務コストを明らかにするABC/ABMです。ABC/ABMは「活動基準原価計算」と訳され、原価計算方式の1つとして考えられていました。その後、ホワイトカラーの業務コストを算出して会社の管理コストを抑えるために大きな効果を発揮しました。

ABC/ABMは様々な業務改善・プロセス改善や投資効果の評価にも利用できます。本セミナーでは、理論的な精緻さを追求するのではなく、持ち返ってご自分の会社で活用し実務的な答えを出すことのできる簡単な方法を紹介いたします。

**■開催日時**

**2014年5月23日(金)10:00-17:00**

**■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)**

**JUAS会員/ITC:33,000円　一般:42,000円**

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)**

**■主な講義内容**

はじめに
1　ABC/ABMの基本概念
2　ABCによる業務改善アプローチ
3　ABC/ABM導入のメリット
4　簡易ABC/ABMの進め方
5　内部統制で作成した業務プロセスチャートの活用
6　IT投資効果算定への活用



# 若手SEのためのロジカルシンキング入門

～若手SEの説明能力・ドキュメント作成能力向上を目指す～

**講師:寺池　光弘氏**
**(株式会社CACエクシケア　人事部　教育実施責任者　情報処理技術者試験委員)**

本セミナーは、ビジネスの現場をひととおり経験した若手社員が、ビジネスシーンにおいて自分の意図を的確に相手に伝えるための、「考える視点」と「構造化する力」を身につけるためのコースです。

物事を漠然と捉えるのではなく、論理的に考え、説明する(話す/書く)ことができるようになるため、下記のような問題を解決できます。

●報告書や計画書や見積り依頼書を作成する際、自分の伝えたいことはなんとなくはわかっているものの、まとめ方が今一わからないため、重要なポイントを書き漏らしてしまったり、独りよがりな文章を書いてしまい意図が正しく伝わらない。

●上司に報告や説明を求められた際、話を組み立てずに説明を始めてしまい、「何を言っているのか分からない」と指摘される。あるいは説明が冗長になってしまう。

加えてこれらの考え方と手法を活用し、納得性・説得性のあるコミュニケーション手法も伝授。講義だけでなく受講者参加型のグループディスカッション・演習(発表・説明)を実施しながら進めますので、知識を実践的に習得できます。

好評につき、シリーズで開催します。

**■対象**:業務経験数年の若手メンバー(情報システム部門・情報システム子会社、SIer等)

**■開催日時**

| |
|---|
| **2014年　5月27日(火)　10:00-18:00** |
| **2014年 12月12日(金)　10:00-18:00** |

**■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)**

**JUAS会員/ITC:33,000円　一般:42,000円**

**■定員:25名**

**■会場　JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)**

**■主な講義内容**

1　オリエンテーション/アイスブレーキング
2　思考方法を理解する(講義・グループ演習)
　論理的な思考力とは何かをレクチャーし、演習で実感していきます。
3　論理の組み立て方を学ぶ(講義・グループ演習)
　論理的に考えるための、下記の手法について解説、演習で実践してみます。
　MECE/フレームワークロジックツリー/So-Why So-What
4　コミュニケーションへの応用(講義・グループ演習)
　ビジネスシーンにおけるコミュニケーションのポイントをレクチャーし、演習で実践してみます。
　・SDS　　・PREP
5　まとめ・振り返り(講義・グループ演習)
　研修内容をふまえ、目標と実践するための行動を書き出し、グループでディスカッションを行い、実践につなげます。

# 運用の実践的リスクマネジメント即戦力アップ講座

運用設計段階でのリスク分析・特定の仕方（ＩＴＩＬⓇＶ３やＰＭＢＯＫⓇなども参考にします）から、
作業段階で現場が行うべき、確実性向上のためのリスク管理までをケーススタディを通して学びます。

**講師：中谷　英雄氏**（株式会社ピーエム・アラインメント　取締役　ビジネスコンサルティング部長）

情報システムを開発するより、運用する期間の方が平均17年（JUAS動向調査）と圧倒的に長くなっている今、そのリスクも多岐にわたり、リスクマネジメントの重要性がますます高まっています。
運用リスクマネジメントの成功の鍵は、まず設計の検討段階でリスク要因を「可視化」して共有できる環境を作り、どこまで取り組むべきかのコストバランスにあった対策を施すことにあります。そのためには継続のための横断的な組織、リスクが発生しやすい環境の見極め、運用作業段階での確実性を高めるリスク管理などが不可欠です。運用リスクマネジメントではリスクの発生確率と、その影響に伴う損失を最小化し、顧客の満足度、企業価値を向上させる必要もあります。
運用のリスク管理成功の鍵は、
①運用設計の検討段階でのリスク要因を可視化＆コストバランスに合った対策を施すこと
②運用作業の確実性向上
運用設計段階でのリスク分析、対策の仕方から、運用作業段階での確実性向上に役立つ具体的ノウハウを、講義とモデルケースを通して伝授します。
数多くのリスクマネジメントを手がけた講師が、運用段階における失敗・成功事例と共に、即活用できるポイントもご紹介致します。

■対象：運用管理者、担当者、プロジェクトマネージャー、情報システム部門管理者、運用委託先ベンダー管理者など

**■開催日時**

**2014年5月28日（水）　10:00-18:00**

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　25名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**第1章：ITサービス・リスクマネジメントの重要性**
**第2章：リスクマネジメントのプロセス**
**第3章：運用作業で留意する不確実性を読み解く**
**第4章：ITサービス・リスクマネジメントの各社の取り組み**

PDU取得修了書発行7時間7PDU

**ケーススタディ：（グループ演習）**
**問題山積のITサービス業務の事例から学ぶ**
**人材管理システムの顧客満足度の低下、ITサービス担当者の不満、トラブル増加のITサービス事例を取り上げ、グループ討議を通じて、リスク事象、リスク原因、対策を発表いただき、新しい気づきを得て、感覚・センスを磨き、実務に応用していただきます。**



# ソフトウェア文章化作法　初級 若手向け

相手に伝わる正確な文章を書くためのポイントと考え方の基礎を学びます

**講師：上田　志雄氏**（株式会社ティージー情報ネットワーク　基盤戦略推進部
アプリ基盤グループ　シニアプロジェクトマネージャ）

情報システム構築において、無駄な工数と費用を掛けないためには、まずは明確な仕様書が必要です。そのためには、誤解を招かない正確な日本語で仕様書を記述しなければなりません。
しかし、日本語には、主語が明確でなくても何となく相手に伝わる曖昧さがあります。また、「大量のデータ」といったような量・質などを表すあいまいな表現が存在します。仕様書などのソフトウェア文書においては、具体性がなく曖昧な表現がトラブルの元になります。
ソフトウェア文書において一番大事なことは、自分の希望・意思を相手に間違いなく伝えることです。
そのためにはどのように記述すればよいのか、日本語の基礎を見直し、日本語の特徴を把握して、ソフトウェア文章を明快に記述する「作法」を演習で実体験していただきながら習得するコースです。
■対象：IS部門・企画部門・SI企業等で仕様書・提案書をご担当の方

**■開催日時**

**2014年 5月29日（木）・30日（金）**

**※いずれも　10:00-18:00**

**■受講料（2日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：66,000円　一般：84,000円**

**■定員　25名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

＜1日目＞
1　オリエンテーション
2　文章力確認
・日本語について
・語彙力確認
3　日本語の特徴
・品詞の並べ方
・句の並べ方
・助詞の使い方
4　日本語の特徴
5　紛らわしい文章
6　文章力向上の基礎
・発想力

＜2日目＞
7　縮約による文章
・縮約
・要約
8　文書作成の基本
9　ビジネス文書の作成
10　システム企画書
・状況説明
・実習
・成果発表
・クイズ

# 提案の視点を磨く講座

～数百例の分析から導いた発想の視点を事例のシャワーと共に学ぶ～

**講師：小山　孔司氏**（元アンダーセンコンサルティング(株)（現アクセンチュア(株)）パートナー
明治大学ビジネススクール・グローバルビジネス研究科　兼任講師／株式会社 アライヴテック　取締役会長）

IT部門には、「全社の各部門の業務を横断的に俯瞰することができる」「各部門のデータやプロセスを横串で見ることができる」という強みがあります。しかしその強みを十分に生かして、自社のサービス・商品やビジネス・プロセスを、ITの視点から変革していくにはどうしたらよいのでしょうか。

本セミナーでは、プロセス改革・経営改革のエンジンとなる考え方（「革新ドライバー」）を豊富な経営革新事例とともに学びます。また、革新ドライバーという、経営改新の視点からビジネスを革新するための実践的なフレームワークをグループ演習を交えて体得します。

「革新ドライバー」とは数百事例以上の経営改革事例の分析と整理・体系化から生まれたフレームワークです。机上の空論ではないフレームワークを学ぶことで、各ドライバーの要素を組み合わせ、より実践的な自社の課題解決や目的実現につながる提案力を高めることを目指します。

■対象：IT部門からのビジネス提案を模索している方、業務プロセス革新へ取り組む上で役に立つ考え方にご関心のある方

※本セミナーは参加者の声を反映し、従来の「ビジネスプロセスを改革するフレームワーク適用実践講座」の名称を改訂したものです。

## ■開催日時

**2014年 6月4日（水）　10:00-18:00**

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

## ■定員　25名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

はじめに　セミナー概要と目的の確認

革新ドライバーとソリューションの事例【講義／グループ演習】
1 顧客起点／2 中抜き／3 先回り／4 先送り／5 見える化
6 共同化／7 集約化／8 可搬性／9 共有化／10 統合化
11 連結／12 外部化／ 13　標準化／14　追跡／15　囲い込み
16　誘導／17　高速化／18　時差／19　相互供給 ／20　移管

革新ドライバーの適用ケーススタディ【グループ演習】

革新ドライバーによる経営革新アプローチ【講義】

質疑応答



# 部下を持つ管理者必修　ソフトウェア文章化作法　中堅管理者向け

部下が作った提案書、仕様書を、正確に伝わる文章に修正、改善することが出来ますか？

**講師：福田　修氏**（テクノロジー・オブ・アジア株式会社　代表取締役）

情報システム構築において無駄な工数と費用を掛けないためには、まずは明確な仕様書が必要です。そのためには、誤解を招かない正確な日本語で仕様書を記述しなければなりません。

しかし、日本語には主語が明確でなくても、何となく相手に伝わる曖昧さがあります。また、「大量のデータ」といったような量・質などを表す曖昧な表現が存在します。仕様書などのソフトウェア文章においては、こうした具体性に欠けた表現がトラブルの元になります。

JUASではソフトウェア文章における日本語のあり方について、約2年間議論を重ね、『SEを極める仕事に役立つ文章作成術』(日経コンピュータ出版　(社)日本情報システム・ユーザー協会／福田修　編)を出版いたしました。「ソフトウェア文章化作法」講座では、この書籍の重要ポイントを演習を通して習得するとともに、講師の日本語・ソフトウェア文章における知見、仕事の進め方などを伝授します。

さらに「中堅管理者向け」コースでは、部下の指導をされる方のために、提出された文章を正しく修正・改善するための指導法についても習得していただきます。

■対象：IS部門、企画部門、SI企業の部下のいる管理職の方

## ■開催日時

**2014年6月5日(木)・6日(金)**
**2014年11月6日(木)・7日(金)**

**※いずれも10:00-18:00**

## ■受講料（2日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：66,000円　一般：84,000円**

## ■定員　24名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

| ＜1日目＞ | ＜2日目＞ |
|---|---|
| 1　セミナーの目的とねらい | 1　縮約による文章力向上 |
| 2　日本語に関する最近の動向と企業 | 2　要約による構成力向上 |
| 3　部下指導の心構えと方法 | 3　文章作成の基本技術 |
| 4　基礎力確認 | 4　一般的な業務文章の書き方と指導 |
| 5　文法の復習 | 5　ソフトウェア文章の書き方と指導 |
| 6　文章を読む力と書く力 | 6　提案依頼書の書き方 |
| 7　悪文例と訂正方法 | 7　まとめ |
| 8　文章力向上の方法 | |

# 若手SEのための合意形成の基礎

～若手SEの業務課題の抽出力と分析力の向上を目指す～

**講師：寺池　光弘氏**

**（株式会社CACエクシケア　人事部　教育実施責任者　情報処理技術者試験委員 ）**

大事な会議、日々のちょっとしたミーティング… こんなことはありませんか？

・議論が空中戦になってしまう　・議論がかみ合わない　・問題解決のための合意形成が進まない

本コースでは、関係者が同じ土俵に乗り、納得感を得ながら合意形成を進めていくための

・関係者の頭の中を整理して、議論できる状態に持っていくための手法　・結論の選択を促すための手法

を理解し、演習やケースを題材とした体験実践を通して体得することを目指します。

ミーティングの生産性を上げたい、よりよい議論と合意形成を行いたい若手の方（会議を進める側、会議中に参加する側のどちらの立場でも有効です） におすすめのコースです。

■対象：業務経験数年の若手メンバー （情報システム部門・情報システム子会社、SIer等）

**■開催日時**

**2014年6月10日（火） 10:00-18:00**

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員：20名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**（1）はじめに（Why）**
・受講目的（必要性）の再確認　現状の振り返り

**（2）合意形成の基本（What）**
・合意形成の5箇条（フォレットの統合の概念）
・論理的に議論するための基本手法
「要約する」「確認する」「分解する」「結合する」「構造化する」

**（3）ケースを題材とした体験実践と相互フィードバック（How）**
・演習

**（4）振り返り・全体Q&A**
・現場で意識的に実践するためのアクションプラン



# 実践的プロジェクトマネジメント即戦力アップ講座

～提案・見積・ＰＭ強化編～

- プロジェクトマネジメントを行う際に必要である人間的な要素（ヒューマンスキル）を中心に、即活用できる具体的なノウハウを伝授します。
- モデルケースによる演習と講師の豊富な経験談を中心に講義します。

**講師：佐藤　義男氏（株式会社ピーエム・アラインメント　代表取締役社長）**

**効果的なプロジェクトマネジメントの推進は、「提案と見積をどう判断し、評価するか」が鍵を握っています！**

本セミナーでは、プロジェクトを成功に導くための各段階における的確な見積方法と見積評価のポイントを、ケーススタディを通して身につけます。また、プロジェクトマネージャーが管理面で留意すべきポイント（実績報告、問題管理、変更管理、コミュニケーション管理、品質管理等）について演習を通して理解を深めていきます。

PMBOK®ガイドなどの標準に基づく形式だったプロジェクトマネジメントにこだわらず、具体的、かつ実践的な即使えるノウハウを中心に、グループ演習でモデルケースを利用し実施いたします。また、数多くのプロジェクトマネジメントを手がけた講師より、失敗・成功事例も数多くご紹介します。

■対象：プロジェクトのご経験がある方、プロジェクトマネージャーを目指している方

**■開催日時**

**2014年　6月12日（木）・13日（金）**

**2015年　3月19日（木）・ 20日（金）**

**※いずれも10:00-18:00**

**■受講料（2日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：66,000円　一般：84,000円**

**■定員　24名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**オリエンテーション**

**1　イントロダクション**
・プロジェクトマネジメントの必要性
・プロジェクトにおけるリスクの存在

**2　ITプロジェクトにおけるマネジメント実務レベルへの落とし込み**
（1）IT業界におけるプロジェクトマネジメントのトレンド
（2）ITプロジェクト失敗の原因
（3）ITプロジェクトの特徴と必要スキル
（4）提案・見積実践
（5）適正なプロジェクト計画の策定
（6）実行管理のポイント
（7）プロジェクトマネジメント成功の条件

**3　プロジェクトマネジメントの手法・技法を事例を通じてグループ演習と発表でシミュレーション**
（1）情報システム構築プロジェクトのRFPと見積事例から学ぶ（演習）
ヒアリング実施から工数・価格見積、実施体制、開発日程を含む提案書を作成
（2）失敗プロジェクトの事例から学ぶ（演習）
EDIシステム構築プロジェクトの失敗事例を取り上げ、グループ討議

PDU取得修了書発行　14時間14PDU

# ネットワーク設計手法とドキュメント

～基礎技術・設計手法・設計書類

**講師：上山　勝也氏**（株式会社上山システムラボラトリー　代表取締役）

近年ネットワーク技術の進展はすさまじく、業務効率の改善・業績向上のため、その活用をどのように行うかが益々重要になってきています。一方で、担当の人手は限られ、少ない人数で、最大の効果を経営トップから要求されています。今後の景気拡大により、設備増強・改変が予想される中、人員はこれまでのままでの対応が要求される場面が増加することが予想されます。

このような中、ネットワークの設計にあたり、短期的な視点ではなく、中長期的に継続運用でき、いわゆる失敗しないLAN・WANの設計が求められています。 メーカーやベンダーのいいなりではなく、効果的に彼らのマンパワーを引き出し、実用的なネットワーク設計を要求・チェックしていく必要があります。

本セミナーでは、そのような要求に応えネットワーク設計を効果的に展開できるよう、基礎技術の習得、設計手法、プランの立て方について、代表的な帳票類のテンプレートも交えて紹介させていただきます。

■対象： 発注者としてネットワークの基本設計を担当される方、ネットワークの調達担当者

■受講者のレベル：・LAN・WANの基礎知識がある方・LAN・WANの運用管理等の業務に取り組まれ、さらにスキルアップを目指す方

**■開催日時**

**2014年6月12日（木） 10:00-17:00**

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

1. 過去におけるネットワーク設計の事例からの教訓（特に失敗事例）
2. ネットワーク設計基礎技術
3. ネットワーク設計手法
4. メーカー・ベンダー管理
5. 効果の把握
6. 改善方法と次の設計への布石

# 矢沢久雄の「情報システムの設計原理」

新人・配転者の方にオススメ！ゼロから学べる！

**講師：矢沢　久雄氏（株式会社ヤザワ　取締役社長・グレープシティ株式会社（旧：文化オリエント）アドバイザリースタッフ・電脳ライター友の会　会長兼事務局長）**

「モノや情報の流れを理解し、皆が分かるように図示表現すること」は、情報システムに関わる上で非常に重要なことです。
しかし、その前提となる「アルゴリズム」を学ぶ段になると、途端に思考が停まるのはなぜでしょうか。
アルゴリズムは、才能のある人だけが思い付くものではありません。代表的なアルゴリズムを理解し、適切な指導を受ければ誰でもアルゴリズム的な思考ができるようになります。

本セミナーでは午前にアルゴリズムの入門を学習、午後は基本設計/詳細設計の具体的な作業と、成果物のレビュー方法を、演習を通して体験します。

■**対象**：IT 部門に新規に配属となった新人・配転者の方 、ユーザー部門のシステム担当の方 、教育ご担当の方

**■開催日時**

**2014年6月16日（月） 10:00-18:00**

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　24名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

■アルゴリズム入門（アルゴリズムの苦手意識を克服する）
基本（図示記号、プログラム全体構造、ソート、サーチ）
■機能設計（システムが持つ機能を明確にする）
業務フロー（フローチャート、アクティビティ図）
■コード設計（情報を識別するためのコードを明確にする）
コード仕様書（符号化、チェックディジット）
■データ設計（システムが使用するデータを明確にする）
E-R図、テーブル一覧、テーブル定義、CRUD表
■画面設計（画面の種類とレイアウトを明確にする）
画面一覧、画面遷移図、画面レイアウト
■帳票設計（帳票の種類とレイアウトを明確にする）
帳票一覧、帳票レイアウト

ソフトウェア開発における
# レビュー技法とレビュー計画策定の視点

～品質確保レベルに応じたレビューのあり方～

**講師：木村　利昭氏**（株式会社日立製作所 情報・通信システム社 アプリケーションサービス事業部 部長）

計画段階や設計段階においては、レビュー実施による内容の確認および品質評価を行うことが通例になっていると思いますが、レビュー自体の品質を確保するためには目標とする品質に応じたレビュー技法を適用しなければ品質確保は望めません。
しかし、レビュー自体の品質については、様々な評価ファクタで見ることが必要なため、一般的な考え方として公開されている内容は多くありません。 本セミナーでは、これまで講師がPMOとして対応してきた経験を踏まえ、レビュー自体の品質向上の考え方・技法を説明していきます。併せて演習を交えることによって理解を深め、すぐに活用できるように研修してまいります。

■対象：IS部門・システム子会社・SI会社等で、ソフトウェアの品質管理／品質向上策を学びたい方

**■開催日時**

| 2014年6月18日（水） 10:00-18:00 |
|---|
| 2014年12月4日（木） 10:00-18:00 |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**
**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　24名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**1. レビューの種類とレビュー計画作成**
レビューは、直訳すると「評価・批評」となります。その考えから、会議との違いは何か、レビューの進め方の留意点は何かを説明します。また、各種設計段階や作業工程に応じて実施していくレビューの種類および特徴について説明するとともに、演習にてレビュー計画に必要な要素を学んでいきます。

**2. レビュー評価**
レビューを行った結果を、どのように評価していくか、講師の経験に基づく考え方や実施事例および効果などについて説明を行います。

**3. レビュー計画の演習**
レビュー計画の検討に必要な要素について考え方を演習にて習得していただきます。特にレビュー技法による違い、設計工程の内容による違いを学んでいただきます。



# システム運用サービス設計の実現ポイントと運用サービス設計マニュアル構築のあり方

テキスト並びにマニュアル類の全てを電子データで提供

**講師：堀　秀雄　氏**　（エイチ・アイ・ティ・コンサルティング　主任コンサルタント）
**丹下　勉　氏**　（NECフィールディング（株）経営システム部　シニアエキスパート）

運用サービスの重要性が急速に高まり、そのあり方によっては、企業の盛衰に大きな影響を与える存在になっております。一方では日常業務における泥臭い活動に埋もれることなく、新しい技術や管理ツールを導入し、先進的で主体性ある運用サービス部門を確立することが常に求められています。本セミナーでは、そのような背景にあって、運用サービスのあるべき姿や業務革新に向けた諸方策を明らかにすると共に、運用サービス設計の位置付けや具体的な設計方式を解説します。すなわち、運用サービス設計の考え方・背景、・あり方等を解説すると共に、運用サービス設計マニュアルの構築方式と運用サービス設計マニュアルと運用サービスマニュアル（オペレーションマニュアル）の関連を具体的に解説します。
また、運用サービス設計マニュアルの活用の仕方、いかなる方式や制度・手続によって、どの開発工程でシステムに組み込んで行くのかも明らかにし、その組み込まれた運用サービス方式や運用サービスの関連技術等が、適正にシステム化されたかを、システムの受入審査制度によって評価・改善する仕組みも解説します。なおITIL®やSLAガイドライン等についての解説は行いませんが、それらを有効に活用しながら、運用サービス設計マニュアルを構築する具体的な方策について解説します。
■対象：　運用規模が小・中規模クラスで、運用サービス業務の改善・改革を考えていらっしゃる管理者・ご担当者

**■開催日時**

| 2014年6月23日（月）　10:00-17:00 |
|---|

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**
**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**第1部　運用サービスのあるべき姿と運用サービス設計導入のあり方を考える　堀　秀雄氏**
1.運用サービスを多角的に考察する
2.運用サービス設計とは何かを考察する
3.運用サービス設計を実現する手段を考察する
4.運用サービス設計の不備で、システムのリリース時に大きな障害を発生させた事例を紹介する

**第2部　運用サービス設計マニュアル構築のあり方を考える　丹下　勉氏**
1.運用サービス設計マニュアル構築の基本的な考え方を確認する
2.運用サービス設計マニュアルを具体的に構築する

# 清水吉男の保守・改良（派生開発）にマッチした仕様変更管理と書き方講座

～ＵＳＤＭの活用と派生開発ならではのアプローチが重要～

**講師：清水　吉男氏**（株式会社システムクリエイツ　代表取締役）

現在、新規開発より既存システムを一部流用した「保守開発」が増えています。企業の競争力の源泉は、既にあるシステムの改良・訂正・機能追加する保守作業による部分も多く、保守開発の状況は下記のような特徴がみられます。

①タイプの多様化（是正保守、予防保守、緊急保守、適応保守、完全化保守、改良保守）

②タイプが色々あるにも関わらず、新規開発プロセスを真似たアプローチを行なっている。

③既存システムの活用により、社会環境の変化に対応した、新しい製品を生み出せる可能性がある。

このような状況で「保守開発」を行なっているため、システムトラブルも多発しています。そこで、この状況を打破すべく清水氏が理論と実践をもって確立されたのが「XDDPという派生開発プロセス」です。

この「派生開発」における仕様の書き方として、必須になってくるのがUSDM方式ですがUSDMについては、「清水吉男の仕様が漏れない要求仕様の書き方講座」の項をご参照ください。

■**対象**：ユーザー企業やベンダー企業にて情報システム保守開発に携わる、管理者、担当者、プロジェクトマネージャーなど

■**受講条件**：JUASセミナー「清水吉男の仕様が漏れない要求仕様書の書き方講座」を受講した方、
もしくは『要求を仕様化する技術、表現する技術（技術評論社）』を読まれた方

## ■開催日時

| 2014年6月25日(水)　10:00-17:30 |
|---|
| 2015年1月23日(金)　10:00-17:30 |

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

## ■定員：40名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

**第1章：保守開発との違い**
**第2章：派生開発の現状**
**第3章：派生開発の特徴**
**第4章：XDDPによる派生開発（演習）**
**第5章：XDDPにおける品質要求**
**第6章：XDDPにおける要件管理**
**第7章：XDDPを適用することの効果**
**第8章：取組み時の注意**
**第9章：XDDPの成功事例**

**〈派生開発とは〉**

「社会や環境の変化に対応するために既存システムへの機能の追加・削除・仕様変更によって新たな製品を生み出したり、業務プロセスを改善する、既存のソースコードの一部を流用しながら新規開発を行うこと」を意味します。

講師はこの「派生開発」の要求にマッチしたプロセスの導入を、さまざまなプロジェクトにて実践、成功に導き、開発手法を確立してきました。



# 経営者・管理者が見るべき 経営管理レポート(管理帳票)の設計手法と見直しのポイント

～BIツール導入にあたっても必須になる作業を紹介します～

**講師：尾田　友志氏**（マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表）

商品や製品と同様に、企業にも導入期・成長期・成熟期・衰退期といったサイクルがあります。成熟期に入った業界に所属する企業でありながら、システムの改修時に管理レポートの修正まで手が回らなかったため、導入期・成長期の管理指標を使い続けていることがあります。他方、会計基準の変更等により見るべき管理項目も変わってきました。今後はキャッシュフロー（フリーキャッシュフロー）がより重視されます。

本セミナーでは、経営視点からの管理帳票（経営管理レポート）の設計方法（管理項目や指標の設定）の基礎から見直しのポイントについて、講義と演習を通して学びます。この知識・手法は、BIツールの導入にあたっても必須のものとなります。

## ■開催日時

| 2014年　6月27日（金）10:00-17:00 |
|---|
| 2014年12月19日（金）10:00-17:00 |

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

## ■定員　30名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

### 第1部　経営管理レポートの設計・見直しのステップ

(1) Step-1：自社のなりたい姿を明確にする
(2) Step-2：重要経営管理指標を定義する
(3) Step-3：指標の関連性を検討する
(4) Step-4：定型的管理指標を整備する
(5) Step-5：レポーティング

### 第2部　経営管理指標（経営管理レポート）の設計（設定）手法

(1) 財務の側面から経営管理指標を導き出す
(2) 企業価値(売上方程式)の側面から経営管理指標を導き出す
(3) 業界構造分析の側面から経営管理指標を導き出す
(4) 業界ライフサイクルの側面から経営管理指標を導き出す
(5) ABC/ABMの側面から経営管理指標を導き出す
(6) 定性指標・その他の側面から経営管理指標を導き出す

## フェーズごとの徹底的ケーススタディ疑似体験から学ぶ プロジェクトマネージャーの勝利の方程式

～より信頼されるPM、より行動的なPMの育成を可能にする～

**講師：河尻　直己氏**（KNコンサルティング株式会社　代表取締役）

若手・中堅のプロジェクトマネージャー、もしくはプロジェクトマネージャー未経験の方が、フェーズごとの徹底的なケーススタディを通して、プロジェクトを疑似体験。プロジェクトマネージャーに求められる問題解決力、マネジメント力を強化できるセミナーです。
プロジェクトマネージャーに必要な知識・スキルの強化をはかることに加え、講師の体験事例やグループ討議を経て、他人の考え方にも触れることでより幅広い視野を身に付けます。
更にプロジェクトマネージャーの行動原則をもとにして自己評価を行い、自身の改善目標を立て成長を目指します。

■対象：　若手・中堅プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャー未経験者

**■開催日時**

| 2014年7月10日（木）10:00-18:00 |
|---|
| 2015年3月6日（金）　10:00-18:00 |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　25名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

1. イントロダクション
2. PMとは
3. ケーススタディー１　PMにアサインされて先ずすべきこと
4. ケーススタディー２　要件定義フェーズ
5. ケーススタディー３　基本設計フェーズ
6. ケーススタディー４　詳細設計・開発フェーズ
7. ケーススタディー５　テストフェーズ
8. PMの行動原則と自己評価
9. 全体のまとめ



## プロジェクトにおける品質管理計画の立て方

～品質目標の策定と品質管理計画書のあり方～

**講師：木村　利昭氏**（株式会社日立製作所 情報・通信システム社 アプリケーションサービス事業部 部長）

プロジェクトは「唯一無二」という特性を持っています。そのため、プロジェクト管理計画書は、目的などの特性を考えて整備していくことが必要です。それは品質管理計画書においても同様です。しかし、品質管理計画書は、過去のプロジェクトの実績を参考にして作成されたり、企業・組織における規則やテンプレートなどを参考にして作成されるケースが目立ちます。そのようなやり方だけで作成した品質管理計画書は、重要視点が見逃されたり、形式的な品質評価・確認を行ってしまうことにつながりかねません。また、ソフトウェアの品質というと、すぐに「ソフトウェアに欠陥（バグ）がないこと」と考えるケースも目立ちます。それは確かに重要な一面ですが、良い品質のソフトウェアは「欠陥を取り除くこと」だけで実現できるものではありません。もっと幅の広い、様々な要素がソフトウェアの品質にかかわりを持ち、それを実現するためにいろいろな活動が必要になります。
本セミナーでは、プロジェクト目的と品質管理計画の関係について説明を行いながら、品質管理計画に必要な要素と考え方について説明していきます。さらに、品質管理計画書の構成と勘所・ポイントについて演習を交えながら説明していきます。
**■対象**：プロジェクト管理における品質管理計画の作成時の観点と留意点を学びたい方

**■開催日時**

| 2014年7月15日（火）10:00-18:00 |
|---|
| 2015年1月21日（水）10:00-18:00 |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**1 プロジェクト目的と品質目標のあり方**
①プロジェクト目的とプロジェクト管理計画の関連
②品質目標とは
③プロジェクト目的を品質管理計画へ反映していく考え方
**2 品質管理計画の作成の考え方**
①品質管理計画を検討するプロセス
②品質管理計画において考慮する観点
③フィードバック（プロセス品質評価）の重要性
**3 品質管理計画の要素**
①計画時に定義する事項
②プログラム品質計画の要素
③プロダクト品質計画の要素
④テスト計画の考え方
**4 品質管理計画作成の勘所　（演習）**
①プロジェクト目的からの品質目標とすべき観点を考える
②品質目標を達成するために必要な要素を考える

販売・顧客データ活用のための設例による
# データ分析技法の基礎から応用まで

～私はこうして経営データを分析して、知見を得ている～

**講師：尾田　友志氏**（マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表）

本セミナーは、経営データを活用するための分析技法の基礎から応用までを学ぶ研修コースです。
主として販売・顧客データについて元になるデータから分析結果を出して知見を得、施策を構築するまでの一連の思考・作業プロセスを追うことによって、講師の分析ノウハウを学んでいきます。その過程において、データ分析の切り口と統計的分析技法の基礎から応用までの習得を目指します。

■対象：データ分析の基礎知識、技法、活用例、勘所を学びたい方

**■開催日時**

| 2014年　7月22日（火）10:00-17:00 |
|---|
| 2014年10月24日（金）10:00-17:00 |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**
**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**第1部　経営データを処理し、知見を得て施策を確立するまでの思考・作業プロセスの実際**

**第2部　設例による思考・作業プロセス例（講師のノウハウ紹介）**
事例1　販売データの分析例
事例2　顧客データの分析例
事例3　市場規模の予測例
事例4　需要予測例
事例5　定性的なデータからの予測例

**第3部　本セミナーで取り上げる統計的分析技法と結果の読み方・留意点**
（第1部・第2部の講義の中で取り上げることもあります）
1　データを読むための基礎「基本統計量」　2　相関分析　3　回帰分析
4　デシル分析　5　RFM分析　6　デモグラフィック分析（主成分分析）
7　判別分析　8　因子分析



# わかりやすいマニュアル作成
－操作マニュアル・取扱い説明書編－

～意味がわかる・必要事項への到達が早い・漏れがない～

**講師：丸山　有彦氏（文書コンサルタント）**

使いやすいマニュアルをどう作ったらよいのか、この講座では、そのノウハウを提供します。どのように作ったら利用者が頼りにしてくれるマニュアルになるのか、具体的に学んでいきます。
マニュアルは最初に利用してみて使えることを実感してもらわないと、多くの場合放置されてしまいます。利用者の心をつかむ方法を学びましょう。更に利用者は必要になったときに、該当部分がすぐに見つかって、読むとすぐに問題が解決することを望んでいます。
辞書を引くような感覚でマニュアルとつきあえるようになるためには、どういうものが見やすいのかを学びましょう。
どういう形式なら必要項目が見つけやすいのか、説明するための必要十分な情報をどうやってもりこんだらよいのか、どういう順番で説明するのがわかりやすいのか、こうした点を学んでいきましょう。
一番の基礎になるのは文章です。読んでわかりやすい文章を書くにはどうしたらよいのか、自分で自分の文章を検証する方法をお話しします。 このセミナーで学んだことを実践すれば、ユーザーから頼りにされて使ってもらえる操作マニュアル、取扱説明書の作成が可能になります。

**■開催日時**

| 2014年7月23日（水） 10:00-17:00 |
|---|
| 2015年1月20日（火） 10:00-17:00 |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**
**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**＜総論＞**
1　多機能化・高機能化した製品を使いこなせない　2　操作マニュアル・取扱説明書は製品の一部である　3　マニュアルは啓蒙書である　4　本当に重要なこと・基本となる考え方はわずかしかない　5　マニュアルは通読するものではない　6　マニュアルは初めに使われないと放置される　7　雛形を利用しても効果がない　8　マニュアルの電子化に際して注意すべきこと　9　マニュアル作成担当者と作成態勢・役割分担　10　マニュアル作成計画の立て方

**＜情報集め・構成＞**
11　成功例から学ぶ　12　ユーザーの視点に立つ方法　13　情報集めをするときの原則となる考え方　14　情報収集の仕組みをつくる－宿題方式　15　情報の選択－すぐれた教師は少なく教える　16　情報を組織化する基準　17　項目をどうやって決めていくのか　18　必要項目を見つけにくくしている原因　19　階層の少ない構成－富士山型　20　レイアウトを考えるときの基準

**＜文章＞**
21　文章に関する3つの原則　22　日本語の文章の変化　23　文章の訓練はどのくらい必要か　24　文章の検証法　25　キーワードと定義

**＜評価＞**
26　マニュアル完成後のフィードバック　27　操作マニュアル・取扱説明書の評価基準

報告書、提案書、設計書作成のための
# 図表化技法実践講座

〜図解と文章による論理表現技法実践講座〜

**講師：三輪　一郎氏（株式会社プライド　チーフ・システム・コンサルタント）**

情報システムは、見ることも触ることもできません。そのシステムに関して誤解なき合意を得ることは、もともと至難の業なのです。
その情報システムが企画され、設計されている間、まだ見ぬ新システムに関する理解を促す立場に置かれた方々は、日々現場で苦労を強いられます。運用開始後のシステムについて、短時間でその全貌と構造を理解しなければならない方にとっても、頼りになるのは「文書」だけです。
本セミナーでは、見えない・触れないシステムを、より正確に理解し表現するための「文書作成の技術」を、「図解表現」に着目して解説し、また、いくつかの演習を通じて身につけていただきます。
ご紹介する「8つの要件」、「4つのモデル」、「10のポイント」の理解を通じて、システム・ライフサイクル全体を対象とした、実践的なシステム文書作成の技術を習得して下さい。

■対象：情報システムの企画、設計、開発、運営に携わる方。もしくは予定のある方

**■開催日時**

| 2014年7月29日（火）10:00-18:00 |
|---|
| 2015年1月28日（水）10:00-18:00 |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　25名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**Ⅰ．文書化とは**
**Ⅱ．文書化の基礎理論**
図表化演習（1）文章の図表化
**Ⅲ．図表化の技法**
図表化演習（2）継承の検証
**Ⅳ．文書の構造化と図表化**
図表化演習（3）記述レベルを整える
**Ⅴ．文章表現の品質向上**
図表化演習（4）ケース漏れを正す
**まとめ：システム文書作成の難しさ**



ユーザーが理解できる論理データモデル
# 経営に役立つデータモデリング技術

〜ビッグデータ時代のデータ活用の基礎〜

**講師：三輪　一郎氏（株式会社プライド　チーフ・システム・コンサルタント）**

オープンデータやビッグデータといったテーマも加わり、“資産として管理すべきデータ”は、社内データに限らず多様化・広域化しています。ただし、これらのデータの活用度を高めようとしても、意味レベルのモデル（論理データモデル）を使ってデータ資産を可視化する技術がないと、分析ツールやBIツールも使いこなすことはできません。
経営者やユーザーがデータを活用できるようにするための“データモデリング技術”は、「ユーザーが理解できる」ことと、「技術（最新のITやツール）を活かす」ことの間に橋を架ける、必須のノウハウです。
本セミナーは、社外から、また現状システムを支えるDBから、“経営層やユーザー”に分かりやすい、データの構造を明らかにするための“データモデリング”のノウハウを、演習を交えて解説いたします。
経営者をはじめとしたデータの利用者に、意思決定に役立つデータを提供するための“可視化技術”を習得して下さい。

**■開催日時**

| 2014年8月1日（金）10：00-17：00 |
|---|

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**1. 「データ」をビジネス上の意思決定に活かすには**

**2. 定型データの分析技術**
〇演習1：ユーザーにも分かるデータモデリング
：レシートから売れ筋を読む

**3. 定型データからDWHへ**
〇演習2：既存DBに無い分析軸を設定する
：正規形DBからスタースキーマへ

**4. 非定型データから定型データへ**
〇演習3：非定型データの定型化：社外情報からトレンドを読む

**5. まとめ：データ活用についての注意点と重点ポイント**
・全社データマネジメントの観点を持つ（鳥の目）
・最短ルートに絞って構築＆リリースする（虫の目）

# 品質マネジメント実践講座～保守・運用編～

□ サービス価値提供のため、品質マネジメントのプロセスを見直す
□ ＱＣＤ・スコープを柔軟にトレードオフし、意思決定を行う手段を身に付ける

**講師：中谷　英雄氏（株式会社ピーエム・アラインメント　ビジネスコンサルティング部長）**

現在システム保守・運用の分野では、時代の変化に伴い新たな課題が発生しています。システム保守では、高品質な保守をいかに早く、安くするかという方法論と、高度な保守技術者の必要性が課題とされ、システム運用では、ジョブ管理中心のオペレーション要員確保からオープン化に伴う機器構成変更、OSのバージョンアップ、パッチ対策、ミドルウェア、ウイルス対策など広範囲な技術力とマネジメント力を持った運用力の確保が重要となってきています。しかし、信頼性・安定稼働を求めて、過剰な要員確保や、品質保証活動といった作業負荷をかけることは現実的ではありません。ユーザーが求めるサービスレベルを明確にし、その目標を達成するためのトレードオフを柔軟に行うことが要求されます。 本セミナーでは、①ユーザー満足度を高めるにはどうすれば良いのかを考察し、ユーザー満足度と、コスト、品質納期の関係を明確にしてきます。②サービスマネジメント組織の管理者が、客観的なコミュニケーションと情報に基づく意思決定の基礎を提供する管理指標の使い方、意思決定方法を習得します。具体的なケーススタディを通して、「測定の重要性」「客観的事実に基づいた意思決定の重要性」について理解を深めていきます。また、顧客満足度を更に向上させるため、上位品質視点を考察していきます。

■対象：　サービスマネージャー、保守・運用部門の管理担当者

## ■開催日時

| 2014年　8月8日（金）10：00-18：00 |
| --- |
| 2014年 12月3日（水）10：00-18：00 |

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円

## ■定員　24名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

**第一章：**
**システム測定の重要性（講義）**
1 ITを取り巻く環境
2 大規模障害の脅威
3 なぜ、大規模障害はゼロにならないか
4 なぜ測定が重要か
5 測定目的
6 測定の重要な概念
7 測定の原則
8 品質プロセス・モデル

PDU取得修了書発行
7時間 7PDU

**第二章：品質計画（測定計画）**
**（講義、ケーススタディ）**
1 品質計画の概要
2 品質方針の検討
3 測定計画の準備
ケーススタディ1・2
4 主要な指標の活用方法

**第三章：品質管理（実績の分析）**
**（講義、ケーススタディ）**
5 品質管理の概要
6 実績の分析
7 ケーススタディ3：実績の分析



# ＩＴプロジェクトマネージャーのための実践的ヒューマンスキル即戦力アップ講座

～ＩＴプロマネのあなたに必要なヒューマンスキルを把握し、スキルアップのノウハウを取得～

**講師：佐藤　義男氏（株式会社ピーエム・アラインメント　代表取締役社長）**

イノベーション、グローバル化、経済環境、クラウドなど、さまざまな環境変化により事業も変わり、組織や人の流動化が激しくなっている今、ITプロジェクトを成功に導くマネージャーには技術スキル、業務知識だけでなく、ヒューマンスキルが非常に重要になってきます。
JUASのIT企業動向調査や他団体のさまざま調査結果からも明らかなとおり、優秀なプロジェクト・マネージャーになるためにはより一層ヒューマンスキルを磨くことが求められています。
本セミナーでは事例や演習を通してより実践的に、プロジェクトを成功させるマネージャーのヒューマンスキル（人間関係スキルと行動特性）を学べます。
（1）ITプロジェクト・マネージャーの成功条件を習得する。
（2）スキル診断（実習）により、強み・弱みを定量的に把握する。
（3）ヒューマンスキルを向上する実践アプローチを習得する。
上記の習得に加え、豊富なプロジェクト経験をもつ講師が、日本における「成功するITプロジェクト・マネージャー像」の研究成果、JUASの研究成果（5W4H）などをわかりやすく解説してまいります。
■対象：　プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャーを目指している方、情報システム部門の方

## ■開催日時

| 2014年8月21日（木）10:00-18:00 |
| --- |
| 2015年2月5日（木）　10:00-18:00 |

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円

## ■定員　25名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

1. ITプロジェクト・マネージャーの成功条件
2. 優秀なプロジェクト・マネージャーのコンピテンシー
3. PMコンピテンシー診断
4. PMコンピテンシー向上アプローチ
5. プロジェクトにおけるリーダーシップ
6. プロジェクトにおける問題解決力
7. プロジェクトにおけるチーム形成
8. プロジェクトにおける達成と行動
9. プロジェクトにおけるコミュニケーション

PDU取得修了書発行7時間　7PDU

# リスク管理（内部統制・訴訟等）のためのファイリング研究

～ ペーパーファイリングの基礎から電子文書管理ポイントまで～
文書の発生から廃棄までの管理ルール策定のポイント

**講師：石島　正勝氏**（一般社団法人日本経営協会チーフコンサルタント（全能連認定マスターマネジメント･コンサルタント））

仕事に必要な文書を、必要なときにすぐに取り出して活用するためのファイリングシステムは、すべての職場において生産性を上げるための必須手段であるばかりでなく、内部統制対応や契約トラブルなど訴訟対応をスムーズに進める上でも欠かせないしくみです。
組織内のあらゆる文書の所在管理、スケジュール管理、目録管理、そして媒体管理を同時に適正に実現することがファイリングシステムの真髄です。 本セミナーでは、ファイリングの基礎から文書管理全体に及ぶポイントの講義に加え、各管理プロセスでどのようなことをルール化し、徹底していくかについて具体的かつ実践的な方法を解説していきます。

■対象：SE、マネージャー、リーダー及びドキュメントの維持管理担当者・PMOスタッフ

## ■開催日時

| 2014年8月27日（水） 10:00-17:00 |
|---|
| 2015年2月20日（金） 10:00-17:00 |

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円

## ■定員　24名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

**第1部　ファイリングシステムの基礎知識と、ファイリングが不備なためにおこる具体的企業リスク**
1 ファイル管理の基本技法～アナログ管理技法からデジタル管理技法への応用
2 整理整頓からライフサイクル管理へ
3 ファイリングが不備なためにおこる具体的な経営リスク
4 発生から廃棄の一元管理～トータルファイリングシステムの構築と運用～

**第2部　文書管理の各プロセスのルール(ガイダンス・規定細目)の策定**
1 トータルファイリングシステムとは
2 発生（作成）のルール化
3 伝達のルール化
4 保管のルール化
5 保存のルール化(アーカイブズの適正化)
6 廃棄のルール化
7 上記を踏まえた上での電子メール取り扱いのルール化

**第3部　グループワーク**
発生から廃棄までの問題発見と解決を整理（話し合いによる問題点の共有）

**第4部　講評と総括－洗い出された問題点に対する解決へのヒントの提示**



あるべき姿を具体化し要件定義書・システム設計書につなぐまでの技法

# 超上流工程、さらにその上の源流における作業とドキュメント

～抽象的なレベルで課題を持ちかけられた場合、まず何をなすべきか～

**講師：尾田　友志氏**（マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表）

本セミナーは、ユーザー部門や顧客から経営課題あるいは抽象的なレベルでシステム化についての課題を持ちかけられたところからスタートします。最初に課題が正しいかどうかを検証し、あるべき姿についての仮説を立てて、ヒアリングなどにより検証します。
最初の仮説立案から要件定義書・システム設計書につなぐまでの一連の作業内容を具体的に紹介する実践型セミナーです。

■対象：一般企業の情報システム部門、ソフトウェア会社などにおいて、ユーザーや顧客から経営課題の提起、抽象的なレベルでシステム化の課題について持ちかけられ、システム化についての答申を行う方

## ■開催日時

| 2014年8月29日（金）10:00-17:00 |
|---|

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円

## ■定員　30名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

1.源流・超上流工程とは
2.経営各層にとってのITの役割とは
3.源流・超上流工程に取りかかる前に、会社で決めておきたいこと
（本来は経営者が考えること）
4.源流・超上流工程に臨むエンジニアの悩み
5.最終成果物の確認
6.源流・超上流工程のステップとステップチャート
7.業務とシステムの全体像を描く
8.経営者・管理者の視点から情報を補う
9.要件定義書とシステム設計書作成につなぐ

■ご注意：本セミナーの講義内容は、尾田講師の他のセミナー(ヒアリング、提案力・売り込み力強化のノウハウ)と重複している部分があります。

# 投資と要求に合ったＩＴプロジェクトの見極め方

□事業戦略、ビジネス戦略、ＩＴ戦略のリンケージの重要性を理解する。
□ビジネス戦略とＩＴ戦略の整合性を実現する、具体的な実現手法を理解し、習得する。
□プロジェクトの優先順位付け、プロジェクト撤退の客観的な説明方法を学ぶ。

**講師：中谷　英雄氏**（株式会社ピーエム・アラインメント　取締役　ビジネスコンサルティング部長）

ITへの要求は「効率化」から「イノベーション」へ変化しており、更に事業戦略、ビジネス戦略、IT戦略の一体化が叫ばれています。その実現に向けては、IT投資の最適化、戦略との整合性に基づいたプロジェクトの意思決定方法を理解する必要があります。これからのIT部門には、競争力のある差別化システムを作ることが課せられており、そのためには「QCD、SLAの達成」から、更に企業の継続成長のために立てられた「組織戦略と価値創造達成」に視点をあげて実現させることが求められています。　本セミナーでは、まず決められた事業戦略と、IT戦略の整合性を実現する戦術の立て方、更に企業がどのようにして賢明な投資と要求に見合うITプロジェクトの選定および撤退の判断を下すか、どのようにしてプロジェクトのアウトプットからIT投資価値、及びベネフィットを獲得し価値創造していくかについて、具体的な実践方法を学びます。また、参加者とのグループ演習を通し、より理解を深めていただける構成になっています。

■対象：　プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャーの上級を目指す方、IT企画の方

## ■開催日時

**2014年9月11日（木）　10:00-18:00**

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

## ■定員　25名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

1章. ビジネス価値を創造する
2章. 組織戦略のアプローチ概論
3章. ポートフォリオ・マネジメント（識別から承認まで）
ケーススタディ説明
＜演習１＞ベネフィットマップを作成しプロジェクトのアウトプットと戦略をリンケージする
＜演習２＞プロジェクトの優先順位付けの根拠を論理的に説明する

4章. ポートフォリオ・マネジメント（監視とコントロール）
＜演習３＞
プロジェクト撤退の理由をステークホルダーに論理的に説明する

PDU取得修了書発行7時間7PDU



一括委託先からの受け入れの際の妥当性確認の進め方を知り、リリース直前の失速を回避する

# システムテストの進め方

～テストケースの洗い出し・リリース判定の技法解説と演習～

**講師：三輪　一郎氏**（株式会社プライド　チーフ・システム・コンサルタント）

リリース直前に実施する一連のテストで特に難しいのが、網羅性と重要性のバランス取りです。これは、
・上流工程でユーザが提示する要件は、構造的に分解して可視化することが難しい
・テスト工程の後半（システムテストやリリース判定）に至るまで、上流工程の要件を正確に継承することが困難である
といった、"システムテスト～リリース段階固有の難しさ"があるからです。
リリース直前には、委託した成果物の受領に伴う受入テストやその品質判定など、間接的にテストを行う難しさにも直面します。
本セミナーでは、以下のポイントを中心に、"システムテスト"の実践的な方法を解説いたします。
・テストを含めた、総合的な「ソフトウェア品質管理」の考え方とポイント
・要件の重要性を判定するための"QFD手法"と、その適用事例
・V＆V：検証（Verification）と妥当性確認（Validation）の考え方と適用方法
・設計成果物から、網羅性を考慮してシステムテスト・ケースを導く方法

■対象：情報システムの実務経験が概ね5年以上ある方
事前に演習対象システムの設計書を書面でお送りします。研修当日までにお読みになって、お持ちください。

## ■開催日時

**2014年9月12日（金）10：00-18：00**

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

## ■定員　24名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

1. 重点品質保証を行うための"QFD手法"
○演習1：QFDの作成

2. テストの原理と基本的な考え方
○演習2：テストパターンの洗い出し
○演習3：テストケースの洗い出し

3. システムテストとリリース判定
○演習4：リリース判定

まとめ

# わかりやすいマニュアル作成
## ～業務マニュアル・情報共有化文書編～

～意味がわかる・必要事項への到達が早い・漏れがない～

**講師：丸山　有彦氏**（文書支援コンサルタント）

本セミナーは、業務マニュアルをどう作ったらよいのか作成のノウハウを提供いたします。近年、業務マニュアルの作成は、非常に重要な課題になっています。業務を構築する際には自分達の仕事を客観視するために業務を記述することが必要です。日々の改善を反映させるためにも、業務マニュアルは適切なツールとなっています。

国際競争が激しくなる中で、各種規程、ノウハウ・知識・情報共有化のための文書など、第三者が参照するための文書をどう作ったらよいのか、そのノウハウを提供いたします。

マニュアルが十分利用されるように、使う側に立ったマニュアルを作成する必要があります。どのように作ったら、利用者が必要な項目に早く到達できて、すぐに理解できるようになるのか、具体的に学んでいきます。

業務マニュアルは、その記述内容も記述形式も大きく変わってきています。たんなる業務手順を記述するだけではなく、業務上の注意点を喚起し基準を与えて、その先は各人の工夫を求める形式もあります。全体の工程を示して、どこにどんなリスクがあるかを記述する形式もあります。図を絞り込み、文字修飾の少ないテキスト文書形式が主流になってきています。こうした変化の中でも、基礎になるのは文章であり、情報の収集と分析であり、各項目の記述、全体の構成であります。本セミナーでは、一つ一つの項目をどう記載していったらよいのか、まとめ方の手法を紹介します。

**■開催日時**

| 2014年9月16日（火） 10:00-17:00 |
|---|
| 2015年3月24日（火） 10:00-17:00 |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

1　業務マニュアル総論
2　マニュアル作成計画
3　マニュアル作成必須のスキル
4　マニュアル作成のための情報収集
5　マニュアル作成のための構成法
6　業務マニュアル作成のテクニック
7　マニュアル作成のための記述法
8　マニュアル作成の前と後



# 若手SEのためのロジカルシンキング～ライティング編

～若手ＳＥのドキュメント作成能力向上に焦点をあてスキルアップを目指す～

**講師：寺池　光弘氏**

**（株式会社CACエクシケア　人事部　教育実施責任者　情報処理技術者試験委員）**

メールのやりとり、提案書・報告書を作成する際に、このような経験はありませんか？
・要点がまとまっていない、わかりにくいと言われる　・文書を受け取った相手に内容を誤解されることがある
・文書を書くのに時間がかかる
このような悩みは文書をロジカルに書くための文章構成の「型」を学ぶことで克服できます。本コースではロジカルな文章を書くための
・「文章構成」の基本ルール　　・「文章表現」の基本ルール
を理解し、演習を通して体得すること目指します。
ロジカルで正確な文書を作成したい、要点を簡潔に伝えられる文書を作成したい若手の方におすすめのコースです。

**■「分かる」だけでなく「出来る」を目指すために…**
・研修スタイル＞＞＞受講者参加型（講師からの問いかけ、グループ討議、全体討議・ナレッジ共有）
・業務への適用イメージを持てるように、振り返りの場を多く設定し、気付きを与えます。
・実際の業務で頻出する文書である「企画書」「報告書」「提案書」を題材に演習。実践的なライティング力が身につきます。

**■対象**：業務経験数年の若手メンバー（情報システム部門・情報システム子会社、SIer等）

**■開催日時**

| 2014年　9月18日（木）　10：00-18：00 |
|---|

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員：20名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

（1）はじめに（Why）
　受講目的（必要性）の再確認
（2）わかりやすい説明とは（What）
　・テーマ：読み手の関心事　・内容/表現：プロファイリング
　・筋道：ピラミッドストラクチャ
（3）「文章構成」の基本ルール（How-1）
　・演習：企画書の作成　・演習：報告書の作成
　・演習：提案書の作成
（4）「文章表現」の基本ルール（How-2）
　・演習：可読性　・演習：正確性
（5）振り返り
　現場実践のためのアクションプラン

# プロジェクト・パフォーマンス分析実践講座

- ユーザー満足度をどのように高めるかを考察し、ユーザー満足度とコスト、品質納期の関係を明確にします
- 意思決定の基礎を提供する管理指標の使い方、意思決定方法を習得します

**講師：中谷　英雄氏（株式会社ピーエム・アラインメント　ビジネスコンサルティング部長）**

プロジェクトの成果を測定をすれば、成功率や顧客満足度が高まります。但し、測定には、コスト負荷が増加します。「毎回異なるプロジェクトの独自性を考慮し、プロジェクト測定ニーズを捕え、プロジェクト目標を達成する」ためには、どのような管理指標を選定し、測定すれば良いのでしょうか。また実現可能性の評価とプロジェクト開始後のパフォーマンス分析はどのように行えば良いのか、今、管理者には客観的な情報に基づいて、プロジェクトの説明責任を果たす上で、定量化の実践的活用方法が求められています。

本セミナーでは、①事実に基づく測定の重要性について理解を深め、ユーザー満足度を高めるにはどうすれば良いのかを考察し、ユーザー満足度と、コスト、品質納期の関係を明確にしていきます。②プロジェクトの管理者に求められる、客観的なコミュニケーションと情報に基づく意思決定の基礎を提供する管理指標の使い方、トレード・オフの考え方、意思決定方法を習得します。③具体的なケーススタディを通して測定の重要性、客観的事実に基づいた意思決定の重要性について理解を深めていきます。
④プロジェクト・パフォーマンス測定・分析の主要テーマの測定ポイントを理解します。⑤実践的な可視化の仕組み作りについて事例研究を行います。

■対象：プロジェクト経験者、プロジェクトマネージャーを目指している方、PMOの方
（ソフトウェア・システム開発のパフォーマンス分析を中心に行います）

**■開催日時**

| 2014年　9月12日（金）　10：00-18：00 |
| --- |
| 2014年12月10日（水）　10：00-18：00 |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　24名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**第一章：パフォーマンス測定・分析の重要性（講義）**
1　今日の環境
2　何故測定が重要か
3　プロジェクトレベルの測定
4　ソフトウェア測定の重要な概念
5　測定の原則

**第二章：パフォーマンス測定・分析の手順（講義、ケーススタディ）**
1　測定計画の作成
2　実現可能性の分析
3　実績の分析
4　全体講評

PDU取得修了書発行　7時間 7PDU



# 仕様変更を最小限に抑えるヒアリング技術

**講師：尾田　友志氏（マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表）**

要求定義工程におけるヒアリングに際して、その担当者は「システムの利用者は自社の要望を正しく言うことができないものである」という心構えでのぞむ方が良いかもしれません。「問題だ」と言っていることの多くは、その個人・部門で発生した事象・現象（いわゆる結果）に過ぎず、真の問題とは異なるケースが多々あるからです。

仕様変更は、単なる事象・現象として出てきたことに対する、システム利用者の要望をそのまま鵜呑みにして、設計に入ってしまうことから起きるのではないでしょうか。ではどのような姿勢でヒアリングに入ったらよいでしょうか。ポイントは、あらかじめ仮説を立て、検証していく姿勢で具体的な質問をすることによって、顧客の頭の中のイメージを引き出すことにあります。

相手の言うことを鵜呑みにせずに、将来を見据えた大目標を洗い出すこと、業務のあるべき姿を明らかにすることが、もうひとつのポイントです。

このスキルには、大きく①上手な話し方をする　②予見・知見などを基に的確に質問するーという2つの側面が関係します。現場で差別化できるのは②です。本セミナーでは業界の動向、予見したあるべき経営管理の在り方に基づく高度なヒアリングテクニックまでを紹介いたします。講師の話を聴くだけではなく、講師の講義方法、身のこなしかたもひとつの話し方のモデル例として、ぜひご参考にしていただければと思います。

**■開催日時**

| 2014年9月26日（金）　10:00-17:00 |
| --- |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**第1部 基礎技術編ー基礎スキルと基礎テクニック**
1. なぜクライアントは自分の要望を正確に言えないのか
2. 話し方の基礎技術ー基本の基本を再確認する
3. 聴き上手は話し上手ー積極的傾聴法を実践する
4. システム開発の目的を明確にするー相手の言い分を鵜呑みにしない
ワークデザインによる分析の重要性

**第2部　応用技術編ー業界動向・経営管理ポイントを基にした
差別化・付加価値を付けるヒアリングとファシリテーション**
1. 現状を聞き取るー踏んではいけない地雷は何か
2. 業務と経営管理のあるべき姿の全体像を描く
3. ユーザーと面談(初回ヒアリング)に入る前の仮説立案演習

# 実践的リスクマネジメント即戦力アップ講座～開発編～

- リスクマネジメントを行う際に必要なリスク識別、リスク分析を中心に 即活用できる具体的なノウハウを伝授します。
- モデルケースによる演習と講師の豊富な経験談を中心に講義します。

**講師：中谷　英雄氏（株式会社ピーエム・アラインメント ビジネスコンサルティング部長）**

**プロジェクト成功の鍵は問題が表面化する前に、プロジェクト計画段階でリスク要因を抽出・分析し対策を施すこと。リスクに気づく力、読み出す力を学びます。リスクマネジメントをプロジェクト・組織で定着させるまでの経験を全員で、共有します。**

本セミナーは、「実践的プロジェクトマネジメント即戦力アップ講座～見積・提案編」のステップアップコースとして、プロジェクト成功のための一つの鍵になる「リスク管理」にターゲットをあてたコースです。

プロジェクトマネジメントには、リスクが現実化して計画との差異が生じた時に、如何に的確に対処するが関係しています。本セミナーでは特にリスク管理にターゲットをしぼり、「プロジェクト計画段階でのリスクマネジメント計画」、「リスク識別」、「定性的・定量的リスク分析」、「リスクの監視コントロール」などについて講師の豊富な経験に基づく講義と、具体的なケーススタディを通してリスク管理の重要性について理解を深めていきます。

■**前提条件**：「実践的プロジェクトマネジメント即戦力アップ講座」受講済み、もしくは、プロジェクトマネージャーの経験がある方

■**対象**：　プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャーを支援する上位管理者

**■開催日時**

| 2014年 10月9日（木）・10日（金） |
|---|
| 2015年 2月25日（水）・26日（木） |

**※いずれも10：00-18：00**

**■受講料（2日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：66,000円　一般：84,000円**

**■定員　24名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

1　リスクマネジメントの概要
2　リスクマネジメント計画
（講義、事例の解説）
3　リスク識別（講義、個人演習）
4　定性的リスク分析
（講義、個人演習）
5　定量的リスク分析
（講義、個人演習）
ケーススタディ1：要件定義完了時
失敗事例を通じて、ロジックツリー技法で原因分析を行い、リスク事象、影響、発生確率を導く方法を身につける
6　リスク対応計画
（講義、個人演習）
7　リスク監視とコントロール（講義）
8　リスクとリスクマネジメントの具体的な事例（講義）
ケーススタディ2：基本設計完了時
失敗事例を通じて、チェックリストを活用して、原因分析を行い、リスク事象、影響、発生確率、対策を導く方法を身につける

PDU取得修了書発行
14時間14PDU



# 調達マネジメント実践講座

- ケーススタディを通して具体的、かつ実践的なノウハウを習得します。
- 多くのプロジェクトマネジメントを手がけた講師より、失敗・成功事例も数多くご紹介します。

**講師：佐藤　義男氏（株式会社ピーエム・アラインメント 代表取締役社長）**

プロジェクトを成功に導くためには、発注者が明確な発注仕様を提示することが必要です。さらにベンダー管理についての意識と、マネジメント技術を体得する必要があります。一方、UISS（情報システムユーザースキル標準）でも、ITベンダー企業への発注時に必要なスキルとして「調達と調達マネジメント」が定義されています。今回のゴールは以下のとおりです。

（1）PMBOK® ガイド準拠の調達マネジメント・アプローチを習得する。
（2）RFP作成のポイントを習得できる。
（3）システム開発において考慮すべきITベンダー管理のポイントを学ぶ。
（4）トラブル事例により、問題点の整理と対策のポイントを習得できる。

■**対象**：プロジェクト経験者、プロジェクトマネージャーを目指している方、発注担当の方

**■開催日時**

| 2014年12月17日（水）　10：00-18：00 |
|---|

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　24名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

1　調達マネジメントの位置付け
2　ITベンダー管理の仕組み
3　発注者に求められるスキルとは
4　調達計画
5　調達実行
6　調達管理
7　調達終結
8　ITベンダー管理におけるリスク
9　ケーススタディ（ITベンダー管理トラブル）

PDU取得修了書発行7時間 7PDU

# 若手SEのためのロジカルシンキング～プロセス分析編～

～若手SEの業務課題の抽出力と分析力の向上を目指す～

**講師：寺池　光弘氏**

**（株式会社CACエクシケア　人事部　教育実施責任者　情報処理技術者試験委員）**

下記のような悩みをお持ちの方に…
●現状を整理することが苦手・・・全体感のある整理ができるようになりたい
●問題を深堀りすることが苦手・・・いろいろな問題を構造的に整理できるようになりたい
●改善提案を考えることが苦手・・・納得感のある解決策を提示できるようになりたい

本セミナーは、ビジネスの現場をひとまず経験された若手社員が、日常業務で求められる業務課題の抽出と分析について、一通りの知識と基礎的な実践力を身に着けるためのコースです。

プロセスモデリングによる問題の可視化→ロジックツリーによる問題の構造化→フレームワークを使った解決策の洗い出し→優先順位付け手法を使った最善策の決定・・・の各方法を伝授いたします。 受講者参加型（講師とのインタラクティブなやりとり、グループディスカッション、ロールプレイ）で進めますので、知識を実践的に習得できます。

■対象：業務経験数年の若手メンバー（情報システム部門・情報システム子会社、SIer等）

**※本セミナーは、参加者の声を反映し、従来の「若手SEのためのロジカルシンキング～問題発見編～」の名称を改訂したものです。**

## ■開催日時

**2015年1月27日（火）　10:00-18:00**

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

## ■定員：25名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

**1　問題発見の基本手順を理解する（講義・グループ演習）**
・問題とは／・問題の種類／・基本手順

**2　問題の見つけ方を学ぶ（講義・グループ演習）**
問題を発見するための下記の手法について解説し、ケース演習で実践してみます。
・プロセスモデリング／・ロジックツリーを使ったSo-What分析。

**3　原因の見つけ方を学ぶ（講義・グループ演習）**
根本原因を特定するための下記の手法について解説し、ケース演習で実践してみます。・ロジックツリーを使ったWhy-So分析

**4　対策の見つけ方を学ぶ（講義・グループ演習）**
解決策を立案し、選択するための下記の手法について解説し、ケース演習で実践。
・フレームワーク思考／・優先順位付け手法

**5　まとめ・振り返り（講義・グループ演習）**
研修内容をふまえ、今後の目標とアクションプランを書き出し、グループでディスカッションを行い、受講後の現場実践のための動機付けを行います。



# 清水吉男の抜けの無い仕様が書けるＵＳＤＭ表記法マスター講座

ＵＳＤＭ表記法を清水氏の直接指導を受け２日間で完全マスター

**講師：清水　吉男氏（株式会社システムクリエイツ　代表取締役）**

皆様よりご要望の高かった、USDM表記法を習得するじっくり演習のみのコースです。
目まぐるしく変化するビジネス環境の下で経営陣の要求を満足させるには、漏れのない、保守作業や変更管理の際にも誰もが読みやすく、理解しやすい仕様書を作成しなければなりません。
それを実現できるのがUSDMであり、実際にUSDMを考案した清水氏が数々のプロジェクトを成功に導きそれを証明してきました。
組織、個人の両サイドで　技術力・プロジェクトマネジメント力アップをはかり、企業として全体のIT力を高めることを可能にするセミナーです。

**■対象**：ユーザー企業やベンダー企業にて情報システム保守開発に携わる、管理者、担当者、プロジェクトマネージャーなど
**■受講条件**：JUASセミナー「清水吉男の仕様が漏れない要求仕様書の書き方講座」を受講された方、
もしくは『要求を仕様化する技術、表現する技術（技術評論社）』を読まれた方

**■USDMの特徴**①「必要機能、必要十分要件を記述する際には、機能仕様、機能要件に加えて理由（さらに必要ならば説明）を必ずつける。このことによりなぜこの方法が必要になるのかがより一層明確になる。②要求機能が要件定義にどのように展開されたのかが、系統的にフォローでき、開発だけでなく保守作業にも引き続き活用できるので、機能のTraceabilityが確保できる。③このUSDM方式は、EXCELを活用して機能、非機能を詳細に定義できるので、従来どのベンダーも出来なかった仕様変更回数などが簡単にカウントでき仕様変更率のマネジメントが可能になる。④IEEE830に提唱されている開発ドキュメント方式も、この方式に近似しており、国際的にも通用しやすい。

## ■開催日時

**2015年2月18日（水）・19日（木）**

**※いずれも10:00-17:00**

**1日目講座終了後、18時まで、「講師との質疑応答／意見交換会」あり （希望者のみ）**

## ■受講料（2日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：66,000円　一般：84,000円**

## ■定員：16名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

**1日目**

**［午前］**
•２日間のプログラムの説明とチームメンバーの自己紹介
•USDMの復習（講義）

**［午後］**
•図書管理システムの概要説明
•今回の課題の説明と取り組み方の説明
•チームメンバーで課題の選定と顧客要望から「要求」への展開

［夕方］
•意見交換会

**2日目**

**［午前］**
•「要求」の記述（階層化を含む）への取り組み（昨日の続き）
•各チームの「要求」の発表と評価

**［午後］**
•午前の評価に伴う「要求」の調整と「仕様化」の取り組み
•各チームで抽出した「仕様」の中間発表
•「仕様」のブラッシュアップを経て各チームの最終案を発表
•２日間の振り返り（反省会）

オープンセミナー

# ヒューマンマネジメント

※セミナーの日程・内容は都合により変更することがございます。詳しくはWEBをご覧ください。



教育する難しさを克服する方法（指導・育成の原則を学ぶ）と部下の能力を最大に引き出す方法

# マネージャーのための現場直結型ビジネスコーチング研修

～メンバーの目標達成・問題解決を支援する～

**講師：石橋　正利氏（株式会社総合教育研究所　代表取締役）**

普段の仕事の中で、マネージャーが、メンバーとの信頼関係を醸成できているかどうかは、プロジェクト成果に大きな影響を与えます。まずは、信頼関係を醸成するコミュニケーションを体験していただきます。その上で、メンバーの成熟度が低い時のティーチングと成熟度が上がってきたメンバーに解決策を考えさせ主体性を育てる場面で指導を行う際のコーチングを区分して使えるようにします。

さらに、コーチングの基本スキルである「質問・傾聴・観察・伝達」をトレーニングしながら、課題解決を促すGROWモデルを体系的に学びます。本セミナーでは、スキルの習得だけではなく、これらのスキルの背景にある原理原則の理解をも目的としています。

■**対象**：これから部下指導を担当される方、情報システム部門の管理者

**■開催日時**

| 2014年　4月21日（月）10：00-17：30 |
|---|
| 2014年10月21日（火）10：00-17：30 |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　24名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**1. 信頼関係を築くコミュニケーション**

①オフサイト・ミーティング
②メンバー相互の長所の共有
③アサーティブ・コミュニケーション
④合意形成の意見交換（ダイアローグ）

**2. 目標達成を支援するコーチング**

①ティーチングとコーチングの違い
②コーチングが成功する前提意識
③コーチングの定義
④コーチにとってのメリット
⑤コーチングの基本スキル
・質問する・傾聴する・観察する・伝達する
⑥GROWモデル
・Goals（目標設定）・Reality（現状把握）・Options（選択肢）
・Will（意思確認）
⑦ビジネス場面に応じたコーチング

魅力的な話し手になるための１日集中セミナー
# 話し方を磨く講座

～大手SI会社元ＳＥが語る「話しベタ」でもプロになれるノウハウ一挙大公開～

**講師：町田　和隆氏（株式会社MOONコンサルティング　代表取締役）**

あなたは、人前での話し方で損をしていませんか？中身はとても良いはずなのに、声が通らず・聴き取りにくい、あるいは話の展開が支離滅裂で分かりにくい・意味不明に陥るなど。さらに厄介なのは、聴衆の前に立った途端、頭が真っ白になってしまう、いわゆる“あがり”に遭遇することです。
一般に人前での話し方で失敗すると、その人の評価は下がってしまいます。特にビジネス現場での失敗は、その人の出世を妨げ企業業績までをも左右する重大な事件となってしまうかもしれません。せっかく話をする機会に恵まれたにも関わらず、そのような結果となってしまうことは、とても残念なことです。
一方で、素晴らしい話し方をすることで、他人から賛同と共感を得て昇進をつかみ、会社の発展に貢献する人もいます。この両者の違いがどこにあるのでしょうか？それは、「あなたの話を聴きたい」と周囲から要請され、本人がそれを承諾し、晴れて人前に立つその日までの間に、いかに実践的なトレーニングを、正しい方法でその本人がやったかどうかにあります。
本セミナーを通じて、あなたも魅力的な話し手になるためのノウハウを学んでみませんか？
■**対象**：人前での話し方に自信を付けたい方、説得力を高めたい方、人に失礼がないように話したい方、顧客・上司・部下にきちんと自分の考えを伝えたい方、自己アピールをしたい方、話し方を学んで人生をより豊かなものに変えたい方

**■開催日時**

| 2014年　4月22日（火）10：00-18：00 |
|---|
| 2014年10月23日（木）10：00-18：00 |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**
**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　18名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

1　なぜ、「話し方」を磨くのか？
2　「話し方」の4つの場面
3　「話し方」の基本
4　上手な話し手になるための心構え（メンタル）
5　聴き手を惹き付ける伝え方・魅せ方（スキル）
6　共感を誘うテーマと内容（ナレッジ）
7　トレーニング＆フィードバック



ルールを強化するだけでは「失敗の構図」をつくり出すだけである
# ヒューマンエラー防止のための 品質マインドの向上方法と改善活動

～「わくわく」感を生み出す「人間力醸成」と「善なる思いの連鎖」～

**講師：関　弘充氏**

**（ヒューマン＆クオリティ・ラボ代表　（元）富士通（株）人材開発部　シニア・レクチャラ（シニア品質Director））**

ヒューマンエラーによるトラブル発生時、要領・ルールなどを強化して反省を迫ると、言われたことしかやらない「考えない集団」を生み出し、見事に「失敗の構図」を作り上げてしまいます。このような「負の連鎖」を断ち切るためには、人間活動の根源となる人的側面に光を当て改善の知恵が日常化する組織風土を形成しなければなりません。
本セミナーではヒューマンエラー防止のための「品質マインド醸成法」と「全員参加型の改善活動」、その基盤になる「動機付け法」「人間力醸成法」「自己啓発法」等を取り上げ、ミニ演習を織り込み、組織における具体的な実践・指導方法の会得を目指します。

■**対象**：人間を主体にした作業や運用に従事している方。リーダー、マネージャー、品質管理担当者、人材育成担当者、組織的な改革に携わっている方など

**■開催日時**

| 2014年　4月25日（金）10：00-17：00 |
|---|
| 2014年10月28日（火）10：00-17：00 |

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**
**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

第1章　ヒューマンエラーと人間重視
第2章　失敗を繰り返さないための人間力の醸成
第3章　ヒューマンエラーと人間関係
第4章　ヒューマンエラー防止のための「動機付けの仕組」
第5章　ミスを防止するための「品質マインド醸成」ワークショップ
第6章　失敗を繰り返さないための「自己啓発」
第7章　失敗を繰り返さない組織風土の構築
第8章　最後に
（注）ワークショップとして演習を体験いただき、現場で即、役立つ内容にしたいと考えております。

# システム開発プロジェクトにおける
# メンバーの多様性を活かすチームビルディング実践講座

～チーム運営に必要な知識と技術～

**講師：永谷　裕子氏**（株式会社アスカプランニング　代表取締役）

　現代のITプロジェクトは、正社員、男性・女性、派遣社員、熟練者と若者、外国人などの多様性チームで推進されています。このような混成チームでの効果的なチームビルディングには、リーダーシップ・スキルはもとより、ファシリテーション、ネゴシエーション、メンタリングなど様々なスキル（人間術）が要求されます。

　本セミナーでは、人間術の基礎となるコミュニケーションのメカニズムを理解し、その応用であるリーダーシップ、ファシリテーション、ネゴシエーションのプロセスについて体験学習を通して習得します。

■**対象**：これからシステム開発のリーダーになる方、部下を持つ方

**■開催日時**

**2014年5月13日（火）10：00-17：00**

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　20名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**1. 今のITプロジェクトチームの多様性の背景**
- ・チームに潜む異文化とは？
- ・チームとは？
- ・多様性チームの強み
- ・コミュニケーションのメカニズム
- ・ステークホルダーとのコミュニケーション
- ・プロジェクト・コミュニケーション・マネジメントのルールとツール

**2. 多様性チームの運営に求められる5つのリーダーシップスタイル**
①リーダー②マネージャー ③ファシリテーター④メンター⑤ネゴシエーター

**3. コンフリクトマネジメントと交渉術**
**演習①　リーダーシップスタイルのケーススタディ**
- ・ファシリテーションで問題解決案を探ろう　！
- ・チーム発表

**演習②　交渉の実践　ロールプレイをしてみよう！**



# 発想力を磨く！問題感知／課題発見力強化

- 潜在的な「問題」を「問題」として感知するアンテナの立て方を磨きます。
- 何をすべきかの本質を見極め「問題」を「課題」として整理するためのスキル習得を中心に、基礎力としての「発想力」を養います。
- 演習を通じて、問題発見～課題選定～課題解決のための目標設定までのプロセスを一通り体験することで、PDCAサイクルを実践・管理できるようになることを目指します。

**講師：西嶋　陽一氏（株式会社TRUソリューションズ　代表取締役）**

　業務を改善し生産性を高め、目標達成を推進するには、
（1）顕在化した「問題」や潜在的な「問題」を感知し、整理。
（2）洗い出した「問題」の中から、意識化しプライオリティを付けて「課題」として取り組むものを明確化。
（3）「課題」解決のために「どうすればよいのか」「関係者の役割ごとに何が必要なのか？」を検討し、具体的な行動計画に落とし込むというプロセスを繰り返していくことが重要です。

　その各プロセスの礎となるのが「発想力（可能な限り多くの視点で物事をとらえアイディアを生み出す力）」です。

　本セミナーでは、グループ討議や講師によるアドバイスを交えながら、発想力を養い、課題発見力（何をすべきかの本質を見極める力）と課題解決力を強化するためのフレームワークを学習して頂きます。日々の業務を少しでも向上させたい方、発想力を向上させたい方、部門やチームの課題解決への進捗管理をされる管理者の方、必見のコースです。

■**対象**：日々の業務改善をめざす全ての方、課題を発見整理し解決への進捗管理を進めたい管理者の方

**■開催日時**

**2014年5月28日（水）10：00-18：00**

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**

**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　20名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

（1）オリエンテーション／アイスブレーキング
（2）＜講義＞　問題意識と発想力、「問題になる」と「問題にする」の違い
（3）＜演習＞　準備運動「心とのキャッチボール」
（4）＜発表＞　発表後に全員で評価・検討
（5）＜講義＞「発想力」が「課題発見」の源泉
（6）＜演習＞　あなたにとっての「ステークホールダー」
（7）＜演習＞　懸案事項を「発想力」を活用し、可能な限り数多く抽出
（8）＜演習＞　分類とプライオリティー付け、原因の深掘り
（9）＜演習＞　解決策の模索
（10）＜講義＞　アクションプランの作成
（11）＜講義＞今後の対応等、Q＆A

自分自身とメンバーのやる気を高められる
# 最新モチベーション・マネージメントと活用講座

～メンバーの使命感と活力を引き出すと共に、組織モチベーションを最大に引き出すノウハウ～

**講師：石橋　正利氏**（株式会社総合教育研究所　代表取締役）

モチベーションとは、人が一定の方向や目標に向かって行動し、それを維持するために不可欠な意欲の源になる「動機」を意味します。モチベーターとは、この動機付けが出来る人のことを言います。野村総研が実施したモチベーションに関する調査によれば、現在の仕事に対して無気力を感じる人が75%にも達し、いま多くの組織で、社員のモチベーションの低下が深く進行しています。さらに企業にとって大きな問題は、3年前と比べて成長した実感がないと答えている社員が42%を超えており、学習意欲が停滞していることです。現在、「社員のモチベーションの再生」は経営にとって緊急の経営課題になっています。

本セミナーでは、自分自身のモチベーションを自ら高められるようになると同時に、周囲のモチベーションを高められるマネージャー・リーダーを養成するための考え方とスキル、仕組みを学びます。

**■対象**：初めて部下をもった方及び中堅リーダー・マネージャー

**■開催日時**

| 2014年　6月16日（月）10:00-17:30 |
|---|
| 2014年12月16日（火）10:00-17:30 |

**■受講料**（1日間・消費税、テキスト代込）
JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円

**■定員**　24名

**■会場**　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

**■主な講義内容**

**1. モチベーション危機の要因は何か**
時代の変化から読み取れる社員のモチベーションの変化と、なぜ経営課題として取り上げる必要があるのかを検証することで、問題意識を深化させます。

**2. モチベーションに関する基本理論**
モチベーションという捉えにくいテーマを見える化し、手が打てるようになるためのモチベーションの基本理論を学びます。

**3. モチベーションをいかに高めるか**
誰でもやる気の元なる動機は同じかと言うとそうではありません。個々の多様なレベルと志向性・価値観の違いに合わせてモチベーションを高める方法を学びます。



# ＩＴプロジェクトの現場における交渉術と交渉力強化セミナー

～ロールプレイで身につける現場で役立つ協調型交渉力～

**講師：永谷　裕子氏**（株式会社アスカプランニング　代表取締役）
**濱　　久人氏**（PMI日本支部）

日経コンピュータの記事によると、今後、IT部門の要員に求められる重要なスキルとして交渉力を挙げています。交渉力というと、相手を言い負かす、相手にこちらが主張したいことを全面的に受け入れさせるスキルと思われがちです。そのような交渉方法が必要とされる場面もあるかもしれませんが、一時的に"勝った"と錯覚しただけで、後から反動が出てくる恐れが多分にあります。

本セミナーで提唱し、学んでいく交渉方法は、双方ともWIN-WINの関係を築く協調型の交渉スタイルです。国内外の多数のプロジェクトで交渉を実践してきた講師による、ロールプレイを通して体験する現場で役立つ実践的交渉術セミナーです。

**■対象**：情報システムの開発・保守などの現場において上司・経営者・取引先・部下などとの交渉の原理・原則と実践方法を学びたい方

**■開催日時**

| 2014年6月17日（火）10：00-18：00 |
|---|

**■受講料**（1日間・消費税、テキスト代込）
JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円

**■定員**　20名

**■会場**　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

**■主な講義内容**

**第1部　交渉力をアップさせる実践知識**

**第2部　協調型交渉術(Collaborative Negotiation)の実践（ロールプレイ）**
顧客との交渉／ベンダーとの交渉／チーム内での交渉について、ITの現場におけるよく起こりえるケースをもとに交渉のロールプレイを行います。
困りごとをお持ちの方は、ご自分の課題をロールプレイの対象にすることもできます。

1　講師によるモデルロールプレイ
2　ケースの説明
3　交渉のロールプレイ
4　講評と討議
5　指摘された改善点を考慮した2回目のロールプレイ実施
※参加人数・時間の関係で変更になることがあります。

ビジネスリテラシーUP！

# 問題の本質を解き明かす「着想の技術」

□人間だれもが持っている連想力を活用し、問題を掘り下げる「タテの質問」× 問題の全体像を描く「ヨコの質問」で、解決できる原因と問題の全体構造を見える化します。

□効果的な問題解決への導き方を「感性やセンス」でなく、シンプルでロジカルな「スキル」として体得します。

**講師：諏訪 良武氏**（ワクコンサルティング株式会社常務執行役員 エグゼクティブコンサルタント）

ブレストや会議で、「問題を挙げて」といわれても、「10個挙げるのも一苦労」「やたらと数はあがったけれど、どれも核心に触れていない・・・」。それらを才能やセンスがないからと、あきらめていませんか。問題解決がうまくできないのは、中途半端なブレークダウンで「解決できる原因を抽出できていない」ことと、網羅的に原因を抽出していないため「問題の全体像を把握できていない」ことが理由です。

本セミナーでは、情報やアイディアの数と質を生み出す力を「才能やセンス」として片付けるのではなく、シンプルかつロジカルな「スキル」として体得できます。 問題を掘り下げる「タテの質問」と、問題の全体像を描く「ヨコの質問」を組み合わせる手法や背景の考え方を演習を交えてすすめます。

・問題を掘り下げて、解決できる原因を見つける方法をマスターします。
・連想力を活用して、問題の全体像を把握する方法をマスターします。

これからの情報システム部門にとって業務改善の場面でも、新しい価値創造の場面でも、欠かせないビジネスリテラシーを身につけたい方は必見です。

■**対象**：業務改善の場面でも、新しい価値創造の場面でも、欠かせないビジネスリテラシーを身につけたい情報システム部門の方

## ■開催日時

**2014年6月24日（火） 10：00-18:00**

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：33,000円 一般：42,000円**

## ■定員 25名

## ■会場 JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

1 IT部門にとって、今の時代を再認識する

2 着想の技術ステップ1：「問題の本質」を考える
・問題と目標との関係を考える
・問題と結果との関係を考える
・問題と原因との関係を考える

3 着想の技術ステップ2：問題を解決できる形に加工する
・解決できる原因をリストアップする
・原因を網羅的に把握する
・たった二つの質問で問題を分解する
・原因に優先順位をつける

4 着想の技術ステップ3：問題の全体像を把握する

5 解決策を作成する

6 解決策を実行する優先順位をつける

7 解決策を実行する

8 問題解決の演習
・身近なテーマで実際にやってみる



# 現場で使える「品質の見える化」と「定量的品質管理」実践法

～品質を良くするデータ活用と動機付けのコツ～

**講師：関 弘充氏**

（ヒューマン＆クオリティ・ラボ代表 （元）富士通（株）人材開発部 シニア・レクチャラ（シニア品質Director））

本セミナーは、品質問題を抱えていた組織をSI分野で日本初のCMMレベル5達成に導いた経験を有する講師が担当します（後に現在のCMMIレベル5を達成）。

内容は新たに「定量的品質管理をデザインしようとしている方々」または「見直し強化を図りたいと考えている方々」を想定して、体系的に「定量的品質管理」をデザインできるように構成しています。今後デザインされる皆様の立場に立って、「動機付け法」等の生じてくると思われる諸課題を克服するための「ヒントやコツ」、「テンプレート・デザイン法」などについて、演習を通じて体得していただけるようにしています。

また、講師の実践経験に基づいた「具体的なデザイン事例」や「成功させるコツ」、「苦労話」等を併せて紹介します。皆様の組織の成熟度向上のヒントにしていただければ幸いです。

■対象：現場の担当者、プロマネ、幹部社員、品質管理責任者、定量的品質管理に取り組んでいる方、関心のある方など（組み込みソフト系の方も歓迎いたします）。

## ■開催日時

**2014年 6月24日（火）10：00-17：00**
**2014年12月18日（木）10：00-17：00**

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

**JUAS会員／ITC：33,000円 一般：42,000円**

## ■定員 30名

## ■会場 JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

第1章 見える化へのアプローチ

第2章 プロジェクトを支える「見える化」

第3章 定量的品質管理のためのデザインワークショップ

第4章 定量的品質管理と統計手法の活用

第5章 「見える化実践プロセス」と管理体系

第6章 まとめ

（注）演習を交えて実体験いただき、理解の促進に努めます。

# 業務プレゼンテーションにおける
# 話し方を磨く講座

聴き手を惹き付ける！魅力的なプレゼンターになるための一日集中セミナー

～大手ＳＩ会社元ＳＥが語る「話しベタ」でもプロになれるノウハウ一挙大公開～

**講師:町田　和隆氏**(株式会社MOONコンサルティング　代表取締役)

あなたのプレゼンテーションは、聴き手を惹き付けていますか？　間違いのない情報を、完璧に語り尽くしたのにもかかわらず、なぜ聴き手からYESがもらえないのか？理由もわからないままに、同じような悔しい思いを何回も経験するビジネスマンは決して少なくありません。もし、あなたがご自身で認識している実力と、外部の評価とのギャップに悩んでいるとしたら、プレゼンテーションの基本スタンスを大きくはき違えているのかもしれません。詳しくは講義の中で明らかにしますが、例えば『情報に漏れがないように準備する』という点……一見すると正しそうですが、実は情報には漏れがあって良いんです。
本セミナーでは、今お話しした「プレゼンテーション」の基本スタンスをはじめ、マインド･テクニック･コンテンツといった、わかりやすい切り口で、誰もが魅力的なプレゼンターになれるよう、基本から応用までを指導する内容を用意しています。
現役プロ講師直伝の充実した一日集中セミナーです。更に、講義終了後も実践力を強化していくために必要な準備法＆練習法をお伝えしますが、ここが一番大切なところとなります。なぜなら、本番とは練習の淡々とした再現にすぎないからです。実践的なトレーニングを正しい方法で、プレゼンター本人がどれだけやったかが、プレゼン成功のすべてのカギとなります。
本セミナーを通じて、あなたも聴き手を惹き付けるプレゼンターになるためのノウハウを学んでみませんか？

**■開催日時**

| 2014年6月25日（水）10：00-18：00 |
|---|
| 2014年12月9日（火）10：00-18：00 |

**■受講料（1日間･消費税、テキスト代込）**
**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　20名**

**■会場　JUAS会議室（東京･日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**事前学習：プレゼンのシナリオと資料作成実習**

1　なぜ、「プレゼンにおける話し方」を磨くのか？
2　これを外してはいけない！「プレゼンテーション」の基本スタンス
3　魅力的なプレゼンターになるための心構え（マインド）
4　聴き手を惹き付ける伝え方･魅せ方（テクニック）
5　共感を誘い、成果を引き出すストーリー展開術（コンテンツ）
6　トレーニング＆フィードバック(プレゼンテーション実施と評価)



# 簡単に出来る「リスクの見える化」と「リスク管理」実践

－問題プロジェクトの未然防止と解決の早道
－「リスク」の見える化、「リスク管理」のデザイン、「リスク管理プロセス」構築

**講師：関　弘充氏**

（ヒューマン＆クオリティ･ラボ代表　(元)富士通(株)人材開発部　シニア･レクチャラ(シニア品質Director)）

システム開発や運用、製品開発、事務作業などの組織的活動においては、突然、問題が発生して思わぬ損害やトラブルを招き、お客様（システム利用者）の信頼を失ってしまうことが多々あります。その際に『想定外のことが起きた･･！！』と動転し、混乱状況を招いてしまうわけですが、そのような組織には「リスク管理」活動が欠如していると言えます。
「リスク管理」の目的は、極力、見えないリスク状況を「見える化」して対応策を採ることにより、「想定外の問題」発生を極小化させていくことにあります。また、ヒューマンファクターを重視して、人間が本来保有している潜在能力を活かして「リスク意識の高い」組織風土を形成することが重要になってきます。システム開発や運用など組織的活動における成功確率は「リスクの見える化」ならびに「リスク管理」をどのようにデザインできるかどうかに掛かっていると言えます。
本セミナーは、「リスクの見える化を成功させるコツ」と「リスク管理のデザイン方法」について演習を取り入れながら解説し、現場で即、役に立つ内容となっております。
■対象：現場の担当者、プロマネ、幹部社員、品質管理責任者、組織的な改善に組んでいる方、リスク管理に関心のある方など

**■開催日時**

| 2014年7月30日（水）10：00-17：00 |
|---|

**■受講料（1日間･消費税、テキスト代込）**
**JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円**

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京･日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

**第1章　見える化へのアプローチ**
1 見える化とヒューマンファクター
2 リスクの見える化へのアプローチ（準備）
**第2章　リスクの「見える化」プロセスの構築**
**第3章　リスクの見える化 ワークショップ**
1 リスク管理とは？　2 リスク管理の準備　3 リスク管理の実践
4 リスク管理テンプレートのデザイン
**第4章　成功事例と失敗事例**
**第5章　まとめ**
（注）ワークショップとして演習を体験いただき、現場で即、役立つ内容にしたいと考えております。

# 高品質達成のための失敗しない協力会社管理実践法

～人を活かす管理と協力会社と連携した品質管理の実践事例～

**講師：関　弘充氏**

（ヒューマン＆クオリティ・ラボ代表　（元）富士通（株）人材開発部　シニア・レクチャラ（シニア品質Director））

システム開発の要員不足や効率的な開発実現のために、ほとんどの企業が多くの開発を協力会社に発注しています。しかし、協力会社からの納品後に品質問題が絶えず苦戦している現実があります。システム開発の成功確率は協力会社管理の良し悪しに左右されているのです。そこには「人を活かす協力会社管理」の理念が欠如しているとも言えます。
協力会社に発注する際には、「高品質を要求するだけでなく良く連携した人間重視の協力会社管理」を展開する必要があるのです。
本セミナーにおいては、SI分野で日本初のCMM レベル5達成を経験した講師が、協力会社と連携して高品質を達成した実績に基づいて「協力会社管理のコツ」、「人間重視の改善法」、「動機付け法」などを取り上げ、演習を盛り込んで丁寧に解説いたします。

■対象：ソフト開発、システム開発、システム運用などに携わっている担当者、リーダー、マネージャー、品質管理担当者、改善活動の推進者、人材育成担当者等（組み込みソフト系や他分野の方も歓迎致します）。

**■開催日時**

2014年8月26日（火）10：00-17：00

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**
JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

第1章　力がないから力を貸してもらう
第2章　人間重視の協力会社管理
第3章　協力会社管理とヒューマンファクター
第4章　人間関係と協力会社管理
第5章　グローバル化とオフショア開発
第6章　改善活動における協力会社との連携
第7章　効果的な「協力会社管理」プロセスの構築
第8章　品質改善活動のための自己啓発
第9章　まとめ



# 早期にソフトウェア品質を良くするコツ

～短期成果追求型の品質管理実践法～

**講師：関　弘充氏**

（ヒューマン＆クオリティ・ラボ代表　（元）富士通（株）人材開発部　シニア・レクチャラ（シニア品質Director））

ソフトウェア開発における品質問題は依然と後を絶たず、より深刻化してきています。そのような状況において多くの組織が直ぐに品質を良くする方法を模索しています。品質管理の最大の課題は「実質的な品質効果をいかにして早く得るか」、また「その効果を持続させることができるか」という点にあります。
本セミナーにおいては、早く品質を良くするための「簡単に実践できる仕組み構築のコツ」や「組織的活動展開のコツ」等について、演習も取り入れ分かりやすく解説いたします。 講師は独自に考案した人間重視の品質改善活動により短期間で品質問題に苦しんでいた組織を高品質の成果を上げる組織に導き、SI分野で日本初のCMMレベル5を達成した経験を有しております。また、各種企業や官庁、大学院などにおいて、1万5千人以上の方々への指導を行ってきております。

■対象：現場の担当者、品質活動に取り組んでいる方、品質改善活動推進者、品質管理責任者、プロマネ、人材育成担当者など（組み込みソフト系の方も歓迎します）

**■開催日時**

2014年9月25日（木）10：00-17：00

**■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）**
JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円

**■定員　30名**

**■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）**

**■主な講義内容**

第1章　品質と人間
第2章　品質改善にどう取り組むか？
第3章　直ぐに品質効果が出る「人を動かす仕組」
第4章　「わくわく」感を生む全員参加型改善活動の仕組
第5章　品質改善を成功させるための「自己啓発」
第6章　品質改善効果とまとめ
第7章　人間重視の品質マネジメントの展開
（注）演習を交えて実体験いただき、理解の促進に努めます。

# 運用サービススタッフの資質・スキルの向上、モチベーションアップのための仕掛け・仕組みと日頃の行動様式を考える

～運用サービス要員としての土台作りと主体性を確保する～

**講師：堀　秀雄氏**（エイチ・アイ・ティ・コンサルティング　主任コンサルタント）
**丹下　　勉氏**（NECフィールディング株式会社　経営システム部　シニアエキスパート）

運用サービスの世界は、業務内容において、二つの相反する側面を有する特殊な環境にあります。常にサービスの高度化を追求する一方、地味で泥臭い仕事を、安定且つ効率よく、365日24時間、絶え間なくサービスし続けるという現実です。
この特殊な環境の中で、二つの側面をバランスよく実行できる資質やスキルを育成することが重要です。
本セミナーは、運用サービスの高度化を追求するためのスキルをどのように育成し、日常業務に埋没しやすい環境に負けない資質や、高いモチベーションを持ち続けるための方策等について解説します。

■対象：運用サービス部門の部門長、管理者、 初級管理者（リーダー）

## ■開催日時

| 2014年9月24日（水）10：00-17：00 |
|---|
| 2015年3月25日（水）10：00-17：00 |

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円

## ■定員　30名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

**【第1部：運用サービスの安定化にチャレンジする人財を育てる環境づくり】**
＜堀　秀雄氏＞
（1）前向きに行動する人財を育てる
（2）仕事を理解し、あるべき姿を描ける人材を育てる
（3）現状と将来を見据え、新しい分野へチャレンジする人財を育てる

**【第2部：運用サービスの変革にチャレンジする人財を育てる環境づくり】**
＜丹下　勉氏＞
（1）運用サービス設計ができる人材を育てる
（2）技術革新にチャレンジする人財を育てる
（3）やる気のある人財を育てる仕組み・仕掛けを創る



# 若手SEの方必修！ プロジェクトファシリテーション能力向上研修

□プロジェクト活動や会議におけるファシリテーターの役割・効果を理解する
□ファシリテーションを実行するための3つの基本スキルを実践的に習得する

**講師：足立　英治氏**（株式会社フォース・トランキル 代表取締役）

プロジェクト活動の成否を大きく左右するのが、メンバー間のコミュニケーションとプロジェクトチームのチーム力です。
多くのプロジェクト活動が、プロジェクトマネージャーのマネージメント能力・リーダーシップへの過度の期待によって失敗しています。
このような事態を未然に回避するには、メンバー間の相乗効果と自律性を高めるチーム作りや、プロジェクトマネージャーとは別に、プロジェクトあるいはプロジェクト会議を進行するファシリテーターを配置することが有効とされています。
本セミナーでは、プロジェクト活動・会議におけるファシリテーターの役割を理解し、ルールの設定・板書の方法・議事録の記録方法・問題行動への対処・介入方法などを具体的に学びます。

## ■開催日時

| 2014年 10月15日（水）10:00-18:00 |
|---|
| 2015年　2月18日（水） 10:00-18:00 |

## ■受講料（1日間・消費税、テキスト代込）

JUAS会員／ITC：33,000円　一般：42,000円

## ■定員　24名

## ■会場　JUAS会議室（東京・日本橋堀留町）

## ■主な講義内容

| 項　　目 | ポイントと進め方 |
|---|---|
| オリエンテーション<br>強いチーム | コンセンサスゲームを使って、強いチームを創るためのファシリテータの役割を理解する。 |
| ファシリテータの基本行動 | プロジェクト立上、計画実施、変更管理、評価の各ステップでのプロジェクトファシリテーションを行う為のファシリテータの基本行動を双方向講義で明確にする。 |
| プロジェクトキックオフ会議のプロセスデザイン | ケースにより、プロジェクトキックオフ会議準備を通じて、プロセスデザインを実践的に習得する |
| 実習の振り返り<br>プロセス観察と介入のスキル | 会議におけるファシリテーションの基本行動（質問のスキル、記録のスキル、介入のスキル）を、双方向講義とロールプレー実習で習得する。 |
| 実習の振り返り | 会議の問題行動への対処をロールプレー演習で習得する |

新入社員を早期に戦力化し、自立させる

# ＯＪＴリーダー養成講座

～ワクワクするOJTの仕組みを活用しよう～

**講師:石橋　正利氏**(株式会社総合教育研究所　代表取締役)

近年、「ゆとり世代」と呼ばれる新入社員が、企業に入社しています。現場では彼らと先輩・上司の間に様々なギャップが生じており、「言われたことしかやらない」「マニュアルや答えをすぐ求める」「自分の成長につながると思えないことはやらない」「注意されるとすぐめげる」など、新入社員を厄介者扱いする職場も珍しくありません。
「ゆとり世代」の新入社員に、OJTの制度を機能させるためのノウハウとそのための簡易マニュアルを提供いたします。さらに、新入社員を早期に戦略化し、自立させるための「仕事の教え方」を具体的にトレーニングいたします。
「ゆとり世代」の特徴を活かせる環境をつくり、定着化をぜひ、実現してまいりましょう。
■**対象**:これから部下指導を担当される方、情報システム部門の管理者

## ■開催日時

**2015年2月16日(月)10:00-17:30**

## ■受講料(1日間・消費税、テキスト代込)

**JUAS会員／ITC:33,000円　一般:42,000円**

## ■定員　24名

## ■会場　JUAS会議室(東京・日本橋堀留町)

## ■主な講義内容

1. **OJTリーダーの役割と心得**
2. **効果的OJT計画のつくり方**
   ①OJT制度の全体像
   ②OJT期間全体を設計する
   ③進捗を管理する
3. **具体的OJTの進め方**
   ①OJTを行う前の準備(基本知識・ノウハウの確認)
   ②受け入れ準備と受け入れ当日
4. **教える前に準備すること**
   ①教える予定をつくる
   ②仕事の手順を分解する
5. **教え方の4ステップ**
   ①興味をもたせる
   ②仕事の手順をやってみせる
   ③仕事の手順をやらせてみる
   ④教えた後フォローする

# 中堅向け勉強会

※セミナーの日程・内容は都合により変更することがございます。詳しくはWEBをご覧ください。

今こそIT構想・企画力がビジネスイノベーションを促す！

# システム化企画力・構想力　勉強会

□提案能力、企画能力が確実に一歩進むことを目指します。
□新ビジネスモデルや業務改革のヒントが得られる。
□経営視点でシステム化の投資対効果が説明できるようになる。
□ Top向けシステム化計画の実行計画概要図（1-2枚もの）を作成できるようになる。

**講師：寺池　光弘氏（株式会社CACエクシケア　人事部　教育実施責任者　情報処理技術者試験委員 ）**
**足立　英治氏（株式会社フォース・トランキル 代表取締役）**

企業が環境変化に対応しイノベーションを実現するためには、①どのような視点で改善改革のアイデアを生み出せばよいのか（問題感知力）②改善改革の実行計画をどのように作成すれば良いのか（問題解決力）③評価はどのように行えばよいのか（問題評価力）、にもとづいて改善改革案を創造し着実な実行計画を作成することが重要です。

本セミナーでは、ビジネスモデルの視点から業務・システムを見直し、最適なシステム化を推進するための「様々な思考法」「システム化計画フェーズの進め方」「勘所」を学びます。 講義中心ではなく、事前演習・受講者参加型のグループディスカッション・振り返りを数多く取り入れ、受講者が積極的かつ実践的に取り組めるプログラムです。

●JUASならではの特徴
・「システム化計画フェーズの進め方」は、UISSの「IS戦略策定」「IS企画」に準拠
・「思考法」や「勘所」では、「システムリファレンスマニュアル」 「IT投資価値評価に関する調査研究 」「障害対策分析」など
　JUASの様々な研究会のノウハウを活用していきます。

## ■開催日と内容（全4回）

| | 開催日 | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | 2014年11月5日（水） | 新ビジネスモデルの企画（事業戦略の理解／商品/サービスの差別化／イノベーション事例研究） |
| 2 | 2014年11月13日（木） | 新業務システムの企画（課題（業務、組織、システム）の洗い出し／漸進的改革シナリオの検討）<br>新情報システムの企画（基本要件の整理／システム方式の策定／基本要件の実現性の検討） |
| 3 | 2014年11月20日（木） | システム化計画書の策定（全体スケジュールの作成／推進体制の構築／費用とシステム化効果の予測／上位計画との整合性検証／リスク分析／システム化計画の文書化・承認） |
| 4 | 2014年12月3日（水） | 実践演習（ケーススタディ　or　マイケース） |

**■時間**
いずれも**10：00-18：00**

**■会場　JUAS会議室**
**（東京・日本橋堀留町）**

**■受講料（4日間）**
**JUAS会員／ITC ： 132,000円**
**一般： 168,000円**
※消費税、テキスト代を含みます

**■定員　20名**



# 要件定義　勉強会

～ユーザー企業のIT部門ならではの要件定義力アップを目指す！

□自分なりのオリジナル要件定義手法・テンプレートを成果物として持ち帰ることを目指す
□経営視点でシステムを捉えることで、より精度の高い要件定義ができるようになる

**講師：寺池　光弘氏（株式会社CACエクシケア　人事部　教育実施責任者　情報処理技術者試験委員 ）**
**足立　英治氏（株式会社フォース・トランキル 代表取締役）**

経営に役立ち、現場で使えるシステムを計画通りの予算・期間で構築するには、システム開発のQCDを高めることが重要です。
しかし、JUAS「ソフトウェアメトリックス調査」によれば、プロジェクト遅延理由の約40%は「要求仕様の決定遅れ」「要件分析作業不十分」「開発規模の増大」と、ユーザー要求（業務要求）をまとめ、システム要件（機能要件、非機能要件）に落とし込む「要件定義フェーズ」に原因があることが明らかになっています。本勉強会では、自社のリアルケースを元に、自分なりのオリジナル要件定義手法・テンプレートを成果物として作成することを目指します。これらのワークを通じて、
・要求を正しく捉え、整理するために必要となるビジネス（Why-What-How）視点の醸成、BPMなどの可視化手法の体得
・プロジェクトリスクを考慮し、開発規模のトレードオフを調整するために必要となるプロジェクトの制約条件を考慮したステークフォルダマネジメント力、ベンダーマネジメント力の向上にフォーカスした要件定義力アップを目指します。
■対象：要件定義を一度でも経験し他社事例を元に改善のヒントを得たい方、自分なりの要件定義のやり方を振り返り、見直したい方に最適の新コースです。JUAS人気セミナー「システム化企画力・構想力勉強会」をご受講の方のステップアップとしてもご活用ください。

## ■開催日と内容（全4回）

| | 開催日 | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | 2015年2月12日（木） | 要件定義フェーズを効果的効率的に進めるための方法論・ノウハウを他社事例の検証をもとに実践的に学ぶ |
| 2 | 2015年2月19日（木） | 経営に役立つシステム・現場で使われるシステムを構築するために、経営視点・業務視点での要求分析手法を他社事例の検証をもとに実践的に学ぶ |
| 3 | 2015年2月27日（金） | 要求仕様決定の遅れを回避するための手法（例：ステークフォルダ・ベンダーマネジメント）を他社事例の検証をもとに実践的に学ぶ |
| 4 | 2015年3月6日（金） | 総合演習：今後担当するプロジェクトで適用しようと思う作業手順、成果物テンプレートの相互レビュー |

**■時間**
いずれも**10：00-18：00**

**■会場　JUAS会議室**
**（東京・日本橋堀留町）**

**■受講料**
**JUAS会員／ITC ： 132,000円**
**一般： 168,000円**
※消費税、テキスト代を含みます

**■定員　25名**

# ＪＵＡＳ オーダーメイド研修
# （企業内研修）

JUASでは、メールやホームページ、パンフレット等でご案内の「オープンセミナー」に加え、

貴社のご要望に合わせたオリジナル研修として「オーダーメイド研修」をご提供しております。

貴社の現状からあるべき姿へ至るプロセスを共有し、人材育成支援策をご提案いたします。

# JUASオーダーメイド研修

## 特徴・対象者

◆経営と情報をキーワードに、様々なご受講対象に合わせたコースや教材を構成します

◆講義、ケーススタディ、ケースメソッド、ワークショップ等、想定する成果を得るために、最適な方式をご提案します

◆貴社会議室、弊協会会議室、外部会議室など、開催場所はご相談させていただきます

◆個別講座のアレンジだけでなく、人材育成計画策定や研修体系整備の支援もお手伝いします

◆15名を超えるご受講対象者がいらっしゃれば、内容面でも、コスト面でも、効果的かつ効率的です

◆これまでご活用いただいた企業様からは、内容、講師両面において　非常に高いご評価を賜っております

### 受講対象者（実績）

- ユーザー企業 情報システム部門
- ユーザー企業 業務部門IT推進者
- 情報グループ会社
- SIベンダー
- 新入社員
- 3年目
- 管理職
- 配転者

## オーダーメイド研修　実施の流れ

**初回お打合せ**
お客様の経営課題、人材育成方針、ニーズをお伺いし
必要なスキル、研修目的を共有化します

**ご提案**
具体的な研修の内容をご提案します
お見積りを提出します

**お申込み**
実施プログラムの調整、実施日程、会場確定後
お申込みいただきます

**研修実施**
研修運営と実施支援を行います

**研修後お打合せ**
研修後のアンケート、研修成果からアフターフォローを行うとともに,研修内容の定着化、
次のステップのための取り組みをご提案します



# JUASオーダーメイド研修

## 対象者別パッケージ事例（実績）

**IT経営リーダー養成**
グループ全体のIT戦略を担う次世代リーダーの養成を目的に実施
・ビジネスモデル策定、IT戦略策定、リーダーシップのためのファシリテーション　等　基盤スキルの養成
・360度評価によるリーダーとしての自分を振り返る

**ユーザー部門IT推進者研修**
ユーザー部門のIT推進者の役割を認識し必要スキルの強化を目的に実施
・各種フレームを使った業務改善手法の習得
・各所との調整に必要となる、ヒアリング、プレゼンテーション、ファシリテーション技術の習得

**IT部門配転者研修**
ユーザー企業のIT人材として必要な基礎スキルの習得を目的に実施
・IT基礎知識、情報システム全体像の把握、学び方を伝授
・基盤となるロジカルシンキング、ファシリテーション技術等の養成
・配転にあたって自分戦略の作成

## 研修分野（実績）

**プロジェクトマネジメント**
これからプロジェクトリーダーになる方から、
複数のプロジェクトを統括する方まで、
階層別、役割別に
研修コースをご用意しております

**要求定義・要件定義**
ユーザー企業の情報システム部門、
業務部門のIT推進者向けに、
課題解決、問題発見のスキル向上、
要求分析の考え方、
要件定義書の記述方法
オーダー研修ならではの、
「自社の課題」を題材に
要件定義に書き起こす実践など、
考え方、技法、実践をご提案します

**ソフトウェア文章化作法**
オープンセミナーでも人気の
「ソフトウェア文章化作法」

新人･3年目･指導者･経営層
と役割別にコーディネートします

**ヒューマンマネジメント・ヒューマンスキル**
ファシリテーション、コーチング、
メンタリング、リーダーシップ、
モチベーションマネジメントなど
チームビルディング、
組織活性化の基盤となる
スキル養成をご提案します

| 専門 | 事業戦略策定・評価 | IS戦略策定・評価 IS企画・評価 | IT基盤構築・維持・管理 | IS戦略実行ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ | IS導入 IS保守 | IS活用 | IS運用 | 共通 | 業務遂行ｽｷﾙ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

# IT経営リーダー養成講座

研修目標

- 会社全体(グループ全体)の経営戦略・IT戦略を理解し企画・推進する。それにより全体の事業に貢献することが出来る。
- IT戦略の推進にあたり関係者を巻き込み各人の能力を最大限にかつ相乗的に発揮させることができる。

ITリーダー研修のポイント

◆ビジネスモデル策定能力強化　◆IT戦略策定能力強化　◆リーダーシップ力強化　◆経営層へのプレゼンテーション
◆研修と実践の繰り返しによる定着(PDCA)　◆企業グループのシナジー効果を活用

| ■対象 | 上級　IT戦略の企画推進担当者 | ■スタイル | 講義　演習 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ■講師 | 足立　英治氏<br>株式会社フォース・トランキル 代表取締役 | ■定員 | 25名 | ■日程 | 8日 |

■内容

・オリエンテーション
　変格の時代にIS部門に求められ役割を考える
・環境分析
　経営視点でIS部門の将来像を明確にする
・企業戦略の検討
　パラダイムに適応する経営改革を企画する
・ビジネスモデルイノベーション企画
・業務プロセスモデルイノベーション企画
・ITサービス環境企画
・システム化構想・計画フェーズ
・IS企画の策定

《成果発表会》

・強いチーム
・コミュニケーションスキルの実践
・コンセンサススキルの実践
・効果的な会議の進め方
・チームで問題を見つける方法
・チームで問題の根本原因を考える方法
・チームで問題の解決策を考える方法
・チームで解決策や問題解決の優先順位付けを行う手法
・チームで解決策の実行計画をつくる手法
・プロセス観察・介入　チーム活動の障害をファシリテータが排除する手法
・会議評価
・プレゼンテーションスキルを磨く
・プレゼンテーションの実施
・経営リーダーとしてのコアバリュー



| 専門 | 事業戦略策定・評価 | IS戦略策定・評価 IS企画・評価 | IT基盤構築・維持・管理 | IS戦略実行ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ | IS導入 IS保守 | IS活用 | IS運用 | 共通 | 業務遂行ｽｷﾙ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

# システムコンサルタント養成講座

研修目標

(1)対象会社の経営課題が理解できる。　(2)対象会社の経営課題を解決に導きやすいように分解できる。
(3)環境の調査・分析手法を理解して利用できる。　(4)解決策の概要を立案できる。(5)課題解決プロセスを策定できる。
(6)提案書を作成できる。　(7)プレゼンテーションマテリアルを作成できる。

| ■対象 | 上級　SEからコンサルタントへのスキルアップを考えている方 | ■スタイル | 講義　演習 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ■講師 | 木村　玲美 氏<br>浜松総務部有限会社代表取締役 | ■定員 | 25名 | ■日程 | 1日 |

■内容

(1)コンサルタントとしての基本的な立ち振る舞い、動きを理解する

- 自己のコミュニケーションスタイルの理解
- コミュニケーションのしくみ
- システムコンサルタントに必要なコミュニケーションスキル(PRAM、対話による意思決定プロセス、等)
- ファシリテーションスキル
  - 『場のデザイン』ゴール、プロセス、雰囲気
  - 『対人関係』傾聴、質問、主張
  - 『可視化・構造化』課題を明確に整理、図解
  - 『合意形成』意思決定手法、コンフリクト解消、プロセス振り返り
- 利害関係者の暗黙の期待・不安を感知したかかわり行動
- プロセス評価
- システムコンサルタントとしての自己課題、アクションプラン

(2)ケース企業を通じて経営戦略から要件定義までの流れを理解する

- 企業を取り巻く経営環境の理解(業界特性分析)
- 経営戦略策定プロセス、手法の理解
  (事業ドメイン、SWOT分析、BSC戦略マップ)
- IT戦略策定プロセス、手法の理解
- 情報化成熟度診断

- 「コンサルタントとしての基本的振る舞い、動き」は独立した講義、演習として行いますが、「ケース企業を通じて経営戦略から要件定義までの流れを理解する」ケース演習を通じてコミュニケーションスキルの実践演習を行います。

# プロジェクトマネジメント基礎

ITプロジェクトマネジメントを体系的に学び、プロジェクトマネジメントに必要な基礎技術とプロジェクトマネジメント技法を習得する。

| ■対象 | 初級　プロジェクトマネジメントの基礎知識を体系的に学びたい方 | ■スタイル | 講義　演習 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ■講師 | 佐藤　義男氏<br>株式会社ピーエム・アラインメント　代表取締役社長 | ■定員 | 25名 | ■日程 | 1日 |
| ■内容 | 1. プロジェクトマネジメント最新動向<br>2. ITプロジェクトマネジメント<br>3. プロジェクト失敗の原因<br>4. 契約業務の視点<br>5. PMBOKとは<br>6. プロジェクトマネジメント・プロセス解説<br>7. 演習<br><br>PDU取得修了書発行<br>7時間7PDU | | | | |

# プロジェクト管理における指標管理

構想、設計、開発から保守、運用まで、システム・ライフの各フェーズにおいて発生しうる問題を、独自メジャーを持つことにより、できる限り未然に防ぐ。問題が発生しても効率的にカバーするために実践的なプロジェクト管理のポイントを修得する。
特にリスク管理とコミュニケーション管理に重点を置いて、実例と講師自身の体験と新たな動向を踏まえて体系化されたプロジェクトマネジメント力を修得する。

・常に発生し得るリスクを考慮し、状況に応じた効果的な対応法を理解する
・問題への的確な対応と仕組みづくりについて理解する
・指標と尺度、自社標準等の設定と、その効果的活用を理解する

| ■対象 | 上級　中堅管理者 | | ■スタイル | 講義　演習 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ■講師 | 細川　泰秀<br>一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会　エグゼクティブフェロー | | ■定員 | 25名 | ■日程 | 1日 |
| ■内容 | 目　標　:<br>(1)確実なリスク管理が可能なプロジェクトマネジメントのポイントを理解できる。<br><br>(2)品質や工期を考慮した適正な価格設定とプロジェクト構築ができる。<br><br>(3)あらゆる観点において、社内的にも、対外的にも、一定のメジャーを持って、コミュニケーションができ、事象に対処することができる。<br><br>(4)最近のプロジェクト管理法と効果的なコミュニケーション法を駆使して、 プロジェクト管理に的確な適用ができる。 | 内容<br>(1)ユーザーの満足とユーザー／ベンダーのパートナーシップ<br>(2)システムのライフサイクルとプロジェクト管理<br>(3)テスト時の重要性・再考<br>(4)システム導入、稼動後の仕組み作り<br>(5)リスク管理による事前対応、コミュニケーション管理による事後対処<br>～　実践的プロジェクト管理法　～<br>(6)プロジェクト管理者像<br>(7)効果的な観点と尺度およびその使い方<br>＜随時、ミニ演習を実施＞ | | | | |

# 情報化リーダーのための業務要求定義力強化

情報化リーダーが果たすべき役割確認し、業務改革のゴールを明確にするための手法を体系的に理解します。具体的な事例にあてはめ演習を実施することで習得をはかります。

「業務要求定義能力」は、業務改革のゴールを明確にするために必須の能力です。「業務要求定義能力」とは、問題の構造、問題の全体像をとらえ、真の問題を発見する能力、日々の業務の中での、問題発見力、問題解決力であるととらえ、これらを向上させるための視点や方法を習得するために、本研修を企画しました。ここでの業務改革とは、システム化による改革だけに着目するのではなく、システムと人との連携による業務プロセス全体の改善、改革をさします。

| ■対象 | 中級　情報化リーダー、情報化推進担当者の方 | ■スタイル | 講義　演習 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ■講師 | 尾田　友志 氏<br>マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表 | ■定員 | 25名 | ■日程 | 1日 |
| ■内容 | 1.本研修の狙い<br>2.情報化リーダーとはー定義／役割／業務の内容<br>3. 業務改革の基礎知識<br>システム化しない／業務改革と個人レベルの改善の違い／業務を見直す視点／「問題」とは何か／業務を見直す視点<br>4.グランドデザインのための基礎知識<br>あるべき姿を導き出す– ワークデザイン<br>ワークデザインの7つの原則<br>5.発想を豊かにするー言葉の定義／立場を変えて考える<br>6. 総合演習 | | | | |

**研修年間計画を**
**ご支援するために**

好評につき2014年度も実施！！

# JUASセミナー 受講権利一括購入制度

～人材の計画的育成をご支援するために、
受講の権利を一括して事前にご購入いただける制度です～

JUAS活動へご参加いただいている方々からのご要望･お声を反映し、2013年1月より開始した制度です。
好評につき2014年度も引き続き実施いたします。皆様の人材育成計画をスムーズにするご支援ツールとして、ぜひご活用いただければ幸いです。

## ◆制度の特色◆

- 会員企業様のみ利用可能（※1）
- 事務手続きを軽減
- 権利が共同活用できる！（※2）
- 会員価格の最大約17％OFFで受講も可能

※1：会員ご紹介があれば一般の方も購入可能です
※2：IT部門／事業部門、グループ、協力先等シームレスに活用可能です

## ◆ご利用の声◆

**年間受講者数約2300名のうち約20％の方がご利用。計画的な人材育成にご活用頂いています。**

**計画的育成に役立つ**

「今後も利用したい。若手～管理者向けまで幅広いセミナーがあり、受講希望の反応も多い」（製造系情報子会社）

「80点！コストメリットと、事前に受講者を纏めることで研修受講計画がたてやすい」（化学系情報子会社）

**経費削減**

「1コースずつ支払いが発生するより安価なので継続したい」（一般消費財製造会社）

「満足。割引が適用されてよかった」（製造業）

「大変良い。価格が抑えられる。運用が簡単」（機械製造業）

**事務手続き軽減**

「部門にたくさん参加者がいるので便利でした。経理担当としては支払手続きの手間が省けてよかった」（サービス業）

「経理の振込作業が軽減されました」（金融系情報会社）

＞＞詳細は裏面をご覧ください。

# ◆ 2014年度版　制度概要◆

## コースのご案内

| Aコース | 受講権利数：50枚／価格：1,369,500円（税込）　例）最大で会員定価の約17％OFF（280,500円相当）がお得 |
|---|---|
| Bコース | 受講権利数：20枚／価格： 574,200円（税込）　例）最大で会員定価の約13％OFF（85,800円相当）がお得 |
| Cコース | 受講権利数：6枚／価格： 176,220円（税込）　例）最大で会員定価の約11％OFF（21,780円相当）がお得 |

・グループ会社間・協力会社間等権利の共同利用可
・コース口数に上限はありません。
・IMCJ、新人配転者向けプログラム、JUASスクエアを除く、JUASセミナー・書籍（右表）にご利用いただけます。
・やむを得ぬ事情の場合を除き原則として返金・換金・再発行は致しかねます。
・他の割引キャンペーン等との併用はご遠慮願います。
・転売不可
・グループ会社・協力会社等第三者への譲渡後のトラブルについて、弊協会では責任を負いかねます。

| 利用対象セミナー・書籍 | チケット数 |
|---|---|
| ・オープンセミナー（半日～1日間） | 1枚 |
| ・オープンセミナー（2日間） | 2枚 |
| ・「システム化企画力・構想力勉強会」<br>・「要件定義勉強会」<br>・「ファクトベースで学ぶITマネジメントカアップ」集中コース | 4枚 |
| ・「IT駆動型　新・サービス創造塾」 | 5枚 |
| ・報告書セットVol.3 | 1枚 |

## ご利用期間

**購入時～2015年3月末日申込分まで**
**（開催予告済み2015年度セミナーを含む）**

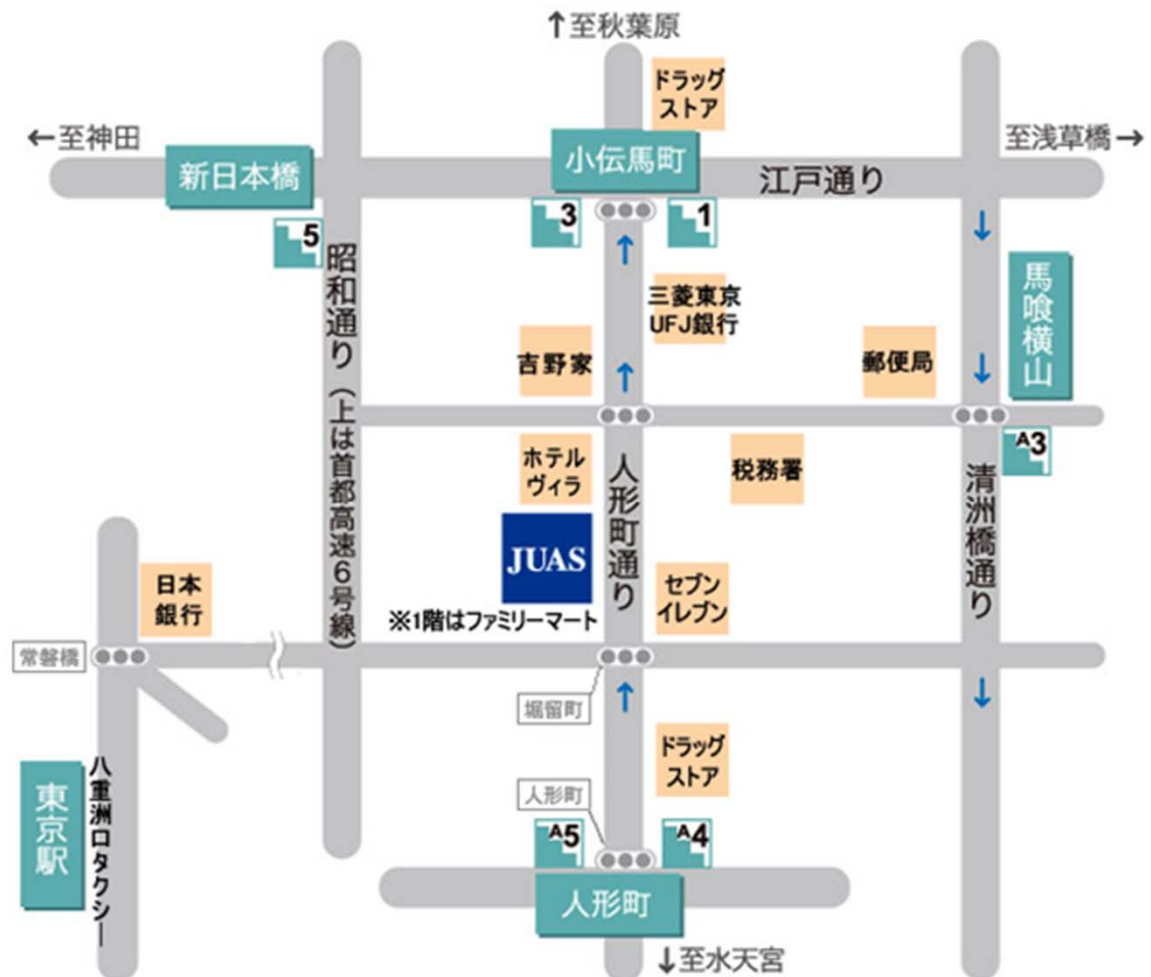
## 制度購入可能期間

**2014年1月7日～2014年12月26日**
**※2013年度版は2013年12月26日にて販売終了となります。**

## お申込み・詳細

**http://www.juas.or.jp/seminar-event/others/jyukoukenriseido.html**

お問合せ　〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-10-11井門堀留ビル4F
TEL：03-3249-4102 FAX：03-5645-8493　担当　角田・平山

一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（JUAS）
〒103－0012 東京都中央区日本橋堀留町1-10-11 井門堀留ビル4階
(会議室：2階・3階、セキュリティセンター：5階)
TEL：03-3249-4101（代表・会員）、4102（セミナー）、4103（セキュリティセンター）

●**事務所近辺の特徴**：
事務所の1階は**ファミリーマート**です
隣の**ビジネスホテル・ヴィラ**は特徴のあるレンガ色です
事務所の前（人形町通り）は、南から北への5車線の一方通行です

●**事務所への行き方**：

1. **メトロ日比谷線「小伝馬町」・・・徒歩4分**
小伝馬町交差点から、人形町通り(5車線の一方通行)を車の流れとは逆方向に進みます。
2. **都営新宿線「馬喰横山」・・・徒歩8分**
A3の出口を出て、前面の5車線の一方通行の信号を渡ります。郵便局の前の裏通りの一方通行を、車の流れに沿って進みます。
3. **都営浅草線「人形町」・・・徒歩5分**
A5の出口を左方向に出て、交差点に戻り、交差する5車線の一方通行を車の流れに沿って進みます。
4. **JR総武快速「新日本橋」・・・徒歩10分**
5番出口(左の方)を出て、昭和通りを渡り、江戸通りに沿って、小伝馬町交差点へ出ます。交差する5車線の一方通行を車の流れとは逆方向に進みます。
5. **東京駅八重洲口からタクシー(800円程度)**
常盤橋交差点を右折、日銀の手前の一方通行を通り、堀留(ほりどめ)町交差点で下車します。